



仏教保育

4
Apr.

伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ^{ほとけ} の心



平成27年度を迎えるにあたって

公益社団法人 日本仏教保育協会 理事長 緑谷 一雄

平成27年度がスタートしました。卒園・入園の送迎に気遣う慌ただしい季節ですが、「子ども・子育て支援新制度」の行方にも目が離せない年度になりそうです。第3次安倍内閣発足時の施政方針で、安倍首相は戦後以来の大改革の断行を打ち出しました。経済再生・社会保障はじめ、子どもたちの教育再生にも大きく踏み込み「子どもたち誰もが自信を持って学び成長できる環境を創るのはわれわれの責務である」として、子ども・子育て支援新制度という未曾有の大改革に踏み切りました。

新制度施行の功罪

平成24年8月「子ども・子育て支援新制度」の成立以来、子育て会議、基準検討部会等であるいろいろな対応が討・協議されてきました。その過程において、収入減が予想されるとして、多くの認定子ども園が認定を返上する動きが出てきたのは周知の通りです。子育て会議・基準検討部会では公定価格の改善策などを政府に提示し認定返上への対応策を打ち出してきましたが、歯止め効果は大して期待

できませんでした。政府は新制度施行目前の3月20日、子育て支援施策の更なる強化、若年齢層での結婚・出産の希望の実現など働き方の改革を盛り込んだ「少子化社会対策大綱」を閣議決定しました。

しかし、変わるのには子育て支援制度だけではありません。27年度は、暮らしに係る様々な制度も変わります。例えば、年金支給額の伸びを賃金の上昇より低く抑える「マクロ経済スライド」が初めて実施されます。子育て支援が強化される一方では年金の目減り、食品など家計の負担も大きくなります。ただ、子や孫への結婚、出産、育児費用の贈与が非課税になる制度も創設されるということですから、子どもたちの明るい未来のために、ここは「大事争うべし、些事構うべし」とも思う次第です。

3・11の惨事を活かす工夫

3月上旬(7日・8日)、O M E P日本委員会が福島県南相馬市において「保育フォーラム」を開催しました。地元の幼稚園や保育所の先生方が参加し、放

射能災害以降3年間の保育の実態、地域や家族、子どもたちの生活などの報告を基にグループ別に分かれて真剣な討議がなされました。宮城・福島の復旧については未だ途上にあつて、住民のご苦悩は続いているのとこのことです。

また、放射能被災地域の幼稚園・保育所が交渉を進めている電力会社との補償問題も遅々として進まず、苦しい対応を強いられているのが現状です。3・11の惨事は永劫、忘れ去ることはできません。帰らぬ犠牲者の霊を安んじるためにも、震災時への対応を私たちは肝に命じて取り組むべきであろうと心得ます。

「第34回全国仏教保育福島大会」に集おう

「第34回全国仏教保育福島大会」は、平成28年夏に開催されます。

福島は原発事故発生時には被災地域の私立幼稚園や保育所の在園児500人が入園を取り止めました。3年を経た今も、我が子の将来を案じて他県に住むご家族もあると聞きます。そうした影響を受けて厳しい園運営

が続く状況の中で、仏保園13園が結束して「公益社団法人日本仏教保育協会福島支部」が昨年5月に結成されたことは各位も周知の通りです。

吉岡棟憲先生(福島県仏教保育協会会長)／日仏保福島支部長は厳しい現状の中で、スタッフの先生方と共に第34回全国仏教保育福島大会の準備を進めてくださっています。先生は、「地域に相応しい背丈に見合った大会にしたい」と、企画を立案されています。私どもも出来る限りのあと押しをさせて頂きたいと思っております。来夏は大勢の保育者が福島に集われることを乞い願う次第であります。併せて、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

「仏教保育」が担う子どもたちの明るい未来に

慈悲と縁起に基づいた「生命尊重の保育」を推進する「仏教保育」の理念は変わることはありません。子どもたちの主たる担い手が私立の仏保園であることも永遠に不変です。手を携えて「ほとけの子」らを育ててまいります。 合 掌

「日本仏教保育協会賞受賞者」

(敬称略)

ご就職おめでとうございます!!

「日仏保協会賞」は、仏教系保育者養成機関において仏教保育者としての専門性を磨き、仏教保育者の道を目指す卒業生を称え、今後の保育実践の充実を期待して表彰するものです。

- 木浪志穂 (函館大谷短期大学・北海道)
 就職先 〓 学校法人 函館大谷学園 (北海道)
- 田中祐理 (札幌大谷大学短期大学部・北海道)
 就職先 〓 恵庭幼稚園 (北海道)
- 柳谷友里恵 (帯広大谷短期大学・北海道)
 就職先 〓 木野南保育園 (北海道)
- 渡辺望月 (聖和学園短期大学・宮城県)
 就職先 〓 中田幼稚園 (宮城県)
- 國永詩織 (足利短期大学・栃木県)
 就職先 〓 足利幼稚園 (栃木県)
- 橋本侑佳 (立正大学社会福祉学部・埼玉県)
 就職先 〓 建福寺幼稚園 (埼玉県)
- 牧野 薫 (聖徳大学・千葉県)
 就職先 〓 亀戸幼稚園 (東京都)
- 斎藤愛里 (聖徳大学短期大学部・千葉県)
 就職先 〓 篠崎若葉幼稚園 (東京都)
- 清水美季 (こども教育宝仙大学・東京都)
 就職先 〓 宝仙学園幼稚園 (東京都)
- 吉見悠奈 (聖徳大学幼児教育専門学校・東京都)
 就職先 〓 聖徳学園三田幼稚園 (東京都)
- 野村香織 (淑徳短期大学・東京都)
 就職先 〓 じょうえん保育園 (埼玉県)
- 小山愛実 (駒沢女子短期大学・東京都)
 就職先 〓 清心幼稚園 (神奈川県)
- 小山紗希 (武蔵野大学・東京都)
 就職先 〓 清心幼稚園 (神奈川県)
- 中澤琴羽 (鶴見大学短期大学部・神奈川県)
 就職先 〓 光輪幼稚園 (神奈川県)
- 増田梨奈 (常葉学園短期大学・静岡県)
 就職先 〓 学校法人法城学園 (静岡県)
- 櫻木 舞 (愛知文教女子短期大学・愛知県)
 就職先 〓 剣正幼稚園 (愛知県)
-
- 木下奈々 (岐阜聖徳学園大学短期大学部・岐阜県)
 就職先 〓 さゆり保育園 (岐阜県)
- 勝城亜弓 (高田短期大学・三重県)
 就職先 〓 さくら幼稚園 (三重県)
- 川口久美子 (大谷大学短期大学部・京都府)
 就職先 〓 田上保育園 (滋賀県)
- 鈴木優奈 (京都文教短期大学・京都府)
 就職先 〓 松尾幼稚園 (京都府)
- 平林眞由子 (龍谷大学短期大学部・京都府)
 就職先 〓 めぐみ保育園 (滋賀県)
- 吉田佳代 (京都西山短期大学・京都府)
 就職先 〓 妙林苑 (京都府)
- 烏頭尾香織 (京都女子大学・京都府)
 就職先 〓 西大寺幼稚園 (奈良県)
- 木下果奈美 (京都華頂大学・京都府)
 就職先 〓 松ヶ崎保育園 (京都府)
- 田舛奈央 (華頂短期大学・京都府)
 就職先 〓 七条幼稚園 (京都府)
- 乾 実加 (佛教大学・京都府)
 就職先 〓 西大寺保育園 (奈良県)
- 竹森 優 (四天王寺大学短期大学部・大阪府)
 就職先 〓 四天王寺非田院保育園 (大阪府)
- 丸山莉紗 (兵庫大学短期大学部・兵庫県)
 就職先 〓 認定こども園 西脇保育園 (兵庫県)
- 池田美咲 (筑紫女学院大学・福岡県)
 就職先 〓 あかさかルンビニ園 (佐賀県)
- 西山明里 (筑紫女学院大学短期大学部・福岡県)
 就職先 〓 青竜保育園 (福岡県)
- 谷口由紀 (九州龍谷短期大学・佐賀県)
 就職先 〓 杉の子保育園 (鹿児島県)
- 西 美咲 (東九州短期大学・大分県)
 就職先 〓 認定こども園 東九州短期大学附属幼稚園 (大分県)



第5回 OMEP 保育フォーラム in 福島開催!

— 放射能災害下の保育実践 4 年目 —

テーマ

「放射能災害下の保育実践と

子どもの育ち

～ 地域・家族・子どもの今から考える ～

平成 27 年 3 月 7 日 (土)・8 日 (日)
〔会場〕社会福祉法人 よつば保育園ホール (福島県南相馬市)

去る 3 月 7 日・8 日の両日、OMEP 日本委員会による標記の保育フォーラムが福島県南相馬市で開催されました。昨年 3 月の開催から 1 年。あの放射能災害から 4 年目を迎える今、再び南相馬市での開催でした。

地域の現在の姿を目で見、肌で感じながら、放射能災害 4 年目の保育の実態と、地域や家族、子どもたちの生活、遊び等の役割について考察し、ディスカッションを通して参加者と共に子どもたちにとっての保育環境の在り方、今後必要と思われる支援などについて協議することを目的としたものです。

開催挨拶のあと、はじめに OMEP 日本委員会から『アイルランド世界大会』の報告があり、続いて、地元南相馬市をはじめ近隣の保育関係者 (青

葉幼稚園・安川園長、よつば保育園・高倉保育士、よつば保育園・近藤副園長らの各先生) から 3 年間にわたる保育実践をはじめ、家庭や地域の現状などの話題が提供されました。

午後から 3 グループに分かれて、地域の保育園・幼稚園の先生方を囲んで、提供された話題を基に、これから必要と思われる支援等について白熱した討議が交わされました。

その日、農家の民宿に泊まった一行は、翌 8 日、「フィールド・ツアー」で各所を見学しました。「奇跡の一本松」や小高沿岸部、保育園など、文字通り目で見、肌で感じたツアーだったようです。二日間でしたが、放射能災害の惨 (むご) さを体感した爽りあるフォーラムだったと思います。

「第2回 仏教教育学研究会」開く!

テーマ

「ケアの現場で私たちに何ができるのか」

～ 臨床仏教師・臨床宗教師の

養成事業の現状と今後の展望 ～

平成 27 年 3 月 26 日 (木) / 駒澤大学中央講堂 (東京・世田谷区)

3 月 26 日、日本仏教教育学会主催で標記の研究会が駒澤大学中央講堂を会場に開催されました。

東日本大震災を機に、人々の「心のケア」に対して宗教が果たす役割の大きさが改めて認識されたことは周知のとおりです。被災地や病院、福祉施設などで活躍できる専門家として「臨床

仏教師」や「臨床宗教師」を養成しようとする新たな取り組みが始まっています。日本仏教教育学会ではこうした動向に着目し、いくつかの養成団体の代表をパネリストに迎え、取り組みの現状報告、今後の展望等について研究

をしています。今回は、パネリスト、コメンテーターを招き、質疑形式で一般公開として開かれたものです。

今回、パネリストを務められたのは、神 仁先生 (臨床仏教研究所 上席研究員) と前田伸子先生 (鶴見大学 副学長)

の二人です。コメンテーターには養輪顕量先生 (東京大学大学院教授) が当たり、司会は矢島道彦先生 (日本仏教教育学会会長、駒澤大学客員教授) が担当されました。

コメンテーターの養輪先生は仏教思想史、日本仏教の研究者として知られており、仏教の教理形式、法会における唱導と論議の研究などは高く評価されています。およそ 3 時間にわたる質疑が展開され、人間の情操に焦点を当てた教育、福祉の在り方や心のケアについて仏教界への提言など、熱のこもった質疑が展開されました。

因みに、臨床仏教研究所は、公益社団法人全国青少年教化協議会 (会青協) に属する総合的な教育機関で、宗教者が果たすべき役割や公益性の高い寺院の活動についても探求しています。

「第 50 回 (平成 27 年度) 仏教保育研修会」開く!

平成 27 年 3 月 31 日 / 神田寺幼稚園

主催：東京仏教保育協会



開会式



三婦依文



友松先生



安藤委員長



小林先生



當麻先生



石上先生



緑谷理事長



司会
戸田先生



猪熊先生



司会
樋口先生



小俣先生



東京仏教保育協会(安藤文隆委員長)は3月31日、神田寺幼稚園(東京都千代田区)を会場に標記の研修会を開催しました。

この研修会は、都内の仏教園に就職した新任の教諭・保育士を対象に例年この時期に行われるもので、今回は50回目の開催となります。会場には80名近い新任が参加しました。

はじめに、安藤委員長の主唱で三婦依文が斉唱され、続いて同委員長より「早朝からご苦労様です。皆さんの正面の額に飾られている仏さまは弥勒菩薩様です。弥勒菩薩は仏教の二大原則である『慈悲の心』と『優しさの心』で衆生の世界を守ってくださっている仏様です。一日ではありますが、生きとし生けるものすべてが仏様の教えによつて生かされていることを学び、慈悲と優しさで子どもたちを導いて欲しいと思います。頑張ってください」と挨拶されました。

次いで、会場を提供して下さった神田寺幼稚園園長の友松浩志先生から「弥勒菩薩様は、どの宗派にも属さない仏様です。誰もが同じ仲間ということですので、きょうのご縁を大切にされ、知り合った先生たちと共に子どもたちに好かれる保育者になってください。弥勒菩薩様も、お喜びになられることしましょう」と歓迎の言葉を述べられました。

引き続き、(公社)日本仏教保育協会理事長の緑谷一雄先生からは「桜の花が満開の季節です。やがて椿が咲き、牡丹の花が開きます。桜は散ると言いますが、椿は落ちると言います。牡丹は崩れると言います。花にもいろいろ言い方があり、観方があります。先生というお仕事は『子どもを観る』ことだと思います。好天に恵まれて心地良い研修日となりました。明日からは、子どもたちから先生と呼ばれます。ワクワクしていることでしょうか。きょうのこの気持ちを大切に保育に当たってほしいと思います」と激励の言葉を述べられました。

最初の講義は、石上善應先生(淑徳短期大学学長)の「仏教のお話」。満月の日に釈尊は生まれ、悟り、亡くなったとされ

ています。この伝承から南方仏教徒は盛大な祭りを行います」と冒頭で言い、お釈迦様の険しく厳しい遍歴伝道者として歩んだ道をお話でした。

続く講義は、小俣昌道先生(ふりすくーる西五反田園長)の「仏教保育のお話」。「桃太郎は犬・猿・雉を共に連れて鬼退治に行きます」から始まり、犬は正直、猿は智慧、雉は最後までやり抜く勇気を指す物語ですと述べてから、五戒、六波羅蜜など優しく説き、『乳幼児の教育・保育と仏教』や『生命尊重の保育』など映像を使って分かりやすく説いてくださいました。

午前の部の最後は、當麻祐紀先生(仰願寺幼稚園代表役員)の食作法のお話です。「ほとけ様に使える私たちは殺生してはいけない」と説いています。しかし、『本当に生きるために、今の食べ物をおいしくいただくには、感謝いたします』と、食す前にこの食物で生かされていることに感謝してくださいと、話されました。因みに、當麻先生はこの5月からイタリアのミラノで開催される国際博覧会(万博)「テーマ・地球に食料を、生命にエネルギーを」に参加し、地球に住む100億人の食糧事業

等について研究・研鑽してこられるそうです。

◇ 午後は小林研介先生(吞龍幼稚園園長)の「良い保育者を語る」の講座です。幼稚園、保育所、認定こども園など施設はいろいろあるが、内容は大きく変わらぬ、というのが今の風潮のように思える。しかし、子どもは一人ひとり違っている。その子ならではの特性を活かし、伸ばすことが大切。そのためには「良い保育者になること」と冒頭述べ、そのための基本条件であるチックの設問等の資料を配布し、知識と技術についてはスライドを使って自園の子どもたちの園生活を見せながら、優しく説いてくださいました。

研修の最後は、猪熊弘子先生(ジャーナリスト、東京都大文学客員教授)による「子どもを預けるとはー保護者の視線を考えるー」という講座です。

猪熊先生は保育所・幼稚園で起きた事故などを中心に調査し、施設側の保育環境、被害者の家族など当事者に取材して事故の原因を探り、社会に問う仕事をしておられるそうです。多くの事例を語られました。その事故のほとんどが、起こるべくして起きた事故だったと言います。その背景には現代の子育て事情や保護者同士が抱える問題、クレームが起きる原因など詳細に述べられました。



◇ このあとの閉講式で安藤委員長から受講生代表に受講証の授与、閉会の言葉で研修会を終了しました。

◇ 最後は先生は、高層ビルの清掃(窓ふきなど)する人の言葉を引用されました。「初心者は、ミスを起こさない・事故を起こさない・毎回怖がる」。受講生は「初心の心を大切にしよう」と感じたようです。

ご存知でしたか? 嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく、ウイルス・細菌を含む場合があります。処理する際は…

迅速かつ安全に行う必要があります。

⚠ 感染性胃腸炎では、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか? 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全に 清潔に 嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤

素早く 快適に **オブツポイポイ**が **解決!**

汚れた → 使う → 固める

高品質二酸化塩素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!

高機能殺菌剤とゼオライトにより、悪臭・細菌を、後処理が非常に簡単!

二酸化塩素殺菌剤により、ウイルス・細菌を瞬時に除去し、消臭も同時に!

セット価格: ¥1,050 (税別) (税別) (送料別)

東京都中小企業振興公社ニューマーケット関係支援事業協賛製品(24124号) 消費税込で利用

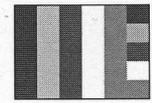
お問い合わせ先 株式会社 共生

東京都足立区吉千本町2-12-18 Tel: 03-3855-8781 e-mail: adachi-k@arton.ocn.ne.jp (担当: 有本)

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

ZENBUTSU
金・仏だより

無料税務相談室を開設します!

4月から毎月1回開設

宗教学法人をとりまく環境は大きく変化しております。会計や税務・法令等の運営に関するルールをよく知り、実践を行う必要があります。昨今の税務署等からのお尋ね文書や税務調査件数の増加など、宗教学法人に対する監視の目も強くなってきております。そこで、各ご寺院が抱える税務や会計の課題、疑問などに対応するため、本会では下記のとおり4月より毎月1回、無料相談窓口を開設します。

開設日	原則として毎月第2金曜日 午後1時から午後5時 (原則一人30分)
相談場所	全日本仏教会 事務総局 (内容によっては電話対応となります)
申込方法	本会ホームページから申込シートをダウンロードしてFAXでお申込み下さい。(詳細は本会ホームページをご覧ください。http://www.jbf.ne.jp)
担当税理士	朝日税理士法人 (木村 匡成、高尾 英一、松山 浩也)

- ※相談内容は、法人や個人の情報として差し支えない範囲で構いません。
- ※相談内容は、本会及び担当税理士の中で厳格に共有・管理します。
- ※相談項目を本会として内容を集計することがあります。ご了承下さい。

朝日税理士法人

クライアントの特性を常に考慮し、顧客ニーズを捉えた税務業務を手掛けている。宗教学法人の会計・税務業務では、宗教界の特殊性に鑑み税務調査対応を含め、顧客志向と適正化などをバランスした総合的な視点としてのサービスを提供している。尚、国内に10 (東京、札幌、仙台、高崎、横浜、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡) のグループ法人を有している。

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 <http://www.asahitax.jp>



木村 匡成
(きむら まさなり)

朝日税理士法人
パートナー／公認会計士・税理士

【主な役職】

公益財団法人全日本仏教会総務財政審議会委員、公益財団法人日本宗教連盟監事、公益財団法人国際仏教興隆協会監事、公益社団法人全日本仏教婦人連盟監事、公益財団法人禅文化研究所監事 他



高尾 英一
(たかお えいいち)
朝日税理士法人
マネージャー
税理士



松山 浩也
(まつやま ひろや)
朝日税理士法人
サブマネージャー
公認会計士



公益財団法人
全日本仏教会
WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター

〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2F
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260
<http://www.jbf.ne.jp/>



5月13日(水)は第9回理事会・第7回運営審議委員会です。

園理事 長 〒106・0046 東京都港区元麻布1-6-21 電話 03・3453・6710 麻布 真海 学校法人 麻布山幼稚園	日仏保理事 長 〒165・0022 東京都中野区江古田3-9-9 電話 03・3385・0014 日仏保理事・東仏保委員長 真高尊山派会長・園長 安藤 文隆 学・亮諦学園 金の峯幼稚園	日仏保理事 長 〒340・0032 埼玉県草加市遊馬町4-30 電話 048・925・1741 認定こども園 あずま幼稚園	日仏保参務 園理事 長 〒554・0051 大阪市此花区西島3-26-11 電話 06・6461・7849 神谷 周道 北港学園保育所	日仏保理事 長 〒272・0813 千葉県市川市中山3-10-4 電話 047・334・1224 緑谷 一雄 みどり幼稚園	園理事 長 〒617・0814 京都府長岡京市今里5-12-9 電話 075・953・0505 家田 光信 むりさき幼稚園	日仏保連営審議委員 園理事 長 〒191・0034 東京都日野市落川9-4-3 電話 042・591・1687 清水 博雅 学・漬谷学園 日野わかさ幼稚園	園理事 長 〒379・1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原985 電話 0278・72・2108 堪山 泰学 園長 堪山 泰賢 水上わかくりこども園	日仏保参務 園理事 長 〒206・0021 東京都多摩市連光寺2-24-6 電話 042・374・6040 関岡 俊二 学・高西寺学園 多摩みゆき幼稚園	日仏保連営審議委員 園理事 長 〒183・0021 東京都府中市片町2-4-1 電話 042・364・7651 小澤 宏 宗教学人 高安寺保育園	日仏保参務 園理事 長 〒314・0146 茨城県神栖市平泉2-7-69 電話 0299・92・3184 岩堀 法道 神田寺幼稚園	日仏保参務 園理事 長 〒158・0096 東京都世田谷区瀬田4-10-3 電話 03・3700・0940 山科 尚巳 園長 瀬田幼稚園	日仏保参務 園理事 長 〒179・0074 東京都練馬区春日町3-2-22 電話 03・3998・2162 高山 久照 学・光明学院 伊勢原ひかり幼稚園	日仏保参務 園理事 長 〒144・0047 東京都大田区秋中1-12-7 電話 03・3732・8781 高輪 真澄 学・善水学園 光輪幼稚園	日仏保参務 園理事 長 〒198・0064 東京都青梅市榎木町2-3-12-1 電話 0428・76・0809 増澤 秀丸 園長 増澤 正見 社会福祉法人 よしの保育園	園長 〒380・0921 長野市栗田465 電話 0266・226・7685 原山 総男 園長 ルンビニ幼稚園	日仏保理事 園理事 長 〒047・0034 北海道小樽市緑1-23-8 電話 0134・32・5449 野村 定弘 学・永安寺学園 永安寺学園幼稚園	日仏保参務 園長 〒157・0077 東京都世田谷区鎌田3-23-19 電話 03・3709・0400 金子 聡秀 園長 御園幼稚園	日仏保参務 園長 〒710・0055 岡山県倉敷市阿知3-20-7 電話 0866・425・0141 松井 大圓 園長 つわぶき園	日仏保参務 園長 〒615・0882 京都市右京区西京極葛野町4 電話 075・313・3663 審 曉美 宗・安養寺 光徳保育園	日仏保参務 園長 〒132・0035 東京都江戸川区平井6-53-7 電話 03・3618・0511 秋山 秀阿 園長 城北幼稚園	日仏保参務 園長 〒134・0091 東京都江戸川区船堀6-9-30 電話 03・3689・0340 木本 龍道 園長 兵庫県仏教保育協会	日仏保参務 園長 〒567・0832 大阪府茨木市白川1-11-1 電話 072・633・1212 加藤 英子 園長 りんでん幼稚園	日仏保参務 園長 〒380・0847 長野市若松町1028 電話 0266・234・5858 金子 英滋 園長 パドマ幼稚園	園長 〒164・0013 東京都中野区弥生町4-12-1 電話 03・5328・2434 永見 俊光 園長 こまどり幼稚園	園長 〒652・0032 神戸市兵庫区荒田町3-17-1 電話 078・511・0167 井藤 圭滯 園長 大蔵寺文化苑大蔵寺幼稚園慈光保育園	園長 〒156・0051 東京都世田谷区宮坂2-10-1 電話 03・3427・2251 武田 治恵 園長 公説宗教学人常徳幼稚園	園主 〒260・0812 千葉市中央区大蔵寺町4575 電話 043・261・5997 長谷川匡俊
--	--	---	---	--	--	--	--	---	---	---	--	---	--	--	---	---	---	--	---	--	--	---	---	---	---	---	--

事務局日誌

- 3 / 4 「仏教保育」「仏カリ」編集会議
- 3 / 17 「ほとけの子」編集会議

「3歳の壁」

子ども・子育て支援の新制度が「Go!」されました。これから何かが変わっていくのでしょうか？ その何かは期待できることなのでしょうが？

新制度施行に伴い、待機児童対策のための0〜2歳児に向けた保育施設が増えています。地域によつては「待機児童ゼロ達成」と気炎をあげ、更なる増加を見込んで認可保育所の誘致を進めるなど、待機児童対策の継続と様々な子育て支援のための施設に取り組んでいる自治体も多く出てきたようです。

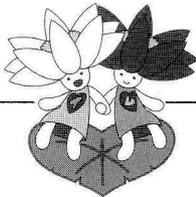
他方、保育園探しの保護者の間で「3歳児の壁」という言葉がささやかれていると聞きます。0〜2歳児向けの保育施設が増えた結果、3歳児以降の子どもを持つ保護者は預け先に苦労しているというのです。低年齢児向けの保育施設が増えること、3歳児以降の受け皿問題が更に深刻化していくということです。大都市近郊では私立幼稚園に働きかけて受け皿づくりを進める自治体も始めています。認可保育所を作る財源にも限度がありますから、保育所並みの開所時間で子どもを預かる私立幼稚園に対して助成をするということですね。

子ども・子育て支援新制度では、小規模保育施設を運営する事業者に対しても3歳児以降の預け先となる連携施設を確保することを求めています。「働く家庭の支援にもなるし、長い目で見れば園児を確保できるメリットもある」との幼稚園側の声もあるようです。

編集後記

■今年も春が巡ってきました。幼稚園・保育所では、送り出す寂しさと迎える楽しさを味わう「別れと出会い」が交錯する季節です。新しく迎える仲間たちには、みんな仲良く楽しく遊び、そして大きく巣立って行って欲しいと願う4月でもあります。■陰暦では4月を「卯月」と言います。十二支の4番目が「卯」にあたるからなど、いくつかの説がありますが、卯の花が咲く季節なので「卯の花月」を略したとする説が有力のようです。この「卯の花」とは、垣根代わりの境界線に咲く白い花を咲かせるウツギ（卯木）のことです。食べる「おから」ではないので、念のため子どもの声が騒音だと、各地で問題になっています。東京都の「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」では、住宅地における日中の音量規制基準を40〜45デシベル（時間によって異なる）と定めています。子どもが駆け足する時とか歌声については50〜66デシベルと示しています。しかし、幼稚園や保育所では、この基準値を超えることはあるでしょう。病人や午睡中の高齢者には迷惑な騒音かも知れませんが、そこは？ ■子ども・子育て支援新制度でも踏み込めない「子どもの騒音」。どうです！近隣の大人たちも一緒に大声を張り上げてみては？健康的で良いと思いますけど。（〇・一）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000 (8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵／諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

5
May

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけの心

「子ども・子育て支援新制度の在り方」について

幼保連携型認定こども園「こどものもり」(埼玉県) 園長 若盛 正城



1 はじめに

いよいよ本年4月から「子ども・子育て支援新制度」に基づく「幼保連携型認定こども園」(H27・4・1現在2835園)認定こども園の推移(参照)が、不安と希望を合わせながらスタートしました。今あらためて、新制度を基に「未来に育つ子どもへ」や「保護者及び地域を巻き込む役割」等について考えてみることを提案します。

2 「子ども・子育て支援新制度」について再確認

平成24年8月、政府与党は3党合意を踏まえた「子ども・子

育て関連3法」を成立。また新制度では①号認定(満3歳以上の学校教育の子ども)、②号認定(保育所機能を利用し、満3歳以上で親の就労等により長時間保育が必要な子ども)、③号認定(満3歳未満で親の就労等により長時間保育が必要な子ども)として、市町村の認定を受けた利用者は、施設型給付が保障され、運営費等は施設に法定代理受領として支給される。

「認定こども園制度」では、幼児教育・保育を提供する機能と地域の子育て支援を行なう機能の付いている施設には、都道府県知事からの認定を受けることができ、幼保連携型・幼稚園型・保育所型・地方裁量型の4類型ごとに財源は「施設型給付」にて一本化されている。

また「すべての子どもの最善の利益」をめざし、所管を文科・厚労を一元化した「内閣府子育て本部」として、保護者の所得

に応じた金額を支給し、学校であると同時に児童福祉施設でもある単一の認可施設となることにより、保育に携わるすべての保育者は両免許資格を併用した「保育教諭」を置くこととし、0歳から就学前の乳幼児を「教育」と「養護」を合わせ持つ一貫した保育が実現できることとなる。

また、子どもが減少している地域では、保育所の統廃合などで、遠くの施設を利用したり、利用を断念したりしている実態があることから、この改善のために地域型保育給付により少人数の保育施設などの安定的な運営を支援し、身近な地域での保育機能を確保できるよう計画されている。

3 現状における新制度は

今新たな「認定こども園」が進行するなか、一部マスコミ報道などで、幼稚園から認定こども園への移行を明確に表明したのは3割ほどに止まり、逆にこども園の1割程度は給付金が減るのを理由に、もとの幼稚園や保育所に戻りたいと意思表示している園が出てきている。その背景は個別の諸事情によるものが多いが、国としての拙速な決定や根拠の曖昧さからくる地方行政の混乱、公定価格及び保育者の処遇改善、認可基準の不透明さ、更には法人手続きや行政の理解力や指導力不足等の要因が考えられる。

4 今一度「新制度の在り方」を考える

戦後の日本は工業や経済最優先から、「人から物へ」と動き出し、長く守ってきた自然環境を破壊し、自然に対する感謝や畏敬の念が薄らぎ、幼な子を他施設に預けることから家庭の団欒が薄れ、共働きが当然のこととなっている。その結果、大都



市では待機児童が増加し、「保活」の流行語や保育所の増設運動、更には学童保育までが不足の事態となっている。

幼稚園では、少子高齢化に伴い目に見えて園児数が少なくなり、テレビゲームやスマホ等でより刺激の強いものが蔓延し、日本人特有の豊かな感性である五感による心の優しさや宗教的情操教育も疎外化されている。ますます孤立化する子どもたちに、仏教を基とする教育・保育を伝道していく者として、「一人ひとりが心に響く豊かな感性を身に付けた人づくり」をめざし実践していくことが緊急事態となっている。

今一度「誰のために園を設立してきたのか?」「なぜ地域に根差した教育・保育が重要なのか?」の原点を探ってみることが重要ではないだろうか!

認定こども園の推移

	計	類型別の認定状況				公私別	
		幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型	公	私
平成 19 年	94	45 48%	32 34%	13 14%	4 4%	23 24%	71 76%
平成 20 年	229	103 45%	77 34%	35 15%	14 6%	55 24%	174 76%
平成 21 年	358	158 44%	125 35%	55 15%	20 6%	87 24%	271 76%
平成 22 年	532	242 45%	179 34%	86 16%	25 5%	122 23%	410 77%
平成 23 年	762	404 53.0%	227 29.8%	100 13.1%	31 4.1%	149 19.6%	613 80.4%
平成 24 年	911	486 53.3%	273 30.0%	122 13.4%	30 3.3%	182 20.0%	729 80.0%
平成 25 年	1099	594 54.0%	317 28.8%	155 14.1%	33 3.0%	221 20.1%	878 79.9%
平成 26 年	1359	720 53.0%	410 30.2%	189 13.9%	40 2.9%	252 18.5%	1107 81.5%
平成 27 年	2835	1930 68.1%	524 18.5%	328 11.6%	53 1.9%	527 18.6%	2308 81.4%

* 上段の数字は園数、下段は類型別の占める割合【平成 27 年 4 月 1 日現在】

幼保連携型認定こども園 教育・保育要領

子育てを巡る課題の解決をめざす新制度の一環として創設された、幼保連携型認定こども園の教育課程その他の教育及び保育の内容が作成されています。幼保連携型こども園以外の認定こども園にも教育・保育要領を踏まえることとされています。つまり、教育・保育要領はより質の高い教育及び保育を提供する観点から、すべての認定こども園にとつて大きな意義を有しています。

この教育・保育要領作成に当たっては、「幼稚園教育要領」と「保育所指針」の整合性を確保するため、環境を通して教育・保育を行うことを基本としています。また、ねらいや内容等については、健康、人間関係、環境、言葉、表現の五つの領域から構成されています。

なお、発行されている解説書をご紹介いたします。他にもあると思います。が、質の高い教育・保育をめざす原点として、ご参考になれば幸いです。

内閣府・文科省・厚労省が発行する本

① 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」
〈平成 26 年告示〉フレール館より発行
定価 本体 150 円 + 税

② 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」平成 27 年 2 月 フレール館
本体 249 円 + 税

全国社会福祉協議会 発行

① 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」解説を読む
定価 本体 1,500 円 + 税

② 全社協ブックレット(2)
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読む」
定価 本体 750 円 + 税

世界文化社 発行

Pr i Pr i ブックス
「幼保連携型認定こども園」教育・保育要領サポートブック
(教育課程を含む全体的な計画から実践まで)
保育総合研究会監修

定価 本体 1,800 円 + 税

ご存知でしたか？ 嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく、ウイルス・細菌を含む場合があります。処理する際は…

迅速かつ安全に行う必要があります。

△ 感染症発症では、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか？ 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全 清潔 嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤

簡単 除菌 **オプツポイポイ** **解決!**

汚れた → 使う → 固める

高品質二酸化塩素の効果で **消臭・除菌・凝固**させます!

高品質二酸化塩素は、有害な塩素化合物を生成せず、環境にやさしい。

二酸化塩素は、嘔吐物・汚物に直接作用し、凝固・殺菌・消臭効果があります。

セット価格 ¥1,550 (税別) 100g 入り 20 個入り
20個入り ¥28,000 (税別)

東京都中央区新富町二丁目1番1号 株式会社 共生

TEL: 03-3585-2110 FAX: 03-3585-2111
www.oppspoi.jp



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp



平成26年度 生命尊重(いかせいのち) 協賛園

北海道

桂 幼稚園 四、五五〇円
ルンビニー保育園 三、〇〇〇円

滝川幼稚園 二八、五四一円
帯広幼稚園 八、四九七円
第二もなみ幼稚園 一〇、〇〇〇円

宮城

斜里大谷幼稚園 四、〇〇二円
瑞祥幼稚園 一八、三〇〇円
国の華幼稚園 二〇、四〇七円
潮見幼稚園 二、七五〇円
小樽幼稚園 一〇、〇〇〇円
つくしヶ丘幼稚園 六、〇七四円
もなみ幼稚園 四、二一六円
小樽高田幼稚園 一〇、七二八円

福島

札幌大谷第二幼稚園 九、一五五円
真宗寺保育園 四、〇〇〇円
みどり幼稚園 二〇、二四七円
花園大谷幼稚園 六、〇〇〇円
函館大谷幼稚園 二一、六九八円
朝里幼稚園 一〇、一三〇円

茨城

尾上保育園 四、九二五円
つきかげ幼稚園 五、二二〇円
青森大谷幼稚園 一〇、〇〇〇円
館岡保育園 二〇、〇〇〇円

岩手

正福寺幼稚園 二〇、一三二円
ふくむろ幼稚園 二〇、〇〇〇円
中新田幼稚園 一〇、〇〇〇円
古城幼稚園 五、四四四円
若林幼稚園 二、五六五円
東盛幼稚園 三七、一七〇円
東盛マイトリートリー園 四、七三〇円
東仙台幼稚園 二九、四一九円

栃木

認定こども園ぼだい樹白河幼稚園 一八、〇六〇円
共生保育園 二四、五三二円
三和幼稚園 八、八五四円
平賀保育園 一〇、〇〇一円

群馬

輪王寺附属日光幼稚園 二四、五〇二円
なでしこ幼稚園 二九、四七一円
真岡ひかり幼稚園 五四、〇〇〇円
岩舟幼稚園 一六、九九一円
鳥山みどり幼稚園 一二、六四五円
宇都宮保育園 一八、四一〇円
宇都宮保育園 五〇、〇〇〇円
三宝幼稚園 一〇、〇〇〇円
大森保育園 一〇、〇〇〇円
むつみ保育園 一〇、〇〇〇円
長野幼稚園 三〇、九六七円

みよしの幼稚園 一一、三〇〇円
妻沼幼稚園 一九、三二六円
二〇、〇〇〇円

千葉

千葉文化幼稚園 五、〇〇〇円
はばたん幼稚園 五二、三九一円
東漸寺幼稚園 一三、七六二円
太子幼稚園 一二、五〇九円
まんまる保育園 二〇、六〇〇円

東京

マヤ幼稚園 一〇、〇〇〇円
麻布山幼稚園 一〇、〇〇〇円
日野わかくさ幼稚園 一六、〇〇〇円
常徳幼稚園 一〇、〇〇〇円
中台幼稚園 三〇、〇〇〇円
言問幼稚園 二〇、〇〇〇円
駒沢女子短期大学附属こまざわ幼稚園 一〇、〇〇〇円
石神井保育園 一〇、〇〇〇円
まどか保育園 一〇、〇〇〇円
こまどり幼稚園 一〇、〇〇〇円
小岩みどり保育園 一〇、〇〇〇円
一之江保育園 一〇、〇〇〇円
松月院幼稚園 二二、五六六円
祐天寺附属幼稚園 一九、五〇〇円
帝釈天附属ルンビニー幼稚園

神奈川

金の峯幼稚園 三二、八九八円
光徳保育園 二〇、〇〇〇円
新小岩幼稚園 一〇、〇〇〇円
多摩みゆき幼稚園 五三、五〇六円
高安寺保育園 三、二五〇円
明福寺ルンビニー学園幼稚園 一七、一七〇円
西小松川保育園 一〇、二五六円
寿福寺幼稚園 一一、〇〇〇円
寿福寺第二幼稚園 一二、〇二〇円
まや保育園 一四、五〇〇円
銀の鈴幼稚園 三〇、〇〇〇円
神田寺幼稚園 四四、一四五円
練馬和光保育園 一八、七八三円
双葉幼稚園 三六、三九一円
是政保育園 二六、八五〇円
ほぜんじ幼稚園 五〇、〇〇〇円
本行寺第二伊興幼稚園 七、五〇〇円
慶元寺幼稚園 二〇、〇〇〇円
四恩幼稚園 二二、四六六円
草花保育園 一〇、〇〇〇円

神奈川

比企谷幼稚園 五、四六〇円
ばらの幼稚園 四二、四六七円
横浜れんげ幼稚園 一九五、二五三円

神奈川

比企谷幼稚園 五、四六〇円



愛知

新羽幼稚園 三〇、〇〇〇円
初山幼稚園 二〇、〇〇〇円

滋賀

新田塚幼稚園 二四、五二〇円
草津保育園 一〇、〇〇〇円
るんびにー保育園 一七、六〇〇円

三重

浜田保育園 一〇、〇〇〇円
高田保育園 一三、八〇〇円
長太の浦保育園 一二、〇〇〇円
第二長太の浦保育園 一二、〇〇〇円
三重保育園 一〇、一五五円
若葉保育園 一、〇〇〇円

京都

大徳寺保育園 六八、五二六円
ときわ幼稚園 一九、〇〇〇円
たちばな保育園 五、〇〇〇円
華頂短期大学附属幼稚園 四一、五四一円
伏見幼児園 一、二〇〇円
隨林寺保育園 二四、五〇〇円
西本願寺保育園 二五、〇〇〇円
嵯峨幼稚園 三八、八七一円
御室幼稚園 一五、八七〇円
大谷保育園 三五、〇〇〇円
桃嶺保育園 一一、八一〇円
寺西幼稚園 七、一〇〇円
明 幼稚園 一九、一〇〇円

大阪

りんでん幼稚園 五七、三二六円
若宮森の子保育園 二五、八三八円
とりかい保育園 九、七二二円
若宮保育園 二三、三〇〇円
光源寺幼稚園 一〇、〇〇〇円
旭ヶ丘学園 三〇、〇〇〇円
西若宮保育園 二〇、一九五円
勢至学園保育所 四四、四二〇円
常照寺隣保館保育園 九、三〇六円

奈良

慈光保育園 一五、〇〇〇円

和歌山

御坊幼稚園 九、一〇〇円

兵庫

鷺森幼稚園 六五、〇〇〇円
明照保育園 一二、六六八円
日光保育園 二〇、〇〇〇円
つきかげ保育園 八、七六五円
道場保育園 四五、六八二円
しるはな幼稚園 一〇、一八七円
ルンビニー愛児園 一二、〇〇〇円
宝地院保育園 九、七五九円

島根

益田幼稚園 一六、五四二円

岡山

御国幼稚園 三〇、〇〇〇円
牛窓ルンビニ保育園 一三、〇〇〇円

広島

みのり幼稚園 七、〇〇〇円
大心保育園 七、〇〇〇円
宝徳幼稚園 四、四〇九円
サルルナート幼稚園 七、六五二円

香川

すみれ保育園 一〇、〇〇〇円
白方保育所 二〇、五七三円
三井保育所 一五、〇〇〇円
長覚寺保育所 三、〇〇〇円
土庄保育園 一〇、〇〇〇円

福岡

いるは保育園 一九、七六四円
西光寺保育所 一〇、〇〇〇円
聖愛保育園 二一、七〇〇円
サルルナート幼稚園 二〇、〇〇〇円
華頂幼稚園 一〇、〇〇〇円
明願寺幼稚園 五、〇〇〇円
光應寺保育園 二〇、〇〇〇円

佐賀

鏡 保育園 五、六〇八円
能古見保育園 三、九〇〇円
鳥栖ルンビニ幼稚園 一〇、〇〇〇円
大久保保育園 二〇、〇〇〇円

協賛金合計
三、八〇二、九三〇円





社員総会 / 平成 27 年度 第 1 回 仏教保育研修会

日時・会場

平成 27 年 6 月 1 日 (月)
会場 増上寺 光摂殿
受付 13:30 ~ 14:00
議事 14:00 ~ 16:00
研修会 16:00 ~ 17:30

懇親会場

時間 18:00 ~ 20:00
会場 ザ・プリンスタワー東京
(33 階・スカイバンケット)

テーマ「寺院を取り巻く環境変化」～地域コミュニティにおける寺院のあり方～
講師 塚寄智志 (つかざき さとし) 先生

野村証券株式会社 金融公共公益法人部 公共公益法人課 課長

〈講師ご紹介〉

塚寄先生は、お寺の経営基盤である「収益」を維持・向上させ、健全な経営基盤づくりのための活動を続けておられる、所謂、寺業振興のプロフェッショナルです。

日本には 7 万 6 千余のお寺があると言われていす。しかし、人口減少や家族制度の変容、更に言えば檀家制度のほころび等により、現況のままではそ

の維持は難しく、将来は 6 千か寺まで減少すると予測するデータもでていようです。寺院の衰退が仏教の危機とは言えないまでも、寺院は仏教の「場」が失われる恐れがあります。お寺ではとかく「お金」の話はタブー視されがちですが、塚寄先生は『お寺維持』のために「お寺の収益」に真正面から取り組んでおられる先生です。

日仏保「関西地区研修会」

日時・会場

平成 27 年 6 月 27 日 (土)

北御堂 (本願寺津村別院) 大ホール

(大阪市中央区本町 4-1-3 / TEL 06-6261-6796)

地下鉄御堂筋線「本町」駅下車、A 階段②番出口左側すぐ)

交通アクセス

- JR「大阪駅」⇒ 阪急・阪神「梅田駅」より地下鉄御堂筋線「本町」駅下車 (「梅田」駅から「本町」まで約 4 分)
- JR「新大阪駅」⇒ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車 (「新大阪」駅から「本町」駅まで約 15 分)
- JR「天王寺駅」⇒ 近鉄「阿部野橋」駅 ⇒ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車 (「天王寺」駅から「本町」駅まで約 10 分)

タイムスケジュール

- 受付 13:00 ~
- 開会/勤行 14:00 ~ 14:30
- 講座 14:40 ~ 16:00
【講師：劇団かかし座】
- 閉会式 16:00 ~ 16:15

◎ 劇団かかし座

劇団かかし座は、日本で最初にできた現代影絵の専門劇団です。影絵の世界は人々の心を無限の想像

へ駆り立てる不思議な性質と魅力を持っています。1952 年の創立以来、独自の手法で影絵の世界を拓き、多くの人々を夢の世界へ誘ってきました。

今回は『魔法つかいのおとぎばなし』を演じてくださるそうです。

■ お問い合わせ

日本仏教保育協会 大阪支部 事務局
仏光幼稚園 岡田 哲明
TEL 06-6841-1000 FAX 06-6841-1001



園長 〒607・8409 京都市山科区御陵天徳町15 電話 075・591・6676 寺西 正毅 寺西幼稚園	園長 〒158・0093 東京都世田谷区上野毛2・15・15 電話 03・3704・1881 梅田 静子 鈴蘭幼稚園	日仏保理事 園理事務長 〒951・8061 新潟市中央区西堀通七番町1558 電話 025・228・5866 今湊 良敬 学・光暁学園 新潟中央幼稚園	園理事務長 〒984・0826 仙台市若林区若林4・1・24 電話 022・286・3250 金山 道雄 学・仙台佛教学園 古城幼稚園 若林幼稚園	日仏保理事 園長 〒960・1101 福島市大森字南中道47・1 電話 024・545・0814 吉岡 棟憲 福島ルンビニー幼稚園	園長 〒651・1201 神戸市北区西大池1・21・11 電話 078・583・0101 中杉千代子 宗・西林寺 大池保育園
--	--	--	---	--	--

園理事務長 園長 〒193・0944 東京都八王子市館町1629 電話 042・661・3046 野上 浩達 八王子ひまわり保育園	日仏保参務 園長 〒264・0028 千葉県若葉区桜木4・16・38 電話 043・231・0304 高山 照襄 千葉文化幼稚園	園理事務長 園長 〒105・0011 東京都港区芝公園4・7・4 電話 03・3431・0592 友田 達祐 蓮池 光洋 明德幼稚園	日仏保運営審議委員 園理事務長・園長 〒300・0812 茨城県土浦市下高津2・10・22 電話 029・821・1645 妹川 真澄 もみじ幼稚園	日仏保理事 園理事務長 〒533・0023 大阪市東淀川区東淡路4・12・25 電話 06・6321・0271 行友 伸二 学・光宝寺学園 淡路幼稚園	幼稚園理事務長 園長 〒461・0003 名古屋市中区筒井1・7・52 電話 052・935・2172 村上 真瑞 建中寺幼稚園 葵保育園	園長 〒381・0043 長野市吉田3・16・16 電話 026・244・3362 海野 和貴 吉田保育園	日仏保運営審議委員 園長 〒146・0093 東京都大田区矢口2・26・17 電話 03・3758・0074 樋口 威道 宗・延命寺 今泉保育園
--	---	---	---	--	--	---	---

園長 〒603・8231 京都市北区紫野大徳寺町74 電話 075・491・8818 森 義昭 大徳寺保育園	園長 〒566・0064 大阪府摂津市鳥飼中1・20・1 電話 072・654・5093 園田 広子 とりかい保育園	園理事務長 園長 〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879 白簾 文雄 山科幼稚園 西念寺保育園	園長 〒230・0063 横浜市鶴見区鶴見2・3・29 電話 045・581・3162 柳澤 則子 總持寺保育園	日仏保運営審議委員 園理事務長 〒166・0001 東京都杉並区阿佐谷北1・26・18 電話 03・338・6368 大澤 聖隆 世尊院幼稚園	日仏保理事 園長 〒737・0022 広島県呉市清水2・1・26 電話 082・325・5761 西村 英昭 呉あそか幼稚園	園理事務長 園長 〒216・0026 川崎市宮前区初山1・2・1 電話 044・977・5671 町田 順文 学・本遠寺学園 初山幼稚園	日仏保参務 園代表理事 〒141・0031 東京都品川区西五反田3・9・9 電話 03・5759・8081 小俣 昌道 ぷりすくる西五反田
--	--	---	--	--	---	---	--

園理事務長 園長 〒381・0043 長野市吉田3・15・4 電話 026・241・4151 黒柳 博仁 学・天周学園 若草幼稚園	園長 〒533・0023 大阪市東淀川区東淡路4・22・5 電話 06・6322・0083 行友美代子 淡路保育園	園理事務長 園長 〒183・0014 東京都府中市是政3・6 電話 042・361・7452 榎本 隆乘 榎本 崇子 宗・西蔵院 是政保育園	日仏保理事 園長 〒522・0083 滋賀県彦根市河原1・1・4 電話 074・492・6123 小川 良紘 るんびにー保育園	園長 〒983・0005 仙台市宮城野区福室5・11・30 電話 022・2258・0026 三浦 宗格 ふくむろ幼稚園	園長 〒332・0021 埼玉県川口市西川口3・34・5 電話 048・251・3076 稲岡 圭慈 西川口幼稚園	園理事務長 園長 〒080・2471 北海道帯広市西21条南3丁目22・2 電話 0155・355・7122 山田 周敬 中田 和雄 学・帯広空泉学園 帯広幼稚園	園長 〒610・1112 京都市西京区大枝北福西町4・3 電話 075・332・2808 小山内定代 洛西花園幼稚園
--	---	---	--	--	---	--	--

園理事務長 園長 〒560・0035 大阪府豊中市箕輪2・5・22 電話 066・841・1000 平 興隆 平 英子 仏光幼稚園	園理事務長 園長 〒388・8005 長野市篠ノ井横田772 電話 026・292・1094 藤本 悠起 藤本 光世子 学・円福学園 幼保連携認定こども園 円福幼稚園	日仏保運営審議委員 園長 〒333・0835 埼玉県川口市道合1221 電話 048・281・2333 後藤 光純 北川口幼稚園	学 園長 〒174・8631 東京都板橋区前野町6・36・4 電話 03・3966・7637 前原 英明 淑徳大学短期大学部	園理事務長 園長 〒073・0031 北海道滝川市栄町2・7・13 電話 0125・232・2478 泉 敬之 滝川幼稚園	日仏保副理事 園長 〒615・8296 京都市西京区松室山添町6 電話 075・381・2591 日野 昭文 松尾幼稚園
--	--	---	---	--	---

夏期仏教保育講習会
（7/22・23）の詳細に
ついては次号で
お知らせ致します。



事務局日誌

4 / 14

「仏教保育」編集会議
事務局会議

「ネパール地震犠牲者の皆様のご冥福をお祈りし、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます」

4月25日正午まえ（日本時間同日午後3時過ぎ）頃、ネパール中部でマグニチュード（M）7.8の地震が発生しました。当初は800〜1000人の死亡が確認されたと報道していましたが、日を追うにつれ被害は拡大し、5月に入ってインド周辺3カ国を合わせた死者は7,000人を超え、負傷者は15,000人近い数に上ったとのこと。しかも山間部の被害実態はほとんどつかめておらず、集中捜索が続いているということです。エベレスト周辺の雪崩により、日本人の死亡も確認されたと伝えられています。また、避難生活者はネパールの人口の1割を超す280万人にも達し、倒壊はおよそ13万棟、損壊は85,000棟と報道されています。

私たち日本人はあの3・11の大震災による地獄の惨劇を目の当たりにしてきただけに、被災者の恐怖・救援を待つ雄叫びは胸に痛く響いてきます。

余震も続き救助活動も難航しているようですが、これ以上被害の拡大もなく、人身の安泰を願って止みません。

ここに、犠牲者のご冥福と復興への道の一日も早いことを心からお祈りいたします。

公益社団法人 日本仏教保育協会

理事長 緑谷 一雄

加 盟 園 一 同

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

編集後記

■先日、旅先でのことです。朝食はよくあるバイキング形式。数人が残しているのでもったいないから残さず食べましょう」と言うのと、「嫌いなものがあつた」「取り過ぎた」と。その時は、それ以上は言えませんでした。■我が国の廃棄処分される残飯の量は世界ワースト1と言われている。家庭からの残飯、小売店等での売れ残り、ホテルやファミレス等の料理、規格外の野菜、それらの中で群を抜いているのが、子どもたちの給食だそうです。■私が子どものころは、嫌いなものでも食べ終わるまで「昼休みはおあずけ」でした。しかし、最近は嫌いなものを無理やり食べさせるのは「虐待」、休み時間を奪うことは「許されない」など、権利主張ばかりです。■現在、世界的な食糧危機。今こそ、真剣に、食品ロス（フードロス）をみんなで考えましょう。「我々は命をいただいているのですから。」（根本）

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

6
June

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけ の心

三歸依文
斉唱



「第9回理事会・第7回運営審議委員会」報告

平成27年5月13日／大本山増上寺・増上寺会館



福井事業部長



荻野常任理事



高輪常任理事



高山常任理事



緑谷理事長



司会・五島事務局長



浦田副理事長



三浦副理事長



金子監事



麻布常任理事

5月13日(水)、大本山増上寺の増上寺会館において第9回理事会並びに第7回運営審議委員会が開催されました。司会・進行を司る五島事務局長が開催を告げ、緑谷理事長の主唱で三歸依文斉唱に続き、同理事長より「ご遠方よりご出席いただきありがとうございます。今朝、大きな地震がありました。仙台駅では修学旅行の生徒たちが足止めされているニュースが報じられ心配しましたが、幸い余震も津波の恐れもなく安堵しました。ところで、子育て支援新制度がスタートしました。待機児童対策に自治体は力を入れています。私は千葉県の市川市ですが、千葉県では待機児童の一番多い地域です。市には新しい施設を作る財源もありませんので、私企業にも呼びかけると共に、私ども私立幼稚園協会へも助成金を出すから0〜2歳児に保育室を提供して欲しいと積極的に働きかけています。ある意味では認定こども園に似た状況になりそうなおもいをしているところですので。そうした流れの中でどう対応していけばよいか、急務の課題とと思っています」と挨拶されました。

次いで同事務局長より理事会・運営



審議委員会の両会とも成立する旨、並びに会の進行手順を述べてから、定款第37条に則り緑谷理事長が議長に就任し、議事に入りました。

議事は

- (1) 平成26年度事業報告
- (2) 平成26年度収支決算・監査報告
- (3) その他

第1号議案「平成26年度事業報告」については、はじめに高山久照総務担当常任理事から所管する1. 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展



吉岡棟憲先生のご挨拶

配布された次期開催の「第34回全国仏教保育福島大会」企画書(案)の概要説明のあと、「故・上村映雄理事長からの懇請を受け、小さい組織であり金銭的にもゆとりはありませんが、一丸となって準備を進めています。ここに示しました企

開 6. 関係団体との連絡提携 8. 国際交流、社会貢献の実践 9. 奨励事業、等について配布資料の記載に従って報告しました。

続いて、高輪真澄研究担当常任理事から所管する2. 調査研究 3. 現職教育 4. 指導者養成について別紙資料記載に基づいて報告しました。

次いで、福井徹人事業部長から所管する5. 編集・刊行について、機関紙『仏教保育』『月刊・仏教保育カリキュラム』はじめ、『ほとけの子』『こどもものくに』など、編集・刊行

の経緯を資料に添って報告しました。

7. 保育制度対策の活動強化については、所管する荻野順雄保育対策担当常任理事から、仏教保育振興国会議員懇話会との連携の現状はじめ、1月20日に開催したザ・プリンスタワー東京においての新年懇親会で仏教保育振興強化への連携を深めたことなどについて報告し、最後に五島事務局長より、10. その他必要な事業 並びに ◇会議について、資料に記載された通り実施した旨、報告がありました。



画書は、福島支部で取り敢えず作成した「たたきだい」であります。皆様方のご意見を反映させていただきながら、小さいながらも最善の努力で取り組む覚悟です。諸先生の絶大なご協力・ご支援をお願い致します。ぜひ被災地・福島で生命尊重の保育を皆様と共に学んでいただきたいと願って、スタッフ一丸となって準備に取り組んでいます。

日野昭文先生のご挨拶

昨年7月に開催した「第33回

第2号議案「平成26年度収支決算・監査報告」については

は、収支決算は財務担当の麻布恒子常任理事から詳細説明が行われ、監査報告については金子聡秀監事より実施した監査項目、業務監査並びに会計監査の結果、貸借対照表は正味財産増減計算書、財産目録及び付属明細書等は法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものであると認めたと、報告されました。

いずれの上程議案も6月1日に開催する社員総会の審議に諮って可決された後に公布

する旨を確認しました。(3)その他

はじめに、緑谷理事長からネパールの地震への義援金50万円を本席で日赤に寄託する予定であったが、日赤側の都合で参加できなくなり、後日調整してお渡ししたい旨が報告されました。その後、三浦、浦田、吉岡、日野、行友の先生方から挨拶がありました。一部、概要(別掲)をお伝えします。

と自画自賛しています。使い方が分からない方は、若い先生に教わってください(笑)。また、先ほどより福島大会の企画書を拝見し、しっかりと準備されておられると思いました。私も応援させていただきたいと思っています。

行友伸二先生のご挨拶



「第60回関西地区研修会」開催のご案内をさせていただきました。大阪(淡路幼稚園)から参りました。機関紙等でもお知らせしていますのでご存知かと思いますが、平成27年6月27日(土曜日)、講座は「劇団かかし座」による影絵の上演です。舞台裏での仕掛けも見せていただけることと致し、影絵遊びのやり方なども教えていただけることになっています。自園で活用していただければと思います。ぜひ参加をお待ちしています。

日仏保「関西地区研修会」は

6月27日(土)開催します

会場

北御堂(本願寺津村別院) 大ホール
(大阪市中央区本町4-1-3)
電話 06-6261-6796

タイムスケジュール

- 受付 13時〜
- 開会/勤行 14時〜14時30分
- 講座 14時40分〜16時
(講師・劇団かかし座)
- 閉会式 16時〜16時15分

●JR「大阪駅」↓ 阪急・阪神「梅田駅」より地下鉄御堂筋線「本町」駅下車

●JR「新大阪駅」↓ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車

●JR「天王寺駅」↓ 近鉄「阿部野橋」駅↓ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車

●お問い合わせ
日本仏教保育協会 大阪支部 事務局
仏光幼稚園 岡田 哲明

電話 06-6841-1000
FAX 06-6841-1001

ネパール地震による被災者の皆さま、謹んでお見舞い申し上げます。「被災地に義援金50万円を日本赤十字社に寄託」

去る4月25日正午頃、ネパール中部でマグニチュード7.8の巨大地震発生の報道に、3.11の大惨事に遭遇した私たち日本人には、被災地の人たちの驚き、苦しみ、怒り、そして絶望感、味わったものとして痛感します。

死者は発生数日後で3000人を超えると言われ、その後も増え続けているようです。救助活動の困難さにも身が震えま

す。日本からも、いち早く医療チームなどが駆けつけ診療等に当たっていますが、一カ月余を過ぎた今も余震は続き、住民の不安は極限に近いということです。屋外での避難生活者は数十万人と言われています。

5月13日の理事会・運営審議委員会開催時の席上で義援金50万円を日赤に寄託する予定でした

が、日赤側のスケジュール調整がかなわず、過日、日赤宛てに送金しました。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。併せて、一日も早い復旧・復興を願っています。 合掌

公益社団法人 日本仏教保育協会
理事長 緑谷一雄

加盟園一同

ご存知でしたか? 嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく、ウイルス・細菌を含む場合があります。処理する際は...

迅速かつ安全に行う必要があります。

△ 感染症有疑いでは、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか? 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全 清潔 簡単 効果的

嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤

解決! オブツポイポイ

汚れた → 使う → 固める

高品質二酸化炭素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!

高濃度空間殺菌成分により、瞬間に菌を死滅させ、臭気も除去!

二酸化炭素殺菌成分により、ウイルス・細菌も同時に殺菌し、床も固めます!

セット価格 ¥1,000 (税別) 100個入り
20個入り ¥200 (税別)

東京都中央区本町4-1-3 日保ビル3階 06-6261-6796

株式会社 共生 東京都中央区本町4-1-3 Tel: 03-3955-2711
e-mail: jukuhai@nifty.com

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp



第 83 回

夏期仏教保育講習会ご案内

主催：公益社団法人日本仏教保育協会 共催：東京仏教保育協会

7月22日 (水)

- 9:00 受付
- 9:30 「朝のコーラス」
講師：公益財団法人 全国青少年教化協議会研究員 吉水千草先生
- 9:50 開講式
- 10:20 「仏教保育の話」
講師：公益社団法人 日本仏教保育協会理事長 緑谷一雄先生
- 10:50 一休 憩一
- 11:00 「仏教から生まれた和の文化ー生活の中の仏教語をめぐってー」
講師：駒沢女子大学教授 千葉公慈先生
- 12:00 一昼 食一
- 13:00 「でんしゃにのって」ももんちゃんとバルボンさんがやってきた
講師：絵本作家 とよたかずひこ先生
- 14:20 一休 憩一
- 14:30 「いのちを守る保育に大切なこと」
講師：ジャーナリスト 猪熊弘子先生
- 16:00 終了・解散

7月23日 (木)

- 9:00 受付
- 9:10 オリエンテーション
- 9:20 「仏教保育のこころ」
講師：公益社団法人 日本仏教保育協会 金子聡秀先生
- 10:40 一休 憩一
- 10:50 「子どものこころを聴くということ」
講師：公益財団 全国青少年教化協議会主幹 神 仁 先生
- 12:10 一昼 食一
- 13:00 「子どもが育ち、育ちあう遊び
～素朴で豊かな手遊び・わらべうた・おはなし遊びのいろいろ～」
講師：語り手・児童文化実践講師 近藤千春先生
- 14:20 一休 憩一
- 14:30 「造形活動における“見立て”と“仕立て”の構造」
講師：鶴見大学短期大学部講師 鮫島良一先生
- 15:50 閉講式

平成 27 年 7 月 22 日「水」
—
23 日「木」

会場：増上寺大殿 (本堂)

東京都港区芝公園 4-7-35
(電話) 03-3432-1431

保育の世界は大きい変革の時を迎えています。
変動する保育界にあっても仏教保育の灯は消してはなりません。
今まで以上に生命尊重の保育実践に努力しなければなりません。
心の教育について、是非多数の保育者の参加を心からお待ち致しております。
公益社団法人 日本仏教保育協会理事長 緑谷一雄



新制度施行初の子育て会議開催

「新制度への周知徹底

と財源確保が急務」

5月21日、子ども・子育て支援新制度が施行されて初めての「子ども・子育て会議」が開かれ、互選により無藤隆先生（白梅学園大学教授）が会長に就任しました。子ども・子育て部長を務める有村治子少子化対策担当大臣は、冒頭、「新たに社会養護分野からの委員を選出したこと。ここに代表を送り込めないすべての方々から、子ども・子育て世帯への支援への幅広い観点から議論が求められること」などを強調した上で、今後の制度充実のために1兆円を超える費用が必要。その財源確保に尽力することを誓うと、挨拶されました。

同会議・事務局から、「自治体・事業者・利用者などの関係者に、新制度に関する理解・浸透に努めるとともに施行状況を把握し、点検・評価を行ういつ、必要な対応措置を講じることを

基本的な方針としたい」と、新制度施行に係った取り組みへの方針が提起されました。

秋田喜代美委員（東京大学大学院教育学研究科教授）からは、質の向上に向けた財源が不十分である点を指摘し、そのための保育者養成施設教員の新制度への理解浸透、保育者の「キャリアアラダー（階段を踏んだキャリアアップの仕組み）の検討が課題であると、述べています。

他の各委員からも、認定区分を問わず、園内環境における議論が必要。幼保連携型になった公立幼稚園も多く、同会に保育所型認定こども園の加盟もあつたことを報告し、教育・保育内容の充実も課題だと、述べています。また、各地域での混乱、新制度の周知徹底などを挙げ、いづれにせよ、財源確保を求める意見が多く出された会議となりました。

“大和言葉”の奥ゆかしさ で豊かな人間関係づくり

近頃、男性も女性も会話がだんだん粗雑になってきたように思います。語彙も乏しく、綺麗な言葉とはほど遠い会話が氾濫しているように思えます。

言葉は人間関係を取り結ぶ唯一の媒体ですし、人と自分を支えてくれる源でもあります。「ことばの乱れは国の乱れ」とまでは言い過ぎかも知れませんが、嘆かわしく思っています。

そんなことを憂いていたころ、ちよつと嬉しいニュースが飛び込んできました。最近、「大

和言葉」が注目されているというのです。奥ゆかしい大和言葉は人との付き合いをなめらかにする潤滑油のようなもの。大いに使いたいものです。大和言葉、つまり日本固有の言葉は日本の風土に生まれ、育まれてきた言葉です。ちよつと考察してみましよう。

お客さまが見えられたとき、『いらつしやいませ』『ようこそお運びくださいました』『よんどころない事情がございまし

て』：如何です？ 大和言葉は音声の一つ一つに古き良さを彷彿とさせる感性が投影されていると思いませんか。

女優の吉永小百合さんは、30年ほど前から広島・長崎の原爆詩の朗読をされていることは知られています。東日本大震災後は、福島島の詩の朗読を続けておられます。吉永さんの朗読は、悲しみと希望が聴く人の心に沁み込んでいくようです。因みに、福島で来夏開催される「第34回全国仏教保育福島大会」の基調講演をお願いすべくお話を進めているところです。

聴きたいですよ。福島島の詩の朗読。

保育士の人材不足等で、 保育施設のトラブル多発

新制度がスタートして2カ月。新制度は歓迎と不信のなかでの幕開けではあったが、制度の柱と言える「認定こども園」は前年の2倍に増える結果となった。親の働き方に関係なく子どもが教育・保育を受けられる施設が広がり、待機児童対策

や過疎地での幼児教育というこ

りなかつたことも原因の一つとなつたようである。

私立幼稚園にも補助を対象とした受け入れを要請しているものの、人材や保育のノウハウなどの問題もあり、待機児童減少の効果の期待は低いようである。

特に、保育の質が不安な認可保育所に保護者はどのように対処すれば良いか困惑は続いている。待機児童の多い地区の自治体は、幼稚園に受け皿を期待してやまないのが実情のようである。



平成27年度「第50回 仏教保育研修会」から

「子どもを預けるとはく 保護者の目線を考える」

去る3月31日、神田寺幼稚園（東京都千代田区）を会場に開催された東京仏教保育協会（安藤文隆委員長）の「仏教保育研修会」は本紙4月号（No.612）で紹介しましたが、その研修会にご講演いただいた、ジャーナリストであり、東京都大学客員准教授・猪熊弘子先生のお話は、その後も反響を呼んでいます。そこで本号では、3月31日にお話いただいた内容（概要）を報告したいと思います。

「教諭と保護者の関わり方」「保護者同士が抱える問題」など、鋭いジャーナリストの目で考察された猪熊先生のお話は、教諭・保育士の先生方にとって大いに参考になると思います。因みに、猪熊弘子先生は当協会「日仏保恒例の「仏教保育夏期研修会」（本号にスケジュール記載）でも、ご講演をいただくことになって



この会場の正面に飾られている弥勒菩薩様の写真を見て、春は「花まつり」冬は「涅槃会」といった行事を思い出しました。そこで、本題に入る前に簡単に自身の自己紹介をさせていただきます。

私は1965年生まれで、ちょうど50歳です。横浜に住んでいた頃はお寺の中の保育園に通い、栃木県に移ってからは近

くにあった、やはりお寺が運営されている幼稚園に通園しました。幼児期の私は、保育園も幼稚園も仏の教育を受けて育ったのです。そのせいででしょうか、弥勒菩薩様の写真を拝見した瞬間、45年前に聞かされたお釈迦様のお話が忽然と蘇り、仏教教育の深さを感じさせられたのです。社会人になってからの私は、ずっと記者を続けています。4人の子どもにも恵まれました。4人とも0歳から保育園に預けて育ててきましたので、保育園保護者歴15年。保育園の超お局様と言われたくらいです（笑）。そうしたご縁から、朝日新聞

社が発行している『アエラ・ウィズベビー（AERA with Baby）』という育児雑誌の創刊号から編集局長的な立場で制作に当たってきました。昨年引退しましたが、その間、幼稚園や保育園で起こった色々な事故を取材してきました。保護者と園とのトラブルなども多く見ました。そうした事故・トラブルを細かく分析し、それらを防ぐにはどうすれば良いか、ということにも取り組んできました。

さて、ここできょうは、子どもを預けるということはどういうことなのか、保護者の目線を考えるというお話をさせていただきます。

保護者との関わりも 教諭・保育士の大きな仕事

① 親は、どのような気持ちで子どもを預けている？

猪熊先生は冒頭にこう述べられてから、配布されたレジュメに添ってお話を進められました。

だこうと思います。

親はインターネットや通園している子どものお母さんたちなどから色々集め、「ここは？」と思う幼稚園や保育園を見聞にいきます。基本的には「家から近い」というのが大きなポイントにはなりますが、決め手の理由の第一は、何よりも「ここなら子どもを預けても大丈夫だろう」と、つまりは信頼できるかどうかにかかっています。信頼できるポイントはどこにあるか。私のHPにも書いていますが、お母さんにいつも言っていることは「幼稚園・保育園に直接行って、先生たちの表情を見てね」と。先生たちの表情が輝いているか、元気で躍動感があるか、よく「観る」ようにと。疲れていたり、何となく暗いなど思われるなら考えたほうが良いのでは」と、アドバイスします。親は「ここに預ければ健康的でたくさん成長を私に見せてくれるだろう」と、期待して預けるのですから。

② 「保護者支援」の意味とその重要性

皆さんは、子育て支援よりも先ず「親支援が大変」ということを聞いたことがあるかも知れません。親も子どもと同じように成長していくことで、子どもが生まれたその時から親



は「0歳」です。親も「赤ちゃん」なのです。ですから、わが子をどうやって育てていいかわからない。当然ですよ。親としては赤ちゃんなんです。先生たちが色々アドバイスしてもなかなか聞いてくれない保護者も中にはいます。しかし、諦めずに手を差し伸べてあげてください。「親育て」というと『上から目線』のように感じるかも知れませんが、決してそうではありません。園の先生と一緒に育ててことも素晴らしいことです。親は変わります。親が変われば、子どもも変わります。そして、先生とも良い関係になります。

③ 保護者は「敵」ではない

「いちばんの「味方」」
保護者はいろいろとクレームをつけてくる、そんな話を耳にすることがあると思います。でも、保護者は煩わしい敵ではありません。良い関係になれば、保護者は一番強い味方になってくれます。先生同士の関係性が良い園は和気あいあいとしながら、テキパキとプロとしての仕事ができる仲間たち、そんな雰囲気があります。そうすると、保護者たちもそういう関係を作っていきます。大人の集団がきちんと育っていくと、不

思議なことに子どもたちも明るい健全な関係になれるのです。反対に、先生たちの関わりがうまくいっていない園ですと、保護者も殺伐となりますし、子どもでの「いじめ」などが起ります。やすい環境になりがちのよう

思議なことに子どもたちも明るい健全な関係になれるのです。反対に、先生たちの関わりがうまくいっていない園ですと、保護者も殺伐となりますし、子どもでの「いじめ」などが起ります。やすい環境になりがちのよう

④ 子育て困難な時代に生きる

現代子育て事情
「子ども」は社会の迷惑？
ネット社会が変える子育て
情報過多と情報弱者
見えない貧困、非正規労働者の増加、格差の拡大、情報の

紙面の都合ですべては紹介できませんが、先生方にはレジュメからご推察いただけたらと思いますので、列記しておきます。
【レジュメより】
④ 子育て困難な時代に生きる
現代子育て事情
「子ども」は社会の迷惑？
ネット社会が変える子育て
情報過多と情報弱者
見えない貧困、非正規労働者の増加、格差の拡大、情報の

貧困

(4) 子育ての「常識」が変化し、世代を超えて共有されない子育て
(5) 厳しい大人社会、子どもたちに大人社会のしわ寄せがきている？
(6) 保護者同士が集まっている
(7) 色々な人が集まっている
(8) 親同士のトラブルにどう対処する？ 園の方針と保護者の要求、惑わされない

⑥ 「クレーム」はなぜ生まれる？

「非常時」のために「日常」からの良い関係が必要
「ポジティブ」な関わり方を心がけよう
声かけ、ノートに書く言葉など、まずは「ポジティブ」を基本に！
⑨ 満たされない心」がクレームの芽

(1) 良い関係性とスムーズなコミュニケーション、トラブルを防ぐ
(2) 「ポジティブ」な関わり方を心がけよう
声かけ、ノートに書く言葉など、まずは「ポジティブ」を基本に！
⑨ 満たされない心」がクレームの芽
その保護者が本当は何を求めているのか？
一人で抱え込まずに！
⑦ 子どもの命を大切に守る保育・教育を
(1) 毎日の保育・教育の中の「く

り返し」と「積み重ね」が保育の基本
「まあ、いいか」と思った瞬間が、命に関わる危険の芽
(2) 一人では「保育」はできない
「チームでカバーしあう保育」一人ではクリアできない危険も、仲間同士でカバーしあうことができる
(3) 素晴らしい実践の大前提は「安全」
(8) 子どもたちの「わくわく」を大切に！
(1) 保護者は毎日、子どもの成長に気付き、感謝している
(2) 温かな言葉かけ、当たり前の行動を大切に！
「基本」を大切に
(3) 保育・教育は子どものかけがえのない人生の第一歩を築く重要な時間
決して取り戻すことのできない重要な時間に関われる喜びを感じて
⑨ まとめ「永遠の初心者」でいること

また、「第83回夏期仏教保育講習会」(4ページに掲載)の第一日目、午後の講座に猪熊先生の「いのちを守る保育に大切なこと」というテーマの講演があります。ご期待ください。

また、「第83回夏期仏教保育講習会」(4ページに掲載)の第一日目、午後の講座に猪熊先生の「いのちを守る保育に大切なこと」というテーマの講演があります。ご期待ください。



<p>日仏保副理事長 長 浦田 裕人 〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町22 電話 075・821・0055</p>	<p>月かげ保育園 鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園 長 山崎 和子 〒230-0063 横浜市鶴見区鶴見2-1-3 電話 045・573・8819</p>	<p>佛敎大学附属幼稚園 長 藤堂 俊英 〒616-8306 京都市右京区嵯峨広西裏町36-1 電話 075・872・5327</p>	<p>光應寺保育園 長 古賀 成磨 〒812-0017 福岡市博多区美野島2-6-31 電話 092・441・9715</p>	<p>学校法人 東京聖徳学園 聖徳大学 聖徳大学 聖徳大学 短期大学部 理事長・学園長・学長 川並 弘純 〒271-8555 松戸市岩瀬5-5-0 電話 047・365・1111</p>	<p>学・真照寺学園 国谷幼稚園 日仏保参務 名譽園長 栗原 信明 〒321-0211 栃木県下都賀郡壬生町国谷8-40-1 電話 0282・821・2000</p>
---	--	---	---	---	---

事務局日誌

- 5 / 8 会計監査会、「仏教保育」「仏カリ」編集会議
 - 5 / 12 「ほとけの子」編集会議
 - 5 / 13 「第9回理事会・第7回運営審議委員会」
 - 5 / 21 こどものくに「たんぽぽ版」編集会議
- 事務局会議
増上寺会館「松の間・杉の間」

『幼児期運動指導リーダー』養成！

子どもの健康に警鐘を出し始めて久しいが、真っ直ぐ立てない子、曲がり角でふらつく子、顔から転ぶ子等々、ますます増える子どもの体力の衰えに、各自治体はこれまで以上に健康づくりに力を入れ始めました。

折しも、2020年開催の東京オリンピックに備えて国は選手育成や健康づくりを担うスポーツ庁の創設を決め、10月1日にスタートすることになりました。組織としては、文部科学省の管轄ということになりますが、スポーツ産業に関わる経済産業省、施設を整える国土交通省、国民の健康作りにつながる厚生労働省などから人材を確保し、「オリンピック・パラリンピック課」など五つの課を設けるということで、国民の注目を集めています。

それに呼応するかのように自治体でも体力調査を進めるとともに、指導者の養成に取り組み始めました。特に、幼児は年齢によって発達が異なるので年齢に応じた指導が必要だとして、幼児期運動指導リーダーを養成するための研修会なども実施し始めています。

幼児期での正しい運動は成長期の基礎ともなるだけに、身のこなしなど楽しい遊びを通して体得できるように指導されるということですね。期待できそうですね。

編集後記

■「薫風」の季語を使うこともないまま夏日の多い5月は去り、6月上旬には梅雨入り宣言。3月には御嶽山が噴火し、5月の末には口永良部島の新岳が噴煙を上げました。ネパールの地震、小笠原の地震、地球は今、荒れ狂っているようです。「注意してください」と避難・退去の報が出されても、動きのままならぬ自由な人に思いを致すと、身を切られる痛みを感じます。ただひたすらに、無事を祈るしかない我が身を「如何に徒やせん」の心境です。■そんな6月ですが、16日は「和菓子の日」。和菓子を楽しみ、新茶で心を癒してはどうでしょう。全国和菓子協会が1979年に制定した記念日だそうです。平安期の承和年間、国内に疫病が蔓延。時の仁明天皇は年号を嘉祥と改め、その元年（848年）の6月16日に16個の菓子や餅を神前に供えて疫病よけと健康招福を祈ったことが由来とか。以来、お菓子を食べる「嘉祥菓子」の習俗は形を変えながらも平安期から江戸時代を経て近世まで延々と繋がってきたそうです。■今、幼児を対象とした「お茶育」が静かなブームを起こしつつあるそう。堅苦しい茶道とは一味違う作法？で、お茶やお菓子で季節を知り、楽しく仲間と語りながら人間関係作りにも役立つとのこと。 (O・I)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版



仏教保育

7
July

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけ の心

第 4 回社員総会／平成 27 年度第 1 回仏教保育研修会

平成 27 年 6 月 1 日／大本山増上寺・光摂殿

「ごじゅろの教育」の担い手として全議案を採択！

公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は 6 月 1 日、大本山増上寺光摂殿において第 4 回社員総会並びに平成 27 年度第 1 回仏教保育研修会を開催しました。

ご高承の通り、4 月 1 日に「子ども・子育て支援新制度」はスタートしました。しかし、幼稚園から認定こども園への移行は 3 割程度にとどまり、逆に認定こども園の 1 割ほどが認定返上の意思を示すなど、波乱の幕開けとなりました。スタートして 2 カ月余を経過した今も待機児童減少の効果は少なく、自治体では幼稚園の施設に受け入れを要請しているのが現状です。制度がどのように変容されようとも、仏教を基とする教育・保育を伝道していく指導者として「ほとけの子」を育てる理念は変わるはずはなく、上程議案のすべてを異議なく採択されました。



司会・進行を務める五島満事務局長が開会を告げ、緑谷一雄理事長の主唱で三歸依文を斉唱。続いて緑谷理事長が挨拶。次いで五島事務局長より出席・委任は定足数を満たしており成立する旨を述べてから、定款第 26 条に則り緑谷理事長が議長に

- 就任し議事に入りました。
- 上程議案は次の通り。
- 第 1 号議案 平成 26 年度 事業報告
- 第 2 号議案 平成 26 年度 収支決算・監査報告
- 第 3 号議案 平成 27 年度 事業計画（案）
- 第 4 号議案 平成 27 年度 収支予算（案）
- 第 5 号議案 役員改選
- 第 6 号議案 その他
- 第 1 号議案「平成 26 年度事業報告」については、高山久照

- 総務担当常任理事が所管する(1) 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展開、(6) 関係団体との連絡提携、(8) 国際交流、社会貢献の実施、(9) 奨励事業等について別紙資料の記載に基づいて報告しました。
- 続いて、高輪真澄 研究担当常任理事が(2) 調査研究、(3) 現職教育、(4) 指導者養成、について別紙資料記載に添って報告しました。
- 続く古屋吉雄 事業担当常任理事から(5) 編集・刊行、につ

いて資料に基づきながら経緯を報告しました。

次に、(7) 保育制度対策の活動強化については、荻野順雄 制度対策担当常任理事が所用で欠席のため古屋常任理事から、今年 1 月 20 日に開催したザ・プリンスパークタワー東京におけるの新年懇親会で、振興の支援を約されたこと、当時の模様を話され、仏教保育振興国会議員懇話会との連携の現状を述べた後、つい先日、平成 24 年の第 46 回衆議院議員選挙で初当選した広島県選出の小林史明議員が仏教保育振興国会議員懇話会に入会し、仏教保育の振興を支援したいとお申し入れがあったことを報告しました。

最後に五島事務局長より、(10) その他必要な事業、並びに◇ 会議、について資料に記載の通り実施したことを報告がありました。

第 2 号議案「平成 26 年度収支決算・監査報告」については、所管する麻布恒子 財務担当常任理事から資料に沿って詳細説明が行われ、それを受けて金子



聡秀監事から「業務監査については法令、定款および規則等に
従い適正に運営されていると認め
ます。会計監査についても、
貸借対照表および正味財産増減
計算書、財産目録および付属明
細書は、法人の財産および損益
の状況を正しく示しているもの
と認めます」と報告がありま
した。

第3号議案「平成27年度事業
計画(案)」については、高山
総務担当常任理事から(1)生命
尊重の保育推進を図る国民運動
の展開、(6)関係団体との連絡
提携、(8)国際交流、社会貢献
の実践、等について別紙資料に
添って上程した。なお、国際交
流、社会貢献については27年度
においても例年通り事業の継続
を図ることを基本とした、と上
程しました。

続いて、高輪研究担当常任理
事が、(2)調査研究、(3)現職教
育、(4)指導者養成、について
は資料に基づいて説明し上程。
保育の質が問われるなかにあっ
て中央講習会等、研修会の内容
等では仏教保育ならではの更なる
充実と受講者の拡充に向けて
いきたいと決意が述べられまし
た。また、6月27日には関西地
区研修会が開催されるので、ぜ
ひご参加願いたいと呼びかけら
れました。

次いで、樋口威道 事業担当

部長から(5)編集・刊行につい
て、機関紙「仏教保育」「月刊
・仏教保育カリキュラム」をはじ
め、「ほとけの子」「こどものく
に」など、各編集委員会でス
タッフ一同企画編集に鋭意取り
組んでいくとの決意を表明しま
した。また、「月刊仏教保育カ
リキュラム」については、購読
部数が減少傾向にある現状だが
講師陣を更に拡大・強化し、毎
月の年齢別の内容や教師の援
助・指導法等の充実に力を入れ
ていきたい。購読園拡大に一層
のご協力をいただきたいと要請
しました。

続いて、(7)保育制度対策の
荻野保育対策担当常任理事が所
用で欠席のため、古屋事業担当
常任理事から、政策的な進展は
これまであまりなかったが、4
月から施行された新制度への対
応等も含め、いろいろご助言等
をいただきながら「仏教保育振
興国會議員懇話会」との連携を
深めていき、スムーズなコミュ
ニケーションを保ちながら、活
動を強めて行きたいと説明し、
上程しました。

最後に、五島事務局長が、(9)
奨励事業、(10)その他必要な事
業並びに、◇会議、については
資料に記載された予定で実施し
たい旨、上程しました。

第4号議案は、財務担当の麻
布常任理事から、基本的には前

年度決算額を勘案しつつ、事業
の速やかな展開に即した予算を
構築したことを述べてから資料
に沿って詳細に説明しました。

第3号議案・第4号議案につい
て議長が賛否を諮ったところ満
場一致で承認・可決されました。

第5号議案である役員改選に
ついては五島事務局長が資料に
添付された平成27～28年度役員
候補者一覧(案)に基づいて説
明し、議長が賛否を諮ったとこ
ろ、満場一致で承認可決されま
した。また、五島事務局長が理
事長等役員組織については社員
総会終了後に開催される、「第
10回理事会」にて決議する旨、
説明しました。

第6号議案「その他」は、五
島事務局長から、総会の後の懇
親会場で恒例の「仏教保育功
賞」を、日仏保・八木季生名誉
会長から授与されることになっ
ていたが体調が優れず参加でき
なくなつたことを報告し、日野
昭文・浦田裕人・安井昭雄の各
先生を紹介すると祝福の拍手が
送られました。最後に壇上の仏
旗に向かって合掌・礼拝をし
て、第4回社員総会は閉会しま
した。

休憩の後、講師の塚寄智志先
生による「寺院を取り巻く環境
変化と検討課題」のテーマで「仏
教保育研修会」が行われました
(要旨は6～7P)。

平成27・28年度
理事・監事一覧

北海道	野村 定弘	まや幼
青森	青山 晃淳	明照保
宮城	鎌田 文恵	おたま幼
福島	吉岡 棟憲	徳光三幼
茨城	古屋 吉雄	共生保
茨城	金田 進徳	取手保
栃木	小林 研介	吞龍幼
群馬	稲村 博道	三宝幼
埼玉	丹羽 義昭	あずま幼
千葉	緑谷 一雄	みどり幼
千葉	高木 正尊	成田保
千葉	田中恵美子	船橋幼
東京	荻野 順雄	花川戸保
東京	高輪 真澄	光輪幼
東京	麻布 恒子	麻布山幼
東京	高山 久照	寿福寺幼
東京	安藤 文隆	金の峯幼
神奈川	杉本 智研	横れけ幼
愛知	神野 哲州	天白保
長野	金子 英滋	パドマ幼
新潟	今湊 良敬	新潟中央幼
福井	福澤 幹也	小鳩幼
滋賀	小川 良紘	るびに保
三重	加藤 一實	長木の浦保
京都	日野 昭文	松尾幼
京都	上原 雅明	小野幼
京都	浦田 裕人	月かげ保
大阪	行友 伸二	淡路幼
兵庫	井藤 圭端	太寺保
広島	西村 英昭	呉あそか幼
香川	三浦 教尚	西光寺保
福岡	中嶋 顕眞	松原保
(監事)	堪山 泰字	本町の園
(監事)	金子 聡秀	永安寺園幼
(監事)	白井健二郎	自許事務所

第10回理事会

社員総会終了後、大本山増上
寺光摂殿の会議室において第10
回理事会が開催されました。

定刻となり、司会の五島事務
局長が定款第38条に定める定足
数を充たしているため理事会が
成立していることを確認し、議
長に緑谷一雄理事を推薦し賛否
を諮ったところ、満場一致で承
認・可決され議事に入りました。
議案は次の通りです。

- (1) 理事長選任について
- (2) 副理事長選任について
- (3) 常任理事選任について

はじめに、緑谷理事より先に
開催された第4回社員総会によ
り平成27年・28年度の役員が選
任された旨報告があり議事に入
りました。

第1号議案については、定款
第12条により理事長の選定が行
われた。事務局より別紙資料
「平成27～28年度役員組織(案)」
が提示され、緑谷一雄理事を理
事長として推薦する案内があり
ました。審議の結果、理事長に
緑谷一雄理事が就任することを
満場一致で承認されました。

次いで、第2号議案について
定款第12条により副理事長の選
定が行われた。別紙資料「平成
27～28年度役員組織(案)」に



より副理事長に高山久照理事、日野昭文理事、神野哲州理事、吉岡棟憲理事を推薦する案内があり、審議の結果満場一致で承認されました。

続いて、第3号議案について定款第12条により常任理事の選定が行われ、別紙資料「平成27(28年度役員組織(案)」により荻野順雄理事、古屋吉雄理事、高輪真澄理事、麻布恒子理事、高木正尊理事を推薦する案内があり、審議の結果、満場一致で承認されました。

この後、高山副理事長から「微力ではございますが、諸先生のご協力をいただきながら責務を

◆ 理事長

緑谷 一雄 みどり幼(千葉)

◆ 副理事長

高山 久照 寿福寺幼(東京)
神野 哲州 天白保(愛知)
日野 昭文 松尾幼(京都)
吉岡 棟憲 舊ルンビニ幼(福島)

◆ 常任理事

荻野 順雄 花川戸保(東京)
古屋 吉雄 共生保(茨城)
高輪 真澄 光輪幼(東京)
麻布 恒子 麻布山幼(東京)
高木 正尊 成田保(千葉)

仏教保育功労賞の安井先生(代理) 杉本育美先生)



仏教保育功労賞の浦田先生



仏教保育功労賞の日野先生

果たしたい」。吉岡副理事長からは「伝統を誇る名誉ある大会を福島で開催できることを誇りに思います。諸先生のご指導いただきながら、スタッフ一同頑張ります」と決意が述べられました。

「懇親会」

増上寺に隣接するザ・プリンスパークタワー東京のスカイバンケットで行われました。その席上で3名の先生に緑谷理事長から「仏教保育功労賞」が贈られました(8P)。その後、安井覚明先生の乾杯の音頭で会は一気に盛り上がり、夜景を楽しみながら懇親を深めました。

乾杯!! を安井覚明先生



平成27・28年度 参務・運営審議委員一覧

◆ 参務

- 岩堀 法道 平泉幼(茨城)
- 小林 龍雄 呑龍幼(栃木)
- 栗原 信明 国谷幼(栃木)
- 高山 照襄 千葉文化幼(千葉)
- 福井 豊信 明福等ルンビニ学園(東京)
- 小林 昭彦 言問幼(東京)
- 小俣 昌道 ぷりすくる西五反田(東京)
- 大島 文夫 舍人幼(東京)
- 関岡 俊二 多摩みゆき幼(東京)
- 安井 覚明 青葉幼(神奈川)
- 長谷川正孝 荻野保(愛知)
- 遠藤 友彦 川中保(愛知)
- 三浦 俊彦 城北幼(愛知)
- 横井 恭一 上京保(京都)
- 神谷 周道 北港学園保(大阪)

● 運営審議委員

- 宮川 恵秀 双葉保(北海道)
- 畑 光寿 小樽高田幼(北海道)
- 近藤千重子 厚別幼(北海道)
- 斎藤 学成 多賀台保(青森)
- 鎌田 俊昭 八幡花園幼(宮城)
- 妹川 真澄 もみじ幼(茨城)
- 橋本 幸雄 栄 幼(茨城)
- 黒田 光泰 ひかり幼(栃木)
- 荒居 養雄 育成館幼(栃木)
- 和田 辨孝 中川幼(群馬)
- 後藤 光純 北川口幼(埼玉)
- 石田 隆博 わせた幼(埼玉)
- 田口 順一 共生幼(埼玉)
- 高山 照駿 千葉文化幼(千葉)

- 清水 博雅 日野わかき幼(東京)
- 友松 浩志 神田寺幼(東京)
- 五島 満 銀の鈴幼(東京)
- 大澤 聖隆 世尊院幼(東京)
- 福井 徹人 ルンビニ保(東京)
- 大島 康裕 舍人幼(東京)
- 戸田 了達 妙福寺保(東京)
- 秋山 秀阿 光徳保(東京)
- 堀江 秀典 西小松川保(東京)
- 加藤 昌康 淡島幼(東京)
- 樋口 威道 今泉保(東京)
- 桑田 則行 最勝寺みのり保(東京)
- 小林 昭寛 言問幼(東京)
- 角田 定弘 ルンビニ幼(神奈川)
- 楠 雅翔 ばらの幼(神奈川)
- 高田 道雄 マナ保(愛知)
- 相羽 孝親 津島幼(愛知)
- 海野 英順 吉田保(長野)
- 海野 知現 出雲崎保(新潟)
- 荒川 慈文 新田塚幼(福井)
- 山本美智子 ふたば保(滋賀)
- 栗真 恵光 高田保(三重)
- 山羽 学天 錦陵幼(京都)
- 橋川 昌治 ときわ幼(京都)
- 戸津川聖信 随林寺保(京都)
- 吉澤 浩則 小松谷保(京都)
- 久松 幸生 西若宮保(大阪)
- 平林 正見 ひかり幼(大阪)
- 山下 正和 粟生幼(大阪)
- 近藤 利弘 禅昌寺幼(兵庫)
- 中川 正興 宝地院保(兵庫)
- 本田 行信 まるに保(島根)
- 平原 弘史 宝徳幼(広島)
- 鎌田 英紀 円座百華保(香川)
- 後根 泰定 藤田保(福岡)
- 笠 信曉 筑紫女学園太学(福岡) 短期大学部附属幼



平成26年度 事業報告

平成26年4月1日
～平成27年3月31日

基本方針の生命尊重の
保育確立と心の教育の推進

1. 生命尊重の保育推進
 2. 活力ある日仏保
 3. 魅力ある日仏保
 4. 国際交流・社会貢献のできる日仏保
- を重点に次の事業を行った。

1. 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展開

- (1) 生命尊重の保育推進のための実践、普及活動(募金運動)
昭和58年より始めた「いかけいのち」の募金運動では、日本赤十字社、ユニセフ等に浄財を贈呈。22年度は宮崎県(口蹄疫)、パキスタン(洪水)、23年度、24年度は東日本大震災の被害、被災に対し義援金を送付。25年度はフィリピン(台風)に救済金を送付した。現在までの寄託総額は約1億円にのぼる。協賛園には感謝状・ポスターを配布。園児にはシール、保護者には「日仏保協会の活動について」を配布。
- (2) 財政確立のための振興活動
1. 支部及び未組織支部で研修会及び組織強化会議を開催。また、その他のブロックもアップローチを図る。
2. 広告・寄付金の増大を図る。
3. 生命尊重の集い等の推進
4月 京都幼支部
「花まつり園児大会」
5月 宮城支部
「第54回こどもはなまつり」

11月 大阪支部「絵画展」
於、イズミティ21
於、海遊館マーケットプレイス

12月 東京支部「釈尊成道を祝う幼児と母のつどい」
於、よみうりホール
神奈川支部「成道会の集い」
於、ホテル横浜カマーテン

12月 京都幼支部「成道会」
於、東本願寺高倉会館
埼玉支部「第30回佛教幼児絵画展」
於、さいたま市文化センター展示室

1月 愛知支部
「第47回仏教保育絵画展」
於、名古屋市民ギャラリー展示室
京都幼支部「涅槃会」
於、永観堂禅林寺

2月 愛知支部「第5回三河地区仏教保育絵画展」
於、豊川市催事場
2月 生命尊重の保育に関する参考資料の編集発行
「改訂わかりやすい仏教保育総論」普及促進

2. 調査・研究

(1) 仏教保育にかかわる調査・研究
1. 大会の報告集である「大会紀要」の作成につき、京都支部との協議を行った。
2. 「支部講習会等特別助成金制度に基づき、各地区での講習会への助言と、各県より要請された講習会等に本部よりの講師の派遣を行った。
3. 本協会編「改訂わかりやすい仏教保育総論(平成16年2月初版・平成22年11月改訂チャイルド本社刊)」は、全国の支部・

養成機関でテキストとして活用されている。
4. 養成機関連絡協議会を2月に開催し、研究協議を行った。

(2) 仏教保育研究所

仏教保育史の資料の蒐集、整理を続行

(3) 仏教教育研究会

仏教保育の理念と実践の研究を行う。仏教保育者・学生等が対象。

3. 現職教育

(1) 第33回全国仏教保育京都大会
平成26年7月26日・27日に京都市・ウエスティン都ホテル京都
京都華頂大学・華頂短期大学を会場に記念式典・記念講演・16の分科会を実施した。参加者約1千名。
機関紙平成26年9月号第605号に掲載

(2) 中央講習会
ア. 第82回夏期仏教保育講習会
7月22日・23日の両日、東京増上寺光猷殿講堂において東京仏教保育協会の運営実施により、全国から約200名の参加を得て開催。講師には建中寺幼稚園園長・村上真瑞先生、絵本作家・藤本ともひろ先生、子ども家庭フォーラム代表・富田富士也先生、臨床心理士・佐伯直子先生、玉川大学准教授・田澤里喜先生、十文字学園女子大学教授・平田智久先生等を迎えて、仏教保育の講義並びに保育に関係する色々な内容の講義と実技を交えての2日間の講習会を終えた。
機関紙平成26年8月号第604号に掲載

(3) 支部講習会・ゼミナール等の開催促進
平成26年度各支部講習会・ゼミナール等の実施状況
3月31日 東京支部
「第49回教諭・保育士研修会」
於、柴又帝釈天附属ルンビニ幼稚園 100名参加
4月19日 長野支部
「総会・記念講演」於、善光寺事務局講堂 100名参加

5月17日 愛知支部
「新任教諭・保育士研修会」
於、東別院 68名参加
5月21日 埼玉支部
「春季研修会」於、埼玉会館
5月22日 香川支部
「仏教保育講座」於、サン・イレブン高松 39名参加
5月24日 長野支部
「新任者研修会」
於、雷鳥保育園 24名参加
5月31日 三重支部
「総会と講演会」
於、高田山本宗務院
6・7・9・10・11月
東京支部「東仏保ゼミナール」
5回開催 於、飯田橋セントラルプラザ 各52名参加
6・11月 東京支部
「東仏保研究ゼミナール(施設見学)」2回開催 ほぜんじ幼稚園/妙福寺保育園 13名/16名参加
6月7日 栃木支部
「新人保育士・教員研修会」
於、宇都宮・恵光幼稚園 54名参加
6月7日 栃木支部
「園長・理事長研修会」於、宇都宮・恵光幼稚園 15名参加
6月14日 長野支部
「講演会」於、善光寺事務局講堂 100名参加

6月14日 京都支部
「第1回職員研修会」
於、大本山東福寺 33名参加
7月1日 兵庫支部
「総会研修会」
於、ラッセホール 34名参加
7月31日 宮城支部
「宮城県仏教保育夏季研修会」
於、聖和学園短期大学 120名参加
8月2日 北海道支部
「第20回仏教保育講座」
於、札幌市東本願寺別院・大谷ホール 83名参加
8月29日 大阪支部
「夏期職員研修会」
於、津村別院 50名参加
9月6日 愛知支部
「2学期を迎えるの保育者研修会」
於、お東幼稚園 47名参加
10月24日 愛知支部
「絵画展事前研修会」
於、建中寺幼稚園
11月8日 京都支部
「第2回職員研修会」
於、月かげ保育園 14名参加
11月8日 長野支部
「新任者研修会」
於、ルンビニ幼稚園 48名参加
11月26・27日 栃木支部
「園長・理事長研修会」
於、あさやホテル 13名参加
12月9日 群馬支部
「公開保育」於、榛名愛育幼稚園 20名参加
12月22・23日 京都幼支部
「泊研修会」於、善通寺 31名参加
1月17日 長野支部
「園内研修のまとめ発表」於、善光寺事務局講堂 100名参加
1月29・30日 宮城支部
「研修会」於、秋保温泉ホテル



- きよ水 20名参加
- 2月21日 香川支部
「冬期仏教保育講座」於、サン・イレブン高松 28名参加
- 3月23日 大阪支部
「年度末職員研修会」於、津村別院 33名参加
- 3月27日 福岡支部
「総会・研修会」於、筑紫女学園中学・高等学校 6名参加
- 4. 指導者養成
 - (1) 平成26年度第1回仏教保育研修会 平成26年5月13日 於、増上寺・光摂殿
講師 光明幼稚園園長・田中雅道先生
 - テーマ「教育の視点から見た新制度の課題」 70名参加
 - 機関紙平成26年6月号第602号に掲載
 - (2) 平成26年度第2回仏教保育研究会 平成27年1月20日 於、増上寺・光摂殿
講師 白百合女子大学非常勤講師 国吉 栄先生
 - テーマ「わが国における近代保育の始まり」 70名参加
 - 機関紙平成27年2月号第610号に掲載
 - (3) 養成機関連絡協議会
平成27年2月23日 於、芝パークホテル
テーマ「保育新制度と仏教保育」参加養成校8校・9名
 - 機関紙平成27年3月号第611号に掲載
- 5. 編集・刊行
 - (1) 機関紙「仏教保育」
月刊 園長・教職員対象
平成26年4月1日発行第600号より平成27年3月1日発行第

- 611号まで、時宜に適した日仏保に関連した事象を取り上げ紙面の充実を図った。
- 編集委員会は月1回。於、日仏保事務所
- (2) 「仏教保育カリキュラム」月刊 教職員対象
企画会議
年1回 於、日仏保事務所
編集会議
月1回 於、日仏保事務所
校正委員会 月1回
於、エフ・コーポレーション
- (3) 「ほとけの子」月刊 保護者対象
仏さまのみ教えを通して、親子共々「心の豊かさ」のある人としての成長を願い編集し、紙面の充実を図る。
- 企画会議
年1回 於、日仏保事務所
編集会議
年5回 於、日仏保事務所
- (4) 仏教保育教材の編集・監修
月刊 「こどものくに」ひまわり版
月刊 年長児対象
編集会議 年3回開催
於、すずき出版
☆「わたしの記録」卒園児に
対して配布
- 2. 「こどものくに」チュウリツ
版 月刊 年中児対象
企画会議 年4回 編集会議
年3回開催 於、すずき出版
- 3. 「こどものくに」たんぼぼ版
月刊 年少児対象
編集会議 年2回開催
於、日仏保事務所
- 4. 出席カード
編集会議 年1回開催
於、フレール館
なつのえほん
編集会議 年1回開催
於、すずき出版

- 6. ともだちいっぱいうれしいな
(すずき出版) 新入園児対象
- 7. その他必要な教材
- (5) 「いかせいのち」
日仏保写真ニュース発行
- (6) 「日仏保ポスター」未発行
- 6. 関係団体との連絡提携
 - (1) 仏教各団体・他宗教団体との連絡
1. 公益財団法人全日本仏教会、公益財団法人国際仏教興隆協会への役員派遣。公益財団法人全日本仏教婦人連盟、公益財団法人仏教伝道協会との連絡提携。
 - 2. 日本宗教保育事業協議会(仏教、神道、キリスト教)の振興
 - (2) 各私立、各宗保育団体との連絡
1. 各私立全国研修会及び会議へ理事長、副理事長、本部の中心メンバーが参加、連絡を図る
 - 2. 各宗保連の研修会、全国講習会にも同様に出席、連絡を図る
 - (3) 地方組織との連携強化及び育成指導
1. 支部講習会等特別助成金交付制度を適用し、以下の支部に配布
①栃木 ②東京 ③兵庫
 - 2. 支部の会議及び事業に本部より訪問し連絡を強化
 - (4) 保育関係企業との連絡
1. 各企業継続事業の推進及び新規事業も模索(すずき出版、宣協社、フレール館、チャイルド本社、ひかりのくに、世界文化社、学研教育みらい、若越エフ・コーポレーション、等)
 - 2. 新年懇親会にて懇談
- 7. 保育制度対策の活動強化
 - (1) 幼保加盟施設の運営・経営の調査
幼保加盟施設の各地区の現状分析
 - (2) 保育制度研究会(全国制度対策委員会)

- (3) 仏教保育振興国会議員懇話会との連絡強化 平成27年1月20日ザ・プリンスパークタワー東京にて新年懇親会開催
機関紙平成27年2月号第610号に掲載
- 8. 国際交流、社会貢献の実践
 - (1) 国際交流等と社会貢献(災害救援を含む)を積極的に推進
インド菩提樹学園の育成協力
 - ア. 菩提樹学園訪問と仏跡参拝団派遣
菩提樹学園運営委員会の開催
平成26年11月6日
於、日仏保事務所
 - 日本寺開山40周年・光明施療院30周年記念法要並びに菩提樹学園訪問
平成26年11月18日〜25日
於、インド・ブダガヤ
 - イ. 運営基金の管理運用
 - ウ. 運営及び育成指導への協力
 - (3) オメツプ(OMEPP)に協力
- 9. 奨励事業
 - (1) 日本仏教保育協会賞
本年度養成機関卒業生 平成26年度32名/30校
 - (2) 仏教保育功労賞
仏教保育実践に功労のあった個人で、適任者がいる年度のみ授与
第20回受賞者2名 第3回社員総会懇親会席上にて表彰
遠藤友彦先生(愛知 川中保育園)
小俣昌道先生(東京 行慶寺ルンビニ幼稚園)
 - (3) 第18回持田賞 ※該当者なし
第13回古屋賞 大震災を乗り越え、仏教保育を推進したとして、宮城支部・福島支部に対し、第33回全国仏教保育京都大会開会式席上にて表彰。

- (5) 第7回仏教保育精励賞
永年にわたり保育現場において仏教保育に功労のあった保育者を全国仏教保育京都大会開会式席上にて表彰。受賞者2名
- 10. その他必要な事業
 - (1) 会員加入促進運動
 - (2) 将来検討委員会の開催(未実施)
 - (3) 奉祝花まつり・暑中見舞い広告・成道会等の協賛広告(協賛広告を例年通り継続)
 - (4) 各種出版物、教材の開発・販売推進(重点教材・出版物「こどものくに」「ほとけの子」)
 - (5) ホームページの充実
 - (6) 社員名簿配布
 - (7) その他
「仏教保育なるほど12か月」「改訂わかりやすい仏教保育総論」「ポップアップ絵本おしゃやさま」「新選ジャーナル絵本全5巻」の普及促進
- ◇ 会議
 - (1) 4月28日 平成25年度業務・経理監査会 於、日仏保事務所
 - (2) 5月13日 第7回理事会・第5回運営審議委員会・第3回社員総会 平成26年度第1回仏教保育研修会 於、増上寺・光摂殿
 - 機関紙平成26年6月号第602号に掲載
 - (3) 1月20日 第8回理事会・第6回運営審議委員会 平成26年度第2回仏教保育研修会 於、増上寺・光摂殿
 - 機関紙平成27年2月号第610号に掲載
 - (4) 常任理事会・事務局会議
年11回開催 於、日仏保事務所
以上



平成27年度 第1回仏教保育研修会

平成27年6月1日 / 大本山増上寺光摂殿

テーマ

「寺院を取り巻く環境変化と検討課題」

地域コミュニティにおける寺院のあり方



【講師】塚崎 智志 先生

(野村證券(株)金融公共公益法人部公共公益法人課課長)

「高いところから失礼します。皆さんは私の肩書きを聞かれて株とか債権などの話をするのではないかと、そう思われた方も大勢いらっしゃるのではないかと。残念ながら、そういう話は一切しません(笑い)。私は野村證券では特殊な部署に所属し、中でも宗教法人に関係する方々に寺院の管理運営などのお手伝いするという特殊な立場にいる者でございます。本日は全国からお集まりとお聞きしましたので、地方における動向・地域のコミュニティなどにも多少触れながら、話を進めてまいりたいと思います。以下、概要を報告します。

実は私、生まれも育ちも福岡です。私の父は福岡のあるお

寺の責任役員をしながら、そこのお寺が運営している保育園の理事も務めていました。そういう環境の中で育ったものですが、僧籍を持つていているわけではありませんが、皆さんに近い立場でお話ができるのではないかと考えています。

皆さんのお寺と、そのお寺が運営する幼稚園・保育園が直面する一番の問題は地域における人口の減少、檀信徒の減少、子どもの減少。それに比例して運営上の困難は大きくなるばかり、というのが現状だと思えます。すべての現況は人口減にあると考えておられると思います。しかし、人口が減ること自体が悪い、100%イコールだとは、私は思っています。それを前提条件としてお聞きいただきたい。

■宗教法人が直面する環境の変化について

●人口動態の変化(人口減少)

- 少子高齢化・人の移動・人口の偏在化・限界集落の増加
- 檀信徒・門徒との関係変化(接点が減少することにより関係が希薄化している)
- 祭祀儀礼のあり方・考え方・接し方の変化(葬儀・法要の減少・規模縮小・直葬)
- 家族形態の変化(核家族から個へ・継承者が存在しなくなっている)
- 地元コミュニティとの関係の変化(閉鎖性・孤立化)
- 法人としての管理・運営(組織として統治・統制できているか、中長期的運営計画は策定されているか)
- 記念行事や大規模修繕・修復など、将来の支出に対する不安(リスクマネジメント)等々。

人口問題一つ見ても、残念ながら人口は減ります。少子高齢化は避けられません。人口の移動も激しくなっています。

1700年から2100年までの日本の人口動態のデータを

見ますと、例えば今から25年後の2040年における福岡県の人口は、およそ半分は減少する予想です。これは福岡県だけに非ず、大半の地域が同じ現象となります。地域によっては消滅する自治体も出てくるのではないかと考えています。

東京都民は1300万人と言われていますが、大都市といえども何年か後には人口減少に入りまします。1700年当時、2700万人だった日本の人口が2000年には1億2700万人になりました。しかも1900年から2000年までの100年間で一気に3倍に増えていきます。戦時中の特殊な要因は別として、ずっと増え続ける中で私たちは生きてきました。皆さんが運営してこられた幼稚園・保育園も人口が増えていく中での成功したモデルなのです。そのビジネスモデルが、今後人口が一気に減少していけば完全に崩壊するのではないかと私は考えます。今の1億2700万人の人口を維持するには出生率2.07から2.08人、つまり一人の女性が生涯に2.3人くらい生んでくれないと期待できません。しかし、それは期待できてもありません。

私は、ある宗派の宗務総長さんと議論を交わしたことがあります。総長曰く、「人口が減るということにいくら抗しても限

界がある。それよりも、お寺として出来ることはなんだろうかと、ということをお考えの方が正解かもしれないね。祭祀・儀礼の在りようをどう変えていけばよいか。つまり、葬儀・法要も簡素・簡略になりつつある。檀信徒との関係をどう繋ぎ、どう深めていくか。そうした事柄を真剣に考える時がきた、そんな内容の議論をしました。

多様化したライフスタイル・生活様式に、どのように合わせていけばよいか。このことはお寺に限りません。幼稚園・保育園のご家族の家族形態にも言えることでしょう。だとすれば、幼稚園・保育園の運営についても見直すことが必要ではないかと、そう思います。

皆さん、そういう意味では、ひよつとしたら凝り固まった先入観を一度取り外してフレッシュな形でもう一度考え直してみませんか。もちろん、変えればよいというものではありません。お寺なのか、神社なのか。それぞれにあるべき教義や理念、思想といった本質は基本になければなりません。幼稚園なのか、保育園なのか。柱としてあるべき建学の精神に裏打ちされたものでなくてはならないのは当然です。

その上で、神社あるいはお寺ならではの情報発信基地として



の役割を担う幼稚園や保育園に人は集まるものです。ここで、ちよつとしたデータをご紹介します。

■宗教意識・行動について

◆あなたが神社やお寺・教会へ行く理由は？

- ① 初詣やお祭りなどの年中行事があるから(66%)
- ② 先祖や親族を弔うため(64・9%)

以下は、

・何となく利益がありそう、何となく建物や仏像などを見るのが好き(15・1%)

・気持ち引き締まる(12・1%)

・信徒だから(8・1%)以下略

◆どんな状況におかれた時に宗教を信じたいと思いますか？

- ① 病気・健康(48・0%)
- ② 死生観・無常観&分からない(13・7%)
- ③ 生きがい(10%)
- ④ 人間関係の悩み(4・6%)

如何ですか？ こうしたデータなども参考にされながら、組織としての統治・運営計画を策定されるのも一つの方法だと思います。そして、中長期的な運営・管理計画を整えていく。いろいろな事項を客観的に把握・分析することで、先行き不透明な2040年〜50年を見通す手がかりが掴めるかと思えます。

供養形態の変化についてはどう

うでしょうか。

1、直葬の増加している背景身寄りのないお年寄りが仕方なく、というケースが多かったが、最近は葬儀・法要そのものを見直す動きが出ている。

- ① 本人からの要望
- ② コスト(葬儀代全額平均231万円/直葬20〜30万円)

【例】直葬プラン12万円、永代供養15万円、パッケージプラン25万円

(注)今まで葬儀・法要の意義を伝えてこなかったツケが回ってきている。根本には、「死」への向き合い方の変化、寺院と檀信徒・門徒との関係変化がある。

2、ネット供養

クリック一つで住職が現れる

…灯明、供花・供物などすべてマウス操作で可能である。画面中央に仏壇あるいは墓標が表示され、読経、供物や花を供えるボタンがある。

3、ネット墓地

◎お墓、納骨堂を持たながら、自宅から参拝できるシステム

◎中央の映像により故人のお墓が現れる。

・BGMと共に心静かにお参りください。

・故人の思い出の写真もご覧いただけます。

・故人へのメッセージ(記録)も出来ます。(以下略)

まあ、こんな具合です。皆さま

んにはお付き合いのある仏具さんとか墓石屋さんがおありだと思いますので、お勧めするのではありませんが、埼玉の神社庁では面白いことやってますね。『デザイン神棚コンテンツ』という行事が毎年行われているのです。注連縄(しめなわ)や社(やしろ)のイメージではなく、最近のマンション・家屋にあつたライフスタイル、つまり生活様式に合わせた神棚のデザインでのコンテンツです。『世の中、どんどん生活スタイルが変わっていくのに、そこだけ変わらないのは不都合である』ということのようです。賛否はともかく、新しい試みであることは事実です。

仏壇も本質を残すためには何が必要かを、少し発想を転換してみるのもいいかも知れません。話が余談に逸れましたが、ネット供養やネット墓地という現実もあることを踏まえて「これからを考える」のも、ヒントに繋がるかもしれません。ともあれ、「お寺はこうあるべき」という既成概念から一度は離れてみることを呈します。不快感を持たれる方もおられるでしょうが、本質は絶対に変わるわけではないのですから。

塚崎先生はここまで話されて、小憩のあと後半に移りました。

◇

後半は「寺院のマーケティング」を中心に話を進められました。簡略にお伝えします。

■宗教法人運営上のベースとなる「人」へのアプローチ戦略について

寺のコンセプトを明確にし、教義・理念・思想・哲学を継承・発信していくことで衆生の幸福に資すること。(対象の選定、檀信徒、門徒、信者の信仰度レベル別に)。

・ホームページの充実。デザイン、内容は極力シンプルに、基本を分かり易い言葉で説明し、写真や動画を多く使用。足を運んでいただくにはどうすればよいか。

・季節感、そこから展開する、リンクページ、携帯サイトへの展開、アプリ。

「関連施設、資産、コンテンツ」等の活かし方。

・他媒体の活用：…プランニングの確立。

・テレビ番組とのコラボ、雑誌特集、書籍の発行。

・体験、講演会

・写経、写仏、講座、催事の見直し、写経会、座禅会、体験修行など。

・頒布品(お守り、お札など)

・女性ターゲットの頒布品の企画、女性向けお守り、絵馬、子どもターゲットの人生儀礼、

行事。

一般向け(季節により、変化する「おみくじ」の色)木霊お守りなど。

・境内地内の対応
僧侶・職員の対応、施設の充実(トイレ、休憩所)頒布品・お土産物売り場、解説できる

・仕組み(特に若い女性は知的欲求心が旺盛)

・活動の柱として
宗教的基盤：…いのり・いやし(定例行事、お葬式、宗教的環境サービス)

・精神的基盤：…あんしん(相談、コミュニケーション、ケアタウン、永代供養)

・経済基盤：…とうめい、しんらい(経理公開、資産公開、護持基金)

・人的基盤：…つながり(スタッフ、ボランティア、人脈)など。

最後に、「皆さんが接しておられるお寺・幼稚園・保育園という施設が、人口減や制度の変容などに左右されず、動ぜず、その本分を進めて行くために何が必要か、を考えるきっかけになれば嬉しく思います。また、こうしてご縁を頂戴しましたので、何かありましたら何なりとお申し付けください。出来る限りのお手伝いをさせていただきます」と、90分余のお話を締め括られました。



「仏教保育功労賞」三先生が受賞

仏教保育実践の功労者を対象とした「仏教保育功労賞」は、今年も懇親会の席上において緑谷理事長より、次の三先生に贈られました。謹んでお祝い申し上げます。

■日野昭文先生（松尾幼稚園副園長／京都）



昭和44年、関西大学経済学部卒業。同年4月、松尾幼稚園に就職。以来、仏教保育者として幼児の指導に尽力。平成19年5月（社）日本仏教保育協会（現公社）副理事長に就任。協会の振興に尽され、昨夏の「全国仏教保育京都大会」では大会実行委員長としてその成果は高く評価されました。また、地元京都の私学振興会理事、私立幼稚園連盟監事、浄土真宗本願寺派保育連盟京都教区理事長としても振興に力を注いでいます。

■浦田裕人先生（月かげ保育園園長／京都）



昭和56年、佛敎大学文学部仏敎学専攻卒業。同年4月、浄土宗宗務庁に奉職。平成元年4月より月かげ保育園に勤務、以来仏教を通して幼児の保育に専心。平成19年5月より（社）日本仏教保育協会（現公社）評議員として仏教保育振興に貢献。昨夏の全国仏教保育京都大会では大会実行副委員長として企画・運営に尽力されました。また、平成23年に京都佛敎保育園協会長の任に就かれ、協会の振興・運営に当たられています。

■安井昭雄先生（光明幼稚園名誉園長／東京都）



芝中学校・高等学校を経て、大正大学大学院に進み仏敎学を学ぶ。卒業後、先代の後継者として光明幼稚園に就職。先代の後を受け園長の就任とともに浄土宗欣浄寺の住職も務め、「ほとけの子」の育成に力を入れる。また、（社）日本仏教保育協会（現公社）においては、仏敎教育研究所所長とし各地の寺社を歴訪され仏敎史を研究し、長年その編纂に力を注いでこられました。その功績は高く評価されています。

事務局日誌

6 / 1	「第4回社員総会」「平成27年度第1回仏教保育研修会」「第10回理事会」（増上寺・光摂殿）
6 / 8	「懇親会」（ザ・プリンスパークタワー東京）
6 / 27	「仏カリ」「仏教保育」編集会議、事務局会議 「関西地区研修会」 （北御堂・本願寺津村別院大ホール）

編集後記

■「カメラ女子」なる言葉ができるほど、大人たちは写真を撮る。保育参観で、行事で、式典で……カメラの中から最高のシーンを覗いている。京都で乗ったタクシートの運転手さんが「浴衣をレンタルして街を歩き、気に入った場所で写真を撮ったら、急いで着替えて返しに行く人が増えとるらしいですわ」とぼやいた。■写真に残せばいいだけなのだろうか。浴衣の肌触りや下駄の音につつまれて、風情を味わう体験は必要なのだろうか。■子どもたちにはそんな体験こそ大事にして欲しい。そういう中から、智慧や感覚や能力などが身に付いていく。身に付いたものは写真のように目には見えないけれど……。体験の夏を楽しもう。
（五島）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

慈心不殺	生命尊重の保育を行なおう
仏道成就	正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進	よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵／諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

8
Aug.

伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ^{ほとけ} の心



増上寺大殿（本堂）



安藤委員長



緑谷理事長



第83回 夏期仏教保育講習会

平成27年7月22日・23日 / 大本山増上寺大殿（本堂）

ほとけさまが見守るなかで、皆が燃えた！

公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は7月22日・23日の両日、東京仏教保育協会（安藤文隆委員長）の実施・ご協力のもと、「第83回夏期仏教保育講習会」を開催しました。今回の会場は、全国の浄土宗の宗務を統べる大本山増上寺の大殿（本堂）です。第83回目という長い歴史の中でも、ご本山の本堂が会場に使われたことはありません。今回が初めてのことで、今夏は相次ぐ台風の影響で豪雨・雷雨が各地を来襲、加えて列島は連日真夏日が続きました。開催当日も東京は35度を上回る酷暑となりましたが、北海道から九州まで150名

開講式

はじめに緑谷理事長の主唱で三帰依文斉唱。次いで物故者への追悼が行われたあと同理事長から、「まだ夏休みにはいつていない園もあると思います。また、この暑さのなか全国からお集まり頂いて嬉しく思います。このお堂の中の感じはどうですか？この本堂では法要は執り行われますが、講習会などに使われることはありません。今回は、増上寺の台下（住職）が当協会の名誉会長というご縁もあって特別に使わせて頂くことができました。知識を吸収し、保育の質を磨くことはもちろん大事ですが、このような環境の中でほとけさまを感じ取りながら研修することができるのは素

晴らしいことだと思えます。園に帰られたら、この雰囲気をご皆さんに伝えて欲しいと思います」と挨拶されました。

続いて、安藤委員長から「こういう場所で講習会ができるのは素晴らしいことです。今回講習会を受ける先生方は、「ついでな」と思ってください。二日間ではあります、この素晴らしい環境の中で大いに栄養を吸収して保育に役立てて頂きたいと思えます」と激励の挨拶をされました。

次いで、加藤昌康先生（浄土宗・淡島幼稚園）からは「心を表した儀式を子どもたちに伝えることも仏教保育の大切なことです。この環境にふれて今後活かして欲しい」と、祝辞が述べられました。

吉水先生→
森田先生↓



「仏教保育の話」

緑谷 一雄先生 (公社・日本仏教保育協会理事長 / みどり幼稚園理事長)



毎朝、決まった時間に私の寺に来「拝む」ことについて、「見る」の謙て手を合わせているお婆さんを見た年中の男の子が「何してるの？」と先生に訊ねたそうです。「拝んでるのよ」と答えたのでしょう。その男の子が「拝むってなあ〜」と質問してきました。私は応えられませんでした。これまでも聞かれたことのない質問でしたが、「よい質問」だと思いい、お昼には皆に話し本で調べました。

ある本の中に「和の心」と締め括られました。

「仏教から生まれた和の文化」

生活の中の 仏教語をめぐって / 千葉公慈先生 (駒沢女子大学人文学部日本文化教授 / 曹洞宗宝林寺住職)



ご本山の本堂でお話しできるのは誠に光栄です。一生に一度の経験となることでしょう。

日本人の生活文化には、さまざまな異国の宗教や思想が取り込まれています。そこに「浄化」は異国のしきたりや文化が何気なく身近な生活の中に多く見られます。

「日本の文化は世界の博物館」

「でんしゃにのって」ももんちゃんとバルボンさんがやってきたとよたかずひこ先生 (絵本作家)



とよた先生は、「まだ字も読めない、本の選択もできない、そんな子どもたちに読み聞かせをしてください保育園・幼稚園の先生方の存在はありがたいですし、とても大切なことだと思っています。」こう述べられたあと、「作家は自分の外側を吸い取っていき」と創作へのアイディアの裏側にあるお話にふられました。

「ごろごろちゃん」は先生

「いのちを大切に保育のために」

猪熊弘子先生 (ジャーナリスト)



猪熊先生は、子どもたちをめぐるとしての眼で数多く取材され、「いのちを守る大切さ」をメディアで報道してこられました。保育園で亡くなった事件の取材をもとに書かれた『死を招いた保育』は、保育文獻賞を受賞されています。

「いのちを大切に保育のために」

名簿の記載事項に変更のある方(園)、お知らせください!

昨年配布しました『公益社団法人 日本仏教保育協会 社員名簿』に記載された園長、理事長のお名前や、認定こども園になられて園名が変更された園がありましたら速やかにご連絡ください。本部事務局にて整理し、郵送

物などに誤りのないようにしたいと思います。何卒ご協力くださいますようお願い致します。

尚、ご連絡方法はFAXまたはメールでお願いします。

FAX 03-3431-1519

メールアドレス buppo@cello.ocn.ne.jp

公益社団法人日本仏教保育協会 本部事務局



「仏教保育のこころ」

金子聡秀先生（公社・日本仏教保育協会監事／永安寺学園幼稚園園長）



私の園で新しい事務職員をひとり採用しました。前職は病院勤めだったのですが、病院で挨拶をしても返礼の無い人がいたそうです。その人曰く、「挨拶の仕方を教えてもらわなかった」。立派な大人に挨拶の仕方まで教えないければならぬものか、と考えさせられました。挨拶は「他人を思いやる気持ちの現れ」だと思います。「私には関係ない」という人は、人になるよう育てて欲しいと願っています。

人もおられるようですが、おそらく人との関わりに関心がないのでしょう。はじめに先生はこう話されて「自分を尊いと思わない人間は、他の人も尊べないのではないか。私はそう考えます」と言い、「我さえ良ければ」のよこしまな心はいつか自身を滅ぼす」という芥川龍之介の短編『蜘蛛の糸』の話にふれていきました。「お互いの違いがわかり、その違いを認め合って一人ひとりが大切な存在だということに自覚する、そんな人になるよう育てて欲しいと願っています」と締め括られました。

「子どもが育ち、育ちあう遊び」 ～素朴で豊かな手遊び・わらべうた・おはなし遊びのいろいろ～

近藤千春先生（日本児童教育専門学校講師／児童文化実践講師）



近藤先生は元幼稚園に勤められた経験を持ち、保育士や幼稚園教諭を目指す専門学校の講師も勤められ、語り・読み聞かせで知られています。「時代がどう変わろうと、人が成長していく道筋は変わりません。赤ちゃんや子どもが成長していくためには、身近な大人からの『笑いかけ』『語りかけ』『うたいかけ』が必要です。壇上上がる早々にこやかな笑顔で楽しそうにこのように語り始めました。保育現場では年齢や成長段階に合わせて工夫することが大切です。先生はこう述べてから伝承遊びを中心に、歌に合わせてのふれあい遊び、「ねことねずみの大レース」というイギリスの昔話など、保育に活かせるたくさん「手遊び」「語り遊び」を指導して下さいました。

「造形活動における"見立て"と"仕立て"の構造」

鮫島良一先生（鶴見大学短期大学部保育科講師／彫刻家／明福寺ルンビニー学園造形講師）



「子どもは大人よりも想像力に富んでいます。身の回りのモノを他の何かに「見立てて」遊びます。更に手を加えて自分がイメージしたものに近づけようとあれこれ工夫しながら形に「仕立てて」いきます。先生は「見立て」と「仕立て」の構造を支援していくのが造形活動を支えることに繋がるのだと説か

れます。これからの美術は一つのことからいろいろ「見立て」ることを支援するのが保育者としての課題になると、その必要性を繰り返します。つまり、「完成」を求めることよりも「何ができるか」を見守り、クレパス・粘土・はさみ・のりなど、年齢に合わせた材料を用意しておくことが必要だと説きます。持参された材料を使って、いろいろな実技を指導して下さいました。

「子どものこころを聴くことについて」

神仁先生（公財・全国青少年教化協議会主幹／認定NPO法人チャイルドライン支援センター代表理事）



「いただきます」「ごちそうさま」す。年間およそ70万コールもの電「ありがとう」、この三つの言葉を話相談があるそうです。日本の子言える幼児の教育は一応できてどもたちは「自己肯定感」が低いと考えています。この言葉はと言われています。その自己肯定「仏教用語」ですが、「すべてのも感を育むためには「子どもの心をの命を頂いて私たちは生かされ聴く」こと。チャイルドラインは、ていることへの感謝として手を合子どもの心を聴く大切なラインだわせてるのです。」先生の講座はそうです。子どもたちが悩むいるこんなお話しから始まりました。んなケースをお話しして下さいまし

神先生が代表理事を務めるチャイルドラインには、子どもたち「皆さんも聴き上手」になってください」でしから多くの相談が寄せられています。

閉講式



「二日間、ご苦労様でした。本堂での講習はどうでしたか？ 仏さまを感じながら厳かな気持ちで受講されたと思います。ここを会場にするの最初は、山本先生は「ここは最初にして最後でしょう。帰られたら感じたことを伝えて下さい。忘れられないと思いを伝えて下さい。ほとけの子を育てて下さる保育に力いっばい取ります。ありがとうございます。」と感謝を述べました。そのあと「仏教保育の歌」を斉唱して講習会に二日の幕を閉じました。

間の記憶が沁みこまれると思います。お疲れさまでした」と、緑谷理事長からねぎらいの言葉のあと、受講者を代表して山本祐子先生（旭ヶ丘保育園・青森県）が、「修了証が授与されました。山本先生は「ここは最初にして最後でしょう。帰られたら感じたことを伝えて下さい。忘れられないと思いを伝えて下さい。ほとけの子を育てて下さる保育に力いっばい取ります。ありがとうございます。」と感謝を述べました。そのあと「仏教保育の歌」を斉唱して講習会に二日の幕を閉じました。



平成26年度 収支計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

I、収入の部

単位:円

大科目	中科目	小科目	補正予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
基本財産運用益	基本財産利息収入		0	0	0	
特定資産運用益	特定資産利息収入(公1)		385,000	83,194	-301,806	
		社団基金利息収入	200,000	68,323	-131,677	元金45,355,000円
		菩提樹学園利息収入	180,000	8,991	-171,009	元金32,100,000円
		持田基金利息収入	1,000	640	-360	元金800,000円
		古屋基金利息収入	4,000	5,240	1,240	元金5,400,000円
受取入会金	入会金収入(公1)	入会金収入	10,000	5,000	-5,000	1園
受取会費	会費収入	会費収入	25,300,000	25,622,000	322,000	23,000×1,100施設 複数年分の振込あり
事業収益			23,316,450	19,719,122	-3,597,328	
	出版収入(公1)		14,010,000	11,929,370	-2,080,630	
		こどものくに収入	1,530,000	780,226	-749,774	51,000×2.50×12
		ほとけの子収入	5,280,000	4,789,744	-490,256	40,000×11×12
		仏教保育カリキュラム	7,200,000	6,359,400	-840,600	購読料 1200部
	刊行物監修収入(公1)		2,229,650	2,054,650	-175,000	
		こどものくに編集	280,000	280,000	0	
		出席カード印税	349,650	349,650	0	フルベール仏保版出席カード
		保育教材のやり取り	1,600,000	1,425,000	-175,000	夏の絵本、合掌人形、上製本等
		その他編監修料	0	0	0	
	受講料収入(公1)	中央講習会受講料	1,576,800	1,931,672	354,872	146名×10,800円、 寄付・お弁当を含む
	生命尊重募金収入(公1)	生命尊重募金	4,500,000	3,803,430	-696,570	
	義援金収入(公1)	義援金	1,000,000	0	-1,000,000	
受取補助金等	助成金収入(公1)	年度・制度対策助成金	4,000,000	3,420,000	-580,000	宗派・本山よりの助成金
受取寄付金	寄付金収入(公1)	寄付金収入	550,000	550,000	0	鈴木出版25 保育教材6社30
雑収入			7,605,000	7,030,999	-574,001	
	運用利息収入(公1)		5,000	5,478	478	
	協賛金収入(公1)		1,000,000	1,000,000	0	協賛金
	広告収入(公1)		5,000,000	3,505,380	-1,494,620	仏カリ他広告収入
	その他雑収入(法)		1,600,000	2,520,141	920,141	5月・1月懇親会費 関西地区連絡協議会懇親会費 養成機関連絡協議会懇親会費
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	0	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	119,419,277	119,419,277	0	
		合計	180,585,727	175,849,592	-4,736,135	

II、支出の部

大科目	中科目	小科目	補正予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇
	調査研究費	研究運営費	200,000	0	-200,000	
	教育研究奨励費		690,000	650,892	-39,108	
		教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助
		古屋・持田賞	200,000	200,000	0	全国大会開催年
		仏教保育功労賞	50,000	38,066	-11,934	賞状、記念品
		研究発表指定園	240,000	240,000	0	全国大会開催年
		仏教保育精励賞	50,000	22,826	-27,174	全国大会開催年
	菩提樹学園充実		500,000	491,763	-8,237	
		学園視察派遣旅費	300,000	300,000	0	旅費補助
		同上資料代	200,000	191,763	-8,237	学園おみやげ(お菓子など)、スツール、千葉義坦先生寄付を含む
	大会講習会開催費		7,300,000	6,598,340	-701,660	
		全国大会開催費	3,800,000	3,871,627	71,627	本部30万、支部へ350万
		講習会開催費	2,050,000	1,791,378	-258,622	関西地区研修会・夏期講習会 夏期講習会案内印刷
		仏教保育研修会費	450,000	375,335	-74,665	
		支部講習会補助	1,000,000	560,000	-440,000	支部、ブロックで行う講習会補助



大科目	中科目	小科目	補正予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考	
事業費	刊行・出版費		27,500,000	26,150,498	-1,349,502		
		仏教保育出版費	9,000,000	8,992,500	-7,500	約75万×12	
		ほとけの子出版費	1,500,000	1,601,617	101,617	原稿、制作費	
		紀要出版補助費	0	500,000	500,000	全国大会開催年	
		月刊仏カリ費	17,000,000	15,056,381	-1,943,619	製作、発送費	
	各種委員会委託		1,180,000	1,013,411	-166,589		
		仏カリ編集委員会	200,000	33,411	-166,589		
		こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ	
		ほとけの子編集委員会	400,000	400,000	0	委員会へ	
		教材開発委員会	300,000	300,000	0	委員会へ 27.4.9支払い	
	助成金支出		4,300,000	4,517,936	217,936		
		支部助成金	2,500,000	2,561,050	61,050	支部へ会費10%還元(期日まで納入の場合は+5%還元)	
		菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	
		各種団体提携費	800,000	956,886	156,886	宗派保連、保育団体・ 関西地区連絡協議会	
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		4,300,000	1,834,844	-2,465,156		
		菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	
		義援金	1,000,000	0	-1,000,000		
		印刷作成費	1,500,000	455,864	-1,044,136	ポスター、イノチシール、 チラシ 写真ニュース含む	
		募経費	800,000	378,980	-421,020	郵便振替の手数料	
	各種対策費		2,300,000	1,362,158	-937,842		
		組織強化費	1,000,000	560,000	-440,000	支部強化経費、支部事業助成、 福島支部設立助成金	
		制度対策費	1,000,000	529,600	-470,400	懇話会、顧問弁護士	
		養成機関連絡費	300,000	272,558	-27,442	養成機関連絡協議会	
	事業雑費		5,200,000	5,169,468	-30,532		
		ホームページ運営費	700,000	670,888	-29,112		
		事業雑費	500,000	498,580	-1,420		
		名簿作成費	4,000,000	4,000,000	0		
管理費	会議運営費		5,050,000	4,457,790	-592,210		
		理事運営審議委員会開催費	2,800,000	2,847,464	47,464	2回開催交通費 1月新年懇親会	
		総会運営費	1,500,000	1,414,809	-85,191	総会及び5月懇親会 総会案内印刷	
		支部長会・参事会開催費	500,000	0	-500,000	将来検討委員会	
		事務局運営費	250,000	195,517	-54,483		
	給料手当		4,940,000	4,514,330	-425,670		
		給料・諸手当	3,700,000	3,401,980	-298,020	給与+通勤交通費 非常勤分を省く	
		賞与	940,000	916,000	-24,000	4ヶ月	
		法定福利費	300,000	196,350	-103,650	健保、年金掛金補助、 労働保険	
	役務費		3,620,000	2,222,282	-1,397,718		
		旅費交通費	420,000	218,810	-201,190	交通費	
		通信運搬費	1,500,000	1,128,483	-371,517	郵券、電話等通信費	
		印刷製本費	300,000	0	-300,000	封筒等印刷全般	
		什器備品費	100,000	4,712	-95,288	事務所備品	
		消耗品費	200,000	107,999	-92,001	文具等	
		借料損料	600,000	475,778	-124,222	事務機器リース、ポラリングコスト	
		租税公課	500,000	286,500	-213,500	消費税等	
	事務所費		2,810,000	2,799,818	-10,182		
		貸借料	2,160,000	2,160,000	0	事務所賃借料18万/月	
		光熱水費	650,000	639,818	-10,182	光熱水費負担金	
	諸謝金	慶弔費	400,000	91,950	-308,050		
	事務雑費	管理雑費	500,000	262,800	-237,200		
	特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金繰入	600,000	601,116	1,116	
	予備費	予備費	予備費	5,000,000	0	-5,000,000	
	当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	104,195,727	113,110,196	8,914,469	
			合計	180,585,727	175,849,592	-4,736,135	

平成26年度 収支計算書 組替表

I、収入の部

大科目	中科目	小科目	決算額	組替後対応科目(会計部門)
基本財産運用益	基本財産利息収入		0	
特定資産運用益	特定資産利息収入(公1)		83,194	
		社団基金利息収入	68,323	特定資産利息収入(公1)
		菩提樹学園利息収入	8,991	同上
		持田基金利息収入	640	同上
		古屋基金利息収入	5,240	同上
受取入会金	入会金収入(公1)	入会金収入	5,000	入会金収入(公1)
受取会費	会費収入	会費収入	25,622,000	会費収入(50%を公1、50%を法)
事業収益			19,719,122	
	出版収入(公1)		11,929,370	
		こどものくに収入	780,226	出版収入(公1)
		ほとけの子収入	4,789,744	同上
		仏教保育カリキュラム	6,359,400	同上
	刊行物監修収入(公1)		2,054,650	
		こどものくに編集	280,000	刊行物監修収入(公1)
		出席カード印税	349,650	同上
		保育教材ロイヤリティ	1,425,000	同上
		その他編監修料	0	
	受講料収入(公1)	中央講習会受講料	1,931,672	受講料収入(公1)
	生命尊重募金収入(公1)	生命尊重募金	3,803,430	生命尊重募金収入(公1)
	義援金収入(公1)	義援金	0	義援金収入(公1)
受取補助金等	助成金収入(公1)	年度・制度対策助成金	3,420,000	助成金収入(公1)
受取寄付金	寄付金収入(公1)	寄付金収入	550,000	寄付金収入(公1)
雑収入	雑収入		7,030,999	
		運用利息収入(公1)	5,478	運用利息収入(公1)
		協賛金収入(公1)	1,000,000	協賛金収入(公1)
		広告収入(公1)	3,505,380	広告収入(公1)
		その他の雑収入(法)	2,520,141	その他の雑収入(法)
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	119,419,277	
		合計	175,849,592	

II、支出の部

大科目	中科目	小科目	決算額	組替後対応科目
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	
	調査研究費	研究運営費	0	印刷製本費
	教育研究奨励費		650,892	
		教育研究会補助	150,000	支払助成金
		古屋・持田賞	200,000	支払助成金
		仏教保育功労賞	38,066	消耗品費
		研究発表指定園	240,000	支払助成金
		仏教保育精励賞	22,826	消耗品費
	菩提樹学園充実		491,763	
		学園視察派遣旅費	300,000	旅費交通費
		同上資料代	191,763	助成金10消耗品費9
	大会講習会開催費		6,598,340	
		全国大会開催費	3,871,627	支払助成金
		講習会開催費	1,791,378	支払助成金88諸謝金64印刷製本費26
		仏教保育研修会費	375,335	諸謝金16印刷製本費20
		支部講習会補助	560,000	支払助成金



大科目	中科目	小科目	決算額	組替後対応科目	
事業費	刊行・出版費		26,150,498		
		仏教保育出版費	8,992,500	印刷製本費	
		ほとけの子出版費	1,601,617	印刷製本費	
		紀要出版補助費	500,000	支払助成金	
		月刊仏カリ費	15,056,381	印刷製本費	
	各種委員会委託		1,013,411		
		仏カリ編集委員会	33,411	委託費	
		こどものくに編集委員会	280,000	委託費	
		ほとけの子編集委員会	400,000	委託費	
		教材開発委員会	300,000	委託費	
	助成金支出		4,517,936		
		支部助成金	2,561,050	支払助成金	
		菩提樹学園助成	1,000,000	支払助成金100	
		各種団体提携費	956,886	会議費10旅費交通費27支払助成金41諸謝費16	
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		1,834,844		
		菩提樹学園助成	1,000,000	支払助成金100	
		義援金	0	支払寄附金	
		印刷作成費	455,864	印刷製本費	
		募金経費	378,980	消耗品費	
	各種対策費		1,362,158		
		組織強化費	560,000	諸謝費6助成金50	
		制度対策費	529,600	諸謝金	
		養成機関連絡費	272,558	支払助成金19諸謝金5会議費2	
事業雑費		5,169,468			
	ホームページ運営費	670,888	委託費60通信費7		
	事業雑費	498,580	委託費22消耗品費22事業雑費5		
	名簿作成費	4,000,000	印刷製本費400		
管理費	会議運営費		4,457,790		
		理事運営審議委員会開催費	2,847,464	旅費交通費142会議費148	
		総会運営費	1,414,809	会議費	
		支部長会・参務会開催費	0	会議費	
		事務局運営費	195,517	会議費	
	給料手当		4,514,330		
		給料・諸手当	3,401,980	給料手当(公1:法=8:2で按分)	
		賞与	916,000	給料手当(公1:法=8:2で按分)	
		法定福利費	196,350	給料手当(公1:法=8:2で按分)	
	役務費		2,222,282		
		旅費交通費	218,810	旅費交通費	
		通信運搬費	1,128,483	通信運搬費	
		印刷製本費	0	印刷製本費	
		什器備品費	4,712	消耗什器備品費	
		消耗品費	107,999	消耗品費	
		借料損料	475,778	賃借料(公1:法=8:2で按分)	
		租税公課	286,500	租税公課	
	事務所費		2,799,818		
		賃借料	2,160,000	賃借料(公1:法=8:2で按分)	
		光熱水費	639,818	光熱水料費(公1:法=8:2で按分)	
	諸謝金	慶弔費	91,950	諸謝金	
	事務雑費	管理雑費	262,800	委託費26	
	社団基金積増	社団基金積増	社団基金積増	0	
特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金繰入	601,116	退職給付費用(公1:法=8:2で按分)	
予備費	予備費	予備費	0		
当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	113,110,196		
		合計	175,849,592		



「第34回全国仏教保育福島大会」打合せ会

平成 27 年 7 月 22 日 / 増上寺大殿会議室

平成 28 年 7 月 30 日 (土) ~ 31 日 (日) 開催予定の「第 34 回全国仏教保育福島大会」の打ち合せ会が 7 月 22 日、増上寺大殿 (本堂) 1 階の会議室で行われました。

吉岡棟憲大会実行委員長 (福島県仏教保育協会会長) から、準備状況の報告並びに協力要請事項などを記した書類を日仏保・緑谷一雄理事長、高山久照副理事長はじめ、同席の常任理事らに配布・説明のあと意見交換が行われました。その概要は以下の通りです。

●第34回全国仏教保育福島大会実施を受け入れるについて

組織力は脆弱 (14 園の加盟) であり、支部結成 2 年と日も浅いだけに一抹の不安はあるが、加盟園は大会開催への意欲に満ちている。しかし、自力での運営は無理であることも自覚しており、日仏保本部からの全面的な指導、並びに近県 (宮城・栃木・茨城) からの格別な支援・協力をお願いすることを前提に準備を進めることで一致したこと。

●打ち合せのポイント

- 大会開催場所は、県随一の規模を誇る『ホテルハマツ』(郡山市) で進めている。
- 移動等の時間などを考慮し、全体会・分科会ともに同ホテルを使用したい。
- 分科会は 12 講座とし、本部 3 分科会、近県 3 分科会を受け持つて頂きたい。
- 記念講演の人選、予算に関する事、講師の選任、発表園の決定と依頼、参加人数の検討と申し込み締め切り等々。
- 2 時間余の意見交換が行われ、福島大会への出来得る限りの支援・協力を約すと共に、分科会やホテル側との更なる折衝について綿密な打ち合わせを交わしました。



事務局日誌

- 7 / 1 「仏カリ」「仏教保育」編集会議
 - 事務局会議
 - 7 / 13 「ほとけの子」企画会議
 - 7 / 16 こどものくに「チューリップ版」編集会議
 - 7 / 22 ~ 23 「第 83 回夏期仏教保育講習会」
- (大本山増上寺大殿・本堂)

編集後記

■夏休みに入ると全国で研修会や講習会が開かれますが、先生たちにとっては多忙な夏となります。7 月 22・23 日、当協会も増上寺において「夏期仏教保育講習会」を開催。この講習会は年に一度の行事で、今回 83 回目の歴史を刻みました。会場は開催史上初めての増上寺本殿 (本堂) で行われ、御仏の座す本堂での講習は、講師も受講者も忘れられない思い出になったことでしょう。■下の子を出産して育児休業をとった場合、保育園に通っていた上の子は退園させるということを決めた自治体を、この決定は違法だとして保護者が退園差し止めを求める訴訟を起こしました。自治体では育児後は希望する園に入れるよう「保証する」としていますが、賛否の声が飛び交っています。難しい問題ですよねえ。。。 (O・I)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園 4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月 1 回 1 日発行 (1 部 315 円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全 4 巻

○おたんじょう (12 場面) ○四つの門 (13 場面) ○おさとり (16 場面) ○ねはん (12 場面)

セット定価 本体 ¥20,000 (8% 税込 ¥21,600) ※分売不可

脚本・絵 / 諸橋精光 画面 38.2 x 26.5 cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を 4 巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版



保 育 教 育

9
Sep.

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけの心

子ども・子育て支援新制度に求められる

「保育の質」の高さとは？

子ども・子育て支援新制度がスタートして5カ月が過ぎた。認定への移行については返上の動きも取り沙汰されていただけに、移行園数が予想を超えたことに半ば驚きの感を抱いたものである。

新制度では消費税財源を充てる対象として研修の充実、職員配置規準の見直しなど、「質の向上」が挙げられた。しかも、地域型保育事業が新たに公的資金の対象となったこともあって、「安心できる保育」の輪もひろがりつつある。他方、就学前における質の高い教育には世界が関心を持っている。こうした時流や機運もあって、幼稚園教育要領の改訂作業が進んでいることもご存知の通りである。

本稿では過日、全国認定こども園連絡協議会（木村義恭会長）が関東大学で開催した「認定こども園に関するあり方などの研修（講演行政説明）」から、保育の質の向上に関わる要旨をご参考までにご紹介したい。

無藤隆先生（白梅学園大学教授）の基調講演より（抜粋）

- 新制度に対して、1歳児、4・5歳児に対する保育者一人当たりの子どもの数を減らすなど、保育の質向上のためには消費税増税分財源以外も含めた1兆円を超える必要がある。
- 認定こども園の動向については、私立幼稚園の動きが鍵となる。少子化が進む地方では認定

- こども園化の方向にあるが、私学助成の手厚い東京都などでは、メリットの見定めが難しい状況にある。
- 認定こども園の意義については、待機児童の解消、過疎地における子どもの集団確保、地域子育ての充実を望みたい。特に、子育て支援については、地域の

すべての子どものために、乳幼児と保護者のニーズを満たすことが大切。更に待機児童への対応が進めば質の高い保育をいかにして提供するかが喫緊の課題となるだろう。

● 最低賃金の引き上げに並行して、保育者個々の質を上げる必要がある。その際のポイントとしては「教育と保育一体的な提供」と言えよう。つまり、「幼保連携型認定こども園教育・保育」と認定されたことでこれまでの幼保連携型とも異なるという点を認識する必要がある。

● 児童福祉法では保育所の教育は学校教育を含まないと注記されており、保育所は学校教育に位置付けられないため、実態に合わせるためにも「児童福祉法」そのものの改正が必要と考える。保育所に近い認定こども園は学校教育と位置付けられていないだけに、設置主体に対する研修義務が課せられ、教育費という考え方が出てくる。保育についても、広義の「保育」（児童福祉法）と「保育を必要とする子どもへの保育」（子ども・子育て支援法）の2種類があるのであるから。広義の保育は家庭での子育ても含み（乳幼児の世話、愛し守る愛護、心身の育成）が要点である。保育所も学校教育を担ってはいるが学校教育ではないだけに、保育士には専門職としての位置づけの差がある。認定こども園はその差を克服する場として欲しい。

三谷卓也参事官（認定こども園担当）の行政説明より（抜粋）

- 子ども・子育て支援制度の施行状況については、新制度では、これまでの制度を給付で一つにまとめられているが、私立幼稚園が
- 一部私学助成に残れるなど、事業者が選択できるように考慮したことは特徴の一つである。
- それに加えて、地域子ども



第16回 「全国真宗保育研修大会」 報告

五島 満 (銀の鈴幼稚園)

平成27年7月18日(土)～19日(日)於、ホテルオークラ福岡

2015年、7月18日(土)から19日(日)、福岡県、ホテルオークラ福岡において、(公社)大谷保育協会主催による第16回全国真宗保育研修大会が「誕生—生きるってすばらしい」のテーマのもと、約400名の参加者を得て開催された。基調講義は九州大谷短期大学学部准教授の吉元信暁氏による「誕生の意味」と題して講義が行われ、その後、講師と3名のパネラーによるパネルディスカッションとグループ討議が行

われた。夕方のレセプションでは多くの吹奏楽コンクールで金賞を受賞している精華女子高校吹奏楽部による見事な演奏が花を添えた。翌日は協会が作成したオリジナル「こどものうた」のCDで歌を担当した歌手の陽香氏を迎えコンサートが行われ、温かく透明感のある歌声に触れて、参加者は笑顔で「こどものうた」3曲を味わっていた。最後の基調講演には評論家の芹沢俊介氏を迎え、保育者が子どもに向かい合うときに「あること(being)はやること(doin)に先行する」というD. ウィニコットの言葉を手がかりに、子どもの根本的安心と安定の意味について話された。

子育て支援事業で地域の様々な課題にきめ細かい仕組みとした。消費税という安定的で社会全体を支える財源を使い、地域の子育てを支援する仕組みになっている。

●最近の動向に関しては、骨太方針でも幼児教育に言及しており、子ども子育て分野に優先的に財源配分する旨が盛り込まれている。教育再生実行会議にも「幼児教育は人格形成の基礎を

培う」とその重要性を記載している。●公定価格については一人当たりの単価として認定された個人給付で、同じ認定区分の子どもの扱いは同等であり、認定こども園の1号給付は幼稚園より低く見えるが実質的には同じである。●教育・保育要領に関連して、幼稚園教育要領の見直しの検討が本格的に始まる。それを踏まえて小学校との接続を見直す方

向である。◆「保育の質を考える」をテーマに質向上に向けた様々な取り組みが各地域で行われていきます。東京・墨田区では「子ども主体の協同的な学びプロジェクト」があります。同プロジェクトをコーディネートされているのは大豆田啓友先生(玉川大学教授/墨田区子ども・子育て会議会長)です。先生の狙いなど

紹介しましょう。●子ども・子育て支援新制度の理念を後ろ盾に、自治体が実施主体として地方版子ども・子育て会議では当事者参画の重要性が謳われている。そこで区民が作る事業計画「墨田区が目指す子育て環境の在り方について話し合う。もとより、事業計画策定に必要な地域割り・ニーズ量に関する話し合いもしたが、その根底を支えたのは全員が合意した理念である。「保育の質の向上」「地域ネットワークの構築」「困っている親子への支援」「ワークライフ・バランス」の4つが挙げられた。新制度の特徴は、質の高い幼児教育・保育の提供であるため、四つの課題から先ず「保育の質の向上」を取り上げた。接続期ということで5歳児をテーマに「協同的な学び」として取り組んでいくことにした。

「第62回保育研修大会」報告

平成27年8月5日(水)
7日(金)
於、大本山總持寺

曹洞宗保育連合会



平成27年8月5日(水)より7日(金)までの二泊三日の日程にて、大本山總持寺を会場に、全国各地より48施設、総員90名参集のもと、曹洞宗保育連合会主催「第62回保育研修大会」が開催された。

初日は、午後受付後、大祖堂において、大本山總持寺前川陸生老師の導師により、「献香・献華」と仏教聖歌を交えた開会式が挙行され、式後、ご本山を代表し導師を務められた前川陸生老師、当連合会副会長・中村見自教化部長よりそれぞれご挨拶をいただいた。

会場を三松閣四階大講堂に移しての第1講は、育英短期大学



教授であります佐藤達全先生により「保育の原点としての仏教保育について―保育に生かしたいお釈迦さまと道元さまの心―」と題し、仏教保育について、豊富な資料を基に講義が行われた。先生は、『曹洞宗保育ハンドブック』の改訂にご協力いただいております、参加者にとっても実りある講義であった。

その後、施設代表者参加の総会が開催され、平成26年度年間事業報告、及び決算、平成27年度事業計画及び予算等について、理事より報告がなされた。

その後、薬石(夕飯)となりましたが、参加者は、曹洞宗の作法に従い、私たちの生命を支えている食材、更には目の前にある食事に関わった多くの人達に感謝の気持ちを含めて、五観の偈をお唱えし、食事をいただいた。薬石後は、ご本山より坐禅指導の後、坐禅を一炷し、心

静かな時を過ごした。その後ご本山紹介映画を視聴し、初日は終了した。

翌二日目は早晨4時30分起床。朝課、諸堂拝観、坐禅の後小食。小食後、大本山總持寺副監院・山口正章

老師より法話をいただいた。二日目の第1講は、浄土宗西光寺住職であり、パネルシアターの創案者であります古宇田亮順先生を講師に迎え「幼児教育にいかすパネルシアター」と題し、実際にパネルシアターを演演しながら講演をされ、参加者も興味津津の様子で聴講していた。

夕刻の第3講は、当会理事であり、まこと幼稚園園長でもあります佐々昌樹先生より「曹洞宗保育の心」と題して、巧みな話術により和やかな雰囲気の中、講演をいただいた。参加者にとっては、今後に生かす貴重な講義であった。

薬石後は、実行委員主導にて、恒例のゲーム等を交えた懇親会が行われた。大講堂内には参加者の歓声が響き渡り、和気合々の内に終了となった。

最終日、早朝よりのご本山行事に参加。小食後、閉会式に於いては堪山理事長より修了証が授与され、今年度の保育研修大会日程は盛会裏に終了した。

参加者にとっては、保育園、幼稚園及びごとも園と多様な施設が一堂に会し、それぞれの参加者たちが、交流し、意見交換がなされた有意義な研修会となった。

「第64回天台保育全国大会 比叡山延暦寺大会」報告

小林 昭寛 (言問幼稚園)

平成 27 年 8 月 29 日・30 日
於、総本山比叡山延暦寺



今年の天台保育全国大会は、8月29日(日)〜30日(月)天台総本山比叡山延暦寺を会場として開催されました。

総本堂の根本中堂が今年より10年間にわたり大改修されるにあたり、天台保育連盟設立65周年の記念大会を1年前倒しして実施されました。

開会式と併せて厳修された天台宗祖師先徳鑽仰大法会慶讃天台保育連盟法要は、半田孝淳天台御座主猊下ご臨席のもと、比叡山幼稚園の代表園児による献香・献灯・献華や、保護者のコーラス部による「あすという日」が献歌など、保育連盟らしい特色があり、聖なる場所の荘厳な雰囲気に参加者一同、改めて身の引き締まる思いがしました。

続いて、天台宗における最難行と言われる12年籠山を遂業された、延暦寺一山円龍院住職・居士林院長の宮本祖豊先生による「覚悟の力」という講演を拝聴しました。先生はご自身の行で体験したことを踏まえ、丁寧な言葉を選びながら、一つの事を持続する力の大切さをお話して下さいました。

夕食懇親会では、清興として滋賀県内の音楽家グループ「湖笛の会」による演奏を聴きながら、和やかな雰囲気の中に各地域の先生方との懇親を深めることができました。

続いて、敬愛幼稚園の永宗智子園長先生をコーディネーターに「園内研修のあり方について」と題した研修が行われ、ラウンドムに分けられたグループごとに、付箋を利用して普段の保育の中で思うことや悩みを話し合いました。「田の字法」という手法を用いて、日常の保育の中で起こったエピソードなど具体的な事例で話し合うことなどから、私たちが同僚と学びあい、専門家として育ちあうために今後できることを学ぶことができ、更なる保育の質の向上に繋がるヒントを各自が得ることができたと思います。

翌日は根本中堂のお朝事随喜をし、幽玄な朝霧に包まれたお山の空気を胸いっぱい吸って眼気も瞬時に吹き飛びました。そして盛りだくさんの研修で一泊二日の時間はあっという間に過ぎ、宗祖伝教大師最澄さまの御誕生の地である坂本・生源寺に下って閉講式を迎えました。

そこで、普段礼拝している伝教大師幼形像の大本のお姿を拝観することができ、保育の中で行われていることの根本に触れることができたこと感激も一入となりました。研修期間中、比叡山延暦寺の皆さま、比叡山幼稚園の皆さまには大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

第60回「仏教保育関西地区研修会」報告

平成27年6月27日(土) / 北御堂

大阪支部長 行友 伸二 (淡路幼稚園・淡路保育園)

大阪支部が主催させていただいた標記研修会は、御堂筋線本町駅に直結する北御堂(浄土真宗本願寺派津村別院)において開催され、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山の各府県から76名の先生方のご参加を得て爽やかな研修会となった。

大阪支部が主催させていただいた標記研修会は、御堂筋線本町駅に直結する北御堂(浄土真宗本願寺派津村別院)において開催され、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山の各府県から76名の先生方のご参加を得て爽やかな研修会となった。



日本では最初にできた現代影絵の専門劇団としての劇団かかし座は、「たくさんの人々の心に夢を育てたい」という思いで、人々の心を無限の想像へ

日本では最初にできた現代影絵の専門劇団としての劇団かかし座は、「たくさんの人々の心に夢を育てたい」という思いで、人々の心を無限の想像へ

は影絵劇の鑑賞のほか、バックヤードツアーとして舞台の裏側を見せていただいた。また、道具を使わずに手指や腕だけで表現する手影絵では、鳥・カニ・キツネ・ふくろう・かたつむり・恐竜・うさぎ・リス・白鳥などの演じ方、それらを各自が実際に舞台スクリーンで演じるグループごとの発表投影など、参加者が楽しみながらできる実技も盛り込まれたものであった。

各園で子どもたちと一緒にできる影絵あそびとして、OHPやプロジェクターを使用するものや、白いシートにLEDやはだか電球、季節によっては太陽の光でも簡単に光と影の手遊

ご存知ですか？ 嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく、ウイルス・細菌を含む場合があります…

迅速かつ安全に行う必要があります。

感染症予防対策では、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか？ 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全・清潔に 嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤

簡単・快適に **オブツポイポイ** **解決!**

汚れた → 使う → 固める

高品質二酸化塩素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!

0.1g 1.050円
10g 10.500円
100g 105.000円

株式会社 興生

〒595-8414 大阪府東淀川区東中島5-12-18 Tel: 03-5855-8781
E-mail: asagiri@kosei.co.jp



暑中見舞

(敬称略)

<p>園 日保副理事長 長 吉岡 棟憲 〒960・1101 福島市大森字南中道47・1 電話 024・545・0814</p> <p>園 日保理事 長 金子 英滋 〒380・0847 長野市若松町1028 電話 026・234・5858</p> <p>園 長 矢花 真隆 〒188・0083 東京都世田谷区奥沢1・18・9 電話 03・3720・1273</p> <p>園 理事 園長 家田 光信 〒617・0814 京都府長岡京市今里5・12・9 電話 075・953・0505</p> <p>園 長 増澤 秀丸 園 長 増澤 正見 〒198・0064 東京都青梅市榎木町2・312・1 電話 0428・760・0809</p> <p>園 日保監事・園理事長 長 堪山 泰学 園 長 堪山 泰賢 〒379・1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原985 電話 0278・722・1088</p>	<p>園 日保副理事長 長 杉の子保育園 〒274・0814 千葉県船橋市新高根3・8・1 電話 047・465・2336</p> <p>園 日保連審議委員 園理事長・園長 清水 博雅 〒191・0034 東京都日野市落川9・4・3 電話 042・591・1687</p> <p>学 漬谷学園日野わかさ幼稚園 園 長 前原 英明 〒174・8631 東京都板橋区前野町6・36・4 電話 03・3966・7637</p> <p>園 日保理事 長 西村 英昭 〒737・0022 広島県呉市清水2・1・26 電話 0823・25・5761</p> <p>園 理事 園長 榎本 隆乘 園 長 榎本 崇子 〒183・0014 東京都府中市是政3・6 電話 042・361・7452</p> <p>園 日保副理事長 長 高山 久照 〒179・0074 東京都練馬区春日町3・14・24 電話 03・3998・2162</p> <p>園 長 露木 正道 〒132・0024 東京都江戸川区一之江6・19・10 電話 03・3656・5636</p> <p>園 長 寺永 智子 〒093・0006 北海道網走市南6条東2丁目 電話 0152・44・4512</p>	<p>園 日保理事 長 浦田 裕人 〒604・8493 京都市中京区西ノ京南町22 電話 075・821・0055</p> <p>園 日保連審議委員 園理事長 加藤 英子 〒567・0832 大阪府茨木市白川1・11・1 電話 072・633・1212</p> <p>学 学校法人りんでん幼稚園 園 長 日野 昭文 〒615・8296 京都市西京区松室山添町6 電話 075・381・2591</p> <p>園 日保連審議委員 園理事長・園長 友松 浩志 〒101・0021 東京都千代田区外神田3・4・10 電話 03・3251・8683</p> <p>園 日保連審議委員 園理事長 戸田 了達 〒178・0064 東京都練馬区南大泉5・6・47 電話 03・3922・3368</p> <p>園 日保連審議委員 園理事長 秋山 秀阿 〒132・0035 東京都江戸川区平井6・53・7 電話 03・3618・0511</p> <p>園 日保連審議委員 園理事長 神谷 周道 〒554・0051 大阪市此花区西島3・26・11 電話 06・6461・7848</p> <p>園 日保監事 長 中田 和雄 園 長 山田 和敬 〒080・2471 北海道帯広市西21条南3丁目22・2 電話 0155・357・1222</p>	<p>園 日保理事 長 安藤 文隆 〒165・0022 東京都中野区江古田3・9・9 電話 03・3385・0014</p> <p>園 長 清野 英俊 〒983・0841 仙台市宮城野区原町2・1・66 電話 022・293・4930</p> <p>園 日保理事 園長 行友 伸二 〒533・0023 大阪市東淀川区東淡路4・12・25 電話 06・6321・0271</p> <p>園 長 小澤 宏 〒183・0021 東京都府中市片町2・4・1 電話 042・364・7651</p> <p>園 日保理事 長 杉本 智研 〒232・0002 横浜市内南区三春台19 電話 045・231・0290</p> <p>園 長 町田 順文 〒216・0026 川崎市宮前区初山1・2・1 電話 044・977・5671</p> <p>園 長 根本 定子 〒165・0025 東京都中野区沼袋3・21・7 電話 03・3385・0017</p> <p>園 日保監事 長 金子 聡秀 園 長 金子 聡秀 〒157・0077 東京都世田谷区鎌田3・23・19 電話 03・3709・0400</p>	<p>園 長 高橋 格昭 〒640・8053 和歌山市鷺ノ森1 電話 073・422・6952</p> <p>園 長 梅田 静子 〒158・0093 東京都世田谷区上野毛2・15・15 電話 03・3704・1881</p> <p>園 長 森 義昭 〒603・8231 京都市北区紫野大徳寺町74 電話 075・491・8818</p> <p>園 日保連審議委員 園理事長 岩堀 法道 〒314・0146 茨城県神栖市平泉2・325・1 電話 0299・922・2704</p> <p>園 日保理事 長 長谷川 匡俊 〒260・0812 千葉市中央区大蔵寺4・57・5 電話 043・263・7965</p> <p>園 理事 園長 渡辺 照道 〒099・2102 北海道北見市端野町二区340 電話 0157・56・3238</p> <p>園 日保連審議委員 園理事長 関岡 俊二 〒206・0021 東京都多摩市連光寺2・24・6 電話 042・374・6040</p> <p>園 長 武田 治恵 〒156・0051 東京都世田谷区宮坂2・10・1 電話 03・3427・2251</p>
--	--	--	--	---



園長 〒146・0084 東京都大田区南久が原2・30・5 電話 03・3756・0505 樋口威道	園長 〒340・0032 埼玉県草加市遊馬町430 電話 048・925・1741 丹羽 義昭	園長 〒105・0011 東京都港区芝公園4・7・4 電話 03・3431・0592 友田 達祐 蓮池 光洋	園長 〒380・0921 長野市栗田465 電話 026・226・7685 新出 光祐	園長 〒110・0001 東京都台東区谷中5・2・4 電話 03・3822・2431 高橋 海有	園長 〒193・0944 東京都八王子市館町1629 電話 042・661・3046 野上 浩達	園長 〒818・0192 福岡県太宰府市石坂2・12・11 電話 092・925・3511 大村 英昭	園長 〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879 白籟 文雄
園長 〒230・0063 横浜市鶴見区鶴見2・1・3 電話 045・573・8819 山崎 和子	園長 〒616・8044 京都市右京区花園扇野町49 電話 075・461・9428 川井 戒本	園長 〒603・8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96 電話 075・491・2141 田中 典彦	園長 〒616・8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町36・1 電話 075・872・5327 藤堂 俊英	園長 〒983・0005 仙台市宮城野区福室5・11・30 電話 022・258・0026 三浦 宗格	園長 〒461・0003 名古屋市中区筒井1・7・52 電話 052・935・2172 村上 真瑞		

恒例「インド訪問ツアー」中止のお知らせ

(公社) 日本仏教保育協会恒例事業の一つ「平成27年度インド訪問旅行(菩提樹学園・印度山日本寺・光明施療院・仏跡参拝ツアー等)」は、中止と決定いたしました。

昨年インド人民党(BJP)のナレンドラ・モディ氏が15代インド首相に就任されたことは、連立政権が常態化していただけない、世界は驚きを持って注目されました。その後、国民会議派としては重要課題を巡る意思決定が下しにくい状況にあり、水面下では不穏な空気も...との風評も仄聞します。

そのような情勢も併せて諸般の事情を勘案し、中止いたしました。ご理解賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

園長 〒230・0063 横浜市鶴見区鶴見2・1・3 電話 045・573・8819 山崎 和子	園長 〒616・8044 京都市右京区花園扇野町49 電話 075・461・9428 川井 戒本	園長 〒603・8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96 電話 075・491・2141 田中 典彦	園長 〒616・8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町36・1 電話 075・872・5327 藤堂 俊英	園長 〒983・0005 仙台市宮城野区福室5・11・30 電話 022・258・0026 三浦 宗格	園長 〒461・0003 名古屋市中区筒井1・7・52 電話 052・935・2172 村上 真瑞
---	---	--	---	--	--

名簿の記載事項に変更のある方(園)、お知らせください!

昨年配布しました『公益社団法人日本仏教保育協会社員名簿』に記載された園長、理事長のお名前や、認定こども園になられて園名が変更された園がありましたら、速やかにご連絡ください。

本部事務局にて整理し、郵送物など誤りのないようにしたいと思います。何卒ご協力くださいますようお願い致します。

尚、ご連絡方法はFAX、またはメールでお願いします。

FAX 03-3431-1519
 メールアドレス buppo@Cello.ocn.ne.jp

公益社団法人 日本仏教保育協会
 本部事務局

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
 保育環境の未来を提案する。
 それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
 www.jakuetsu.co.jp

「何となく気になる話」

◆選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が去る6月17日の参院本会議で全会一致で可決され、来夏の参院選から適応されることは周知の通り。若者に、政治に関心を持ってもらい、将来の政策を見極める力を養う上でも「18歳以上」に引き下げたことは至当と思われる。が、しかし、およそ270万人の新しい「票田」の取り込みを狙う若者対策に行き過ぎが無ければ良いが・・・と気になってならない。

例えば、これまで学問の独立を掲げてきた大学では「政治お断り」の風潮は根強いものがある。各党とも「敢えてそこに踏み込まなければ若者の政治への関心は高まらない」と、その方法・対策作りに余念がないようだ。が・・・、どうもねえ。

◆原則禁止されている「子連れで投票所への入場が全国的に認められる」ことになりそうだ。総務省は、秋に想定される臨時国会に公選法改正案として提出する方針である。1997年の公選法改正では「選挙人が同伴する幼児や止むを得ない事情がある者については、投票所にいる管理者が認めれば入場できる」とした。これまでも、よほどの事情がない限り「拒否」されることはなかったのだが、近年「入れろ、入れない」のトラブルが頻発しているようで、改正案提出となったそう。法則で規制しなければならなくなった時勢に思いを致すと・・・どうもねえ。

◆今年の10月以降より、いよいよ「マイナンバー」の通知カードが市区町村から各世帯ごとにまとめて郵送されることになった。日本で住民登録をしている一人ひとりに割り振られる12桁の番号が組み込まれたカードである。自分の番号は、送られてきた【通知カード】で確認できるそうだ。将来的には、番号と身分証明書を提示するだけで様々な手続きが済ませるといのだが、常に管理されているのかと思うと・・・どうもねえ。

編集後記

■今年の夏は記録的な暑さだったそうです。9月の声を聞いてやっと一息ついたようです。保育園では8月お盆には各園、少ない人数で合同でのんびりと過ごしたのではないのでしょうか。大きなクラスのお兄さんお姉さんも小さい子と共に過ごすことよって、また一段と成長を感じさせてくれますね。■8月お盆で檀家まわりをしていると仏壇に卒園生に差し上げている合掌人形が安置されているお宅が見受けられます。これはすずき出版を通して園で購入しているものです。この合掌人形は並べてみるとわかるのですが、不思議とその年その年で微妙に形が違います。合掌人形はまるで一人ひとりの園児のようでした。■8月28日に処遇改善等加算についての取り扱いの文章が国から出されました。近々、施設型給付の園には通知が行きますが、処遇改善に対する職員への賃金アップについてはしっかりと理解しおこないたいものです。

(福井)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

10
Oct.

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけの 心

第34回全国仏教保育福島大会

「合掌の姿に花は咲く」

大会

「被災地」ふくしまで学ぶ生命尊重の保育

大会実行委員長・吉岡 棟憲（福島ルンビニー幼稚園）

■日 時：平成28年7月30日（土）・31日（日）
■会場：ホテルハマツ（福島県郡山市）
■主催：公益社団法人日本仏教保育協会
■主管：第34回全国仏教保育福島大会

福島は今！

「2年後に、福島で会いましょう。」前回の京都大会を締め括った福島支部の皆さんの呼びかけから1年余が過ぎ、「第34回全国仏教保育福島大会」は、早くも10カ月後に迫ってきました。今、福島支部では大会開催への最終段階に向けて総力を挙げて取り組んでいます。

吉岡棟憲大会実行委員長は「加盟園は14園、支部結成の歴史も浅く組織力は脆弱ではありますが、スタッフの大会に向ける意気込みは力強いものがあります。本部事務局をはじめ、宮城・茨城・栃木など近隣支部のご協力を頂きながら、被災地福島で生命尊重の保育を学んで頂きたいと願っています。」と、

本部事務局との打ち合わせの場
でこのように語り、意欲を示され
ました。そして今、主会場での
の受け入れ、大会2日目の分科
会の構築・構成も大詰めを迎え
つつあります。

人間本来の生き方「向き合う・
寄り添う・支え合う」この三つ
の教えを、被災地福島で改めて
学んで頂きたいという心からの
願いが、「大会テーマ」に込め
られているように思います。

福島の「見どころ・
見ごろ・味どころ」も
楽しもう！

●国宝白水阿弥陀堂

平安末期に建立された阿弥陀
堂で、福島県唯一の国宝建造物
です。

●相馬中村神社

相馬野馬追には出陣式が厳粛
に執り行われる由緒ある神社。
「馬の駅長」による出迎えがあ
ります。

●会津鶴ヶ城

リニューアルした天守閣はま
さに白虎隊の雄姿が偲ばれま
す。400年前の城下町を再現
した「會津十景」の散策は価値
があります。

●ほろ酔いめぐり

福島の蔵元数は東北で最多。
「ほろ酔いマップ」で巡る、風
土と技で仕込む「福」の銘酒も
見逃せません。

*名湯あり、史跡あり。研修の
あとの楽しみもこころに残るこ
とでしょう。

*現地研修（フィールドワーク
ツアー）では、「原発事故被災

地現地視察も検討しています。
「福島へ行こう！被災地で
学ぶ生命尊重の保育」の大
会をみんなで成功させまし
よう！

城、津、会津、鶴ヶ城、
は外では呼ばれて
鶴ヶ城と呼びます
↓
地元松若
地元若



相馬野馬追所縁
の三神社の一つ
中村神社



平安時代の建築
白水阿弥陀堂



「妙心寺派社会事業協会 社会事業従事者研修大会」報告

平成27年7月21日～23日 於：臨濟宗大本山妙心寺・花園会館 川島由里子



例年通り暑い夏の盛り、二三日の研修に全国から67名が集。坐禅、朝課、作務、粥座(朝食)と続く一連の朝の行事に身も心も引き締めながら、自分の命・相手の命・そして頂く命に感謝し、素直に合掌することを学ぶ三日間であった。

は、例年の如く温かな時間であった。またその夜の懇親会では、食事や班ごとの出し物を通じて、場内の雰囲気がいっぺんに和やかにになり、参加者同士心を通わすことのできた時間であった。

二日目は寺山内の退蔵院を拝観後、降りしきる雨の中、嵯峨野路の散策。途中、化野の念仏寺を拝観し、嵯峨野路の一番奥に位置する愛宕寺まで歩く。

ご住職西村公栄師より愛宕寺の縁起についてお話を伺ったあと、境内に納められた1500体の羅漢石仏を拝観。一般市民が彫ったという石仏の群れは、どれもこれも愛しい人を憶って彫られたことが、胸に沁み込む羅漢さまであった。

その後、愛宕寺の広間をお借りして、夢の鳥保育園園長・出原大先生より、幼少期に自然と関わりながら暮らすことがどんなに大事なことであるか。たくさんさんの事例や参加者が実際に草や木に触れながら、五感を駆使して子どもが育つことの意味を

お話し下さった。人は自然の一員として自然と共存してきた長い歴史があり、だから自然の中で心身が落ち着くのは自然なことなのだと言う。忘れないでいたいと思う。

最終日は、京都造形大学学長の地震学者・尾池和夫先生の講演で研修大会を締めくくった。演題は「日本列島の自然」。

日本の国の地理的成り立ちから話され、地震は正しく知って正しくこわがろうという内容も面白かったが、昔韓国では、皇帝が間違った政を行うと大地震が起ると考えられていたそう、今の日本に当てはめてお聞きし、おかしかった。

尾池先生によると、大地震は確実にやって来る。その時期も特定されていると言う。正しく知り、正しく対処することが大事だと言われたが、それはすべてに通じることだと改めて感じることがあった。面白い学びを得られた研修会であった。

◆通巻ナンバー記載の誤り、お詫びします◆

機関紙『仏教保育』9月号の通巻ナンバーを(618号)と標記しましたが、誤りで、正しくは(617号)でした。ご迷惑をおかけしましたこと、謹んでお詫び申し上げます、誠に訂正させていただきます。



護摩供法要



開会式



第1講



第2講

「第3回智山豊山合同保育研修大会」報告

平成27年7月23日・24日

於：大本山成田山新勝寺・成田ビューホテル

智山保育連合会事務局 村磯 頼裕

毎年夏の時期に真言宗豊山派保育連合会・智山保育連合会では、真言宗豊山派寺院・真言宗智山派寺院附属の幼稚園と保育園に從事する園長・設置者・教諭・保育士を対象に研修会を開催しております。

本年度は、7月23日(木)・24日(金)の両日に両派合同で大本山成田山新勝寺様を会場に、第3回智山豊山合同保育研修大会として開催いたしました。

当日は、豊山派寺院附属の幼稚園・保育園が12園約70名、智山派寺院附属の幼稚園・保育園が18園約80名、総勢約150名が集いました。

まず、開会式では、大本山成田山新勝寺御貫首・橋本照穂大僧正はじめ、小宮宗務総長様、豊山派坂井宗務総長様など多数のご来賓よりご挨拶を頂戴し、また、各加盟園に於いて幼児保育に長く従事された保育士・教諭の功績を讃え「永年勤続者表

彰」を行い、開会式を終了しました。

第1講では、名取芳彦師(真言宗豊山派密蔵院住職/総合研究院布教研究所 研究員)より、「仏道てくてく」というテーマにて写仏のご講義を頂戴しました。その後、成田ビューホテルに会場を移し、懇親会を開催し、一日目を終了しました。

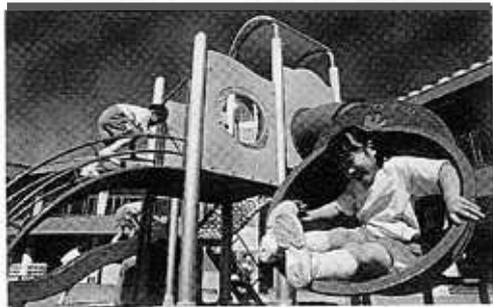
二日目は早朝5時30分より、橋本照穂御貫首が御導師をお勤めする朝護摩供に参列し、新勝寺職員様の案内のもと境内を散策しました。

朝食の後、第2講を行い、藤本ともひこ氏(絵本作家/童話作家・あそびうた作家)より「えほん とぎどき あそびうた」

というテーマにて、ご講演を頂戴し、第3講は伊藤尚徳師(真言宗智山派極楽寺住職/智山教化センター所員)より「お写経体験」というテーマにて写経のご講義を頂戴しました。

すべての研修プログラムを終え、最後の閉会式では、参加者に修了証を授与し二日間にあたる研修は盛会の内に終了しました。

末筆ではありますが、限られた時間の中で講師をお勤め頂きました先生方と会場を快くお貸し頂き、ご協力を賜りました大本山成田山新勝寺の皆さまに感謝を申し上げ報告とさせていただきます。



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ

www.jakuetu.co.jp

日蓮宗保育連盟 「第61回日蓮宗保育研修宮城大会」を終えて

平成27年7月25日・26日 於：宮城県遠刈田温泉宮城蔵王ロイヤルホテル
日蓮宗保育連盟理事長 荒居 養雄



日蓮宗保育連盟主催の平成27年度第61回保育研修宮城大会は『慈悲のこころ』『だきしめよう!! 未来を担う小さないのち』の研修テーマのもとに、7月25日、26日の二日間、宮城県遠刈田温泉宮城蔵王ロイヤルホテルを会場に開催されました。懸念されていた蔵王の火山活動は、幸いにも大会が近づくにつれ落ち着き、日本全国か

ら、連盟加盟の幼稚園、保育園、認定こども園、大学等より約160名余の設置者、園長、教諭、保育教諭、保育士、職員等が参加し無事実施されました。

大会一日目、開会式では、参加者による宗歌「立ち渡る」讃仏歌「蓮の花」の斉唱、白石市ひかり幼稚園年長組園児のことばがけやきよらかな歌声、法味言上と続きました。主催者濱田文護理事長挨拶後、日蓮宗事務総長・小林順光様をはじめ地元元ご来賓よりご祝辞を頂きました。

最後に地元ひかり幼稚園長・風間文静先生からは歓迎の辞とともに「自然とやさしさ、恐ろしさ、こわさを東日本大震災被災の東北の地、そして蔵王の地で再認識してほしい」と述べられました。

その後永年勤続者(管長表彰30年：2名、理事長表彰20年：1名、10年：7名)の表彰、記念写真撮影と続き開会式は閉じました。

続いて「こどもの命を守るために」の記念講演で、宮城県名取市立閉上保育所元所長・佐竹悦子先生から、被災当時の状況をパワーポイントにて説明を受けました。幼い子どもの命を預かる私たちは、常に職員間であ

らゆることを共有しながら、自分たちの命は自分たちで守ることが大切であることをご教示頂きました。

これと並行し別室では定例総会を開催し、予定の議案はすべて承認されました。今年役員改選にあたり、濱田文護理事長が勇退、顧問につかれ、荒居養雄新理事長をはじめ新役員が承認されました。

夕食の懇親会は、地元仙台市の「すずめとれんど」によるすずめ踊りやフルート演奏、オカリナ演奏など和やかな交流の場となりました。

大会二日目は、仙台市はなぶさ幼稚園長であり、雲山寺住職の菅野貫順先生により「信する力」の演題で晨朝法話。続いて「見えないいのちを見つめよう」の演題で、宮城県大河原町の幼児から高校生で構成される「つくしの会児童合唱団」による素晴らしい歌声と表現あふれるハーモニイに酔いしれました。

閉会式では、静岡県双葉幼稚園・瀧口公子先生から参加者代表謝辞があり、続いて来年第62回京都大会の開催地、京都市たちばな保育園・藤田尚哉先生からご挨拶をいただき本大会は無事閉会しました。

「第41回浄土宗保育協会全国研修会」 (併修 浄土宗保育協会中四国地区研修会) 報告

平成27年8月22日・23日 於：山口県周南市「ホテル ザ・グラマシー」
報告者：浄土宗保育協会山口教区支部 桑原 弘樹



平成27年8月22日(土)より23日(日)までの二日間の日程にて、山口県周南市の「ホテル ザ・グラマシー」を会場に、全国各地より40施設、135名余りの参加者を迎えて、浄土宗保育協会主催「第41回浄土宗保育協会全国研修会」が『合掌の出来るよい子に』のテーマのもとに開催された。

開会式に先立ち、県内周防大島町の源空寺保育園の園児による歓迎和太鼓の披露があり『南無阿彌陀佛』の御名号の掛け軸の御前にて園児一人一人の生き生きとした演奏に、会場内は可愛い熱気に包まれました。

また、開会式におきまして、動行に引き続き理事長の白旗文雄先生の挨拶後、浄土宗社会国際局局长・宮林雄彦上人をはじめ、ご来賓の方々より祝辞を頂きました。その後、国家表彰・永年勤続者表彰と続き開会式を終えました。

研修①では、萩博物館特別学芸員で至誠館大学特任教授の一坂太郎先生による「吉田松陰とその家族」と題してのお話で、明治維新という大きな節目で「志」を貫き多くの人材を育てた吉田松陰先生の生き様から、多くのことを学ぶことができました。

研修②では、総本山知恩院布教師で県内山陽小野田市貞源寺第二保育園園長のか藤善雄先生による『浄土宗保育の目指すもの』と題してのお話で、子どもを敬い「ほとけの子」を育てるようにとのお話がありました。親にとっては自分の命より大切な我が子、そんな尊い命をご縁があつて預らせていただき

ていることの意味を改めて考える機会をいただきました。合掌できる良い子に育つために、私たちにできることを今一度研鑽していきたいと思えます。

一日目の研修はこれで終え、懇親会は同会場の隣の宴会場にてビュッフェ大会など行われ盛會のうちを終えました。

二日目は、朝のお勤めから始まり、研修③では、知恩院仏教音楽研究所主事で浄土宗芸術家協会副理事長の小川隆宏先生による『音って、なんでしょうか?』と題してのお話で、何気なく聞いていた音の奥深さを教えていただきました。実際にシンセサイザーを使って歌われて、音楽の楽しさを伝えてくださり、楽しいひと時となりました。

最後に、閉会式が行われ、お昼前には散会となりました。参加者の感想文の中に、浄土宗という環境のもと、日々子どもたちと接していることの尊さを改めて感じることができ、その貴重な環境を生かし、これから子どもたちと日々関わっていきたいという感想がありました。大変有意義な研修であったことを当研修会に関わったすべての方々に感謝申し上げます。

最後に、閉会式が行われ、お昼前には散会となりました。参加者の感想文の中に、浄土宗という環境のもと、日々子どもたちと接していることの尊さを改めて感じることができ、その貴重な環境を生かし、これから子どもたちと日々関わっていきたいという感想がありました。大変有意義な研修であったことを当研修会に関わったすべての方々に感謝申し上げます。

「第34回北海道仏教保育研修旭川大会」報告

平成27年7月31日・8月1日 於…真宗大谷派旭川別院
小山 英明（みどり幼稚園）

北海道仏教保育協会は7月31日・8月1日の両日、真夏日が続く中、第34回北海道仏教保育研修旭川大会を開催しました。

今回の会場は、旭川駅から徒歩約5分の場所であり、木々に囲まれた広い境内に健立され国内で最北端に位置する真宗大谷派旭川別院で行われました。研修には道内各地から約120名の教諭・保育士が参加し、二日間、

法話や講演、実技を踏まえた研修を実施しました。

今大会のテーマは「つなげるいのち」～自らがやく太陽となる。このテーマに基づき、北海道仏教保育協会・野村定弘会長は、「立ち止まり振り返ってみましょう。子どもたちは幼児期の本来の姿で生き生きと充分に楽しみ園生活を過ごしているのでしょうか？人生への生きる喜びを子ども

もたちに与感させることができているでしょうか？生命尊重の保育とは生命の輝きを体現することであり、また私たち自身が輝く中にこそ、あるものと思われまふ。」とご挨拶されました。

一日目の法話では、真宗大谷派旭川別院前輪番・澤田秀丸先生をお迎えし、仏教の中でもとても大切な教え、「六識」そしてさらにその奥にある「八識」について

お話して頂きました。「人は皆自我の上に立ち、物事を見ていること。しかし、その自我から離れてみることが出来る意識も私たちは持っていること。」とても解りやすくお話しをしてくださいました。

続いての講演では、パネルシアターの創案者である古宇田亮順先生をお迎えし、アコーディオン奏者の方とエレクトーン奏者の方も交えて、温かみのある優しい歌声と共に様々なパネルシアターを紹介してくださいました。大人の私たちも釘づけになるほどたくさんの仕掛けとユーモア溢れた展開に魅了されました。

研修後にグランドホテルで行われた懇親会では旭川の名物である旭川ラーメンを堪能できるブースを設け、地方から来られた先生方に楽しんで頂ける催し物を準備させて頂きました。そして中盤には、新感覚紙芝居「よしと&ひうた」さんのステージと共に他園の先生方と交流を楽しみました。

一日目の法話では、(社)日本仏教保育協会常任理事・高輪真澄先生に三福依文についてお話しを頂きました。三福依文の三は三宝を表し、「三つの優れたもの」を意味しております。仏教の話になると難しくなってしまうですが、保育中子どもたちに伝える時にも「三つ」の約束を伝えることで理解しやすくなり、様々な世界で「三」を意識して伝えている方も

多くいらっしゃる事を高輪先生の経験をふまえたお話を聞かせてくださいました。

続いては、拓殖大学北海道短期大学・土門裕之先生を講師にお迎えし、音楽とリズムを題材にリトミックを通していかに自然に人と人とのコミュニケーションを図る方法や、様々な世界を見てきた土門先生が感じた日本人の素晴らしさについてをユーモア溢れた実技を踏まえてお話しを頂きました。

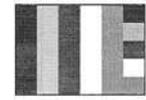
研修最後は紙芝居作家・紙芝居師のよしと&ひうたさんを講師にお迎えし新感覚紙芝居のステージを披露して頂きました。よしとさんの手作りでの心こもった紙芝居と絶妙な演奏を奏でてくれるひうたさん。そして二人の相性の良さが講演の最中のお話でも感じる事ができました。紙芝居を通じ子どもたちに何を伝えるのか？一緒に楽しむには、まずは自らが楽しむことが大切であること、私たち保育者にとって根本にある大切な事を改めて振り返ることができました。

閉会式では、北海道仏教保育協会・畑光寿研究委員長にご挨拶を頂き、二日間に行われた第34回北海道仏教保育研修旭川大会の幕を閉じました。両日、様々なジャンルのお話しを聞くことができ改めて保育と向き合うことができ、また充実した時間を過ごすことができました。





ZENBUTSU
全仏保だより



マイナンバー(共通番号)制度の対応について

1. 経緯

平成27年10月5日より各市町村から、住民票を持つすべての国民に向けて、世帯毎に「通知カード」(紙)が郵送され、12桁の個人番号が付与されます。平成28年1月以降の税と社会保障に係る手続に利用されることになり、各ご寺院が役職員等から当該個人番号を収集する必要が生じます。

2. マイナンバー制度の目的

マイナンバーは住民票を有するすべての人に番号を付して、行政が社会保障・税・災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用するとともに、個人が行政手続の際、利便性を向上させることを目的としています。

3. マイナンバー制度への対応

個人番号のプライバシー情報等としての重要性や漏洩リスク回避のため、各ご寺院に個人番号取扱対応や安全管理措置が要求されます。各個人(役職員等)から預かった個人番号を含む情報は、管理担当者を決め、管理場所や管理の道具(PC等)を特定するなどの管理を行ってください。

4. ご留意下さい!

- ①住民票に基づき各世帯に、家族分の「通知カード」が簡易書留にて郵送されてきます。住所地の確認、確実な受領と紛失・盗難等に留意し保管してください。
- ②今後、各ご寺院が行う税や社会保障に係る手続に当該個人番号が必要となるため、各個人(役職員等)から番号収集を行います。役職員等は寺院への提示(番号確認及び身分証明)に協力することになります。
- ③各ご寺院が個人番号を収集する対象者は、内部は役職員等(税務署に源泉徴収票を提出する者等)、外部は個人・報酬・謝金・顧問料等支払先(税務署に支払調書を提出する者)となります。

また、各ご寺院には、国税庁から同時期に13桁の法人番号が付与されます。こちらは管理や保護対象でなく、公表、利用される番号となります。

以上

監修：朝日税理士法人 公認会計士/税理士 木村 匡成



公益財団法人
全日本仏教会
WFB(世界仏教徒連盟)日本センター

〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2F
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260
<http://www.jbf.ne.jp/>



事務局日誌

- 9 / 3 事務局会議
- 9 / 9 こどものくに「チューリップ版」編集会議
- 9 / 28 こどものくに「ひまわり版」編集会議
- 9 / 29 「ほとけの子」編集会議
- 9 / 30 こどものくに「たんぼ版」編集会議

暴風雨に直撃された関東・東北の皆さま、 謹んでお見舞い申し上げます

9月9日、愛知県に上陸した台風18号は日本海に抜けて間もなく温帯低気圧に変わり、折からの台風17号からの風が関東・東北にぶつかったことで、大雨を降らせる「線上降水帯」が発生。突如、関東から東北にかけて記録的な大雨が猛威を振るいました。

茨城県や宮城県では河川が氾濫し、1万棟以上の家屋が浸水しました。翌10日、気象庁は茨城・宮城両県に「特別警戒」を発令し避難をよびかけましたがすでに遅く、鬼怒川では川の水位が急上昇。堤防を越えた濁流は日光市など市街地に流れ込んできました。取り残された多くの人を警察や消防、自衛隊がヘリコプターで行う救助活動は、日本中が驚きと祈りを込めて見守っていました。日光市では、24時間に降った雨量は536ミリとなり、9月の平年の降水量の2倍以上が一日で降ったということです。中でも、今回の大雨で常総市が決壊場所に近い地域へ避難指示を出したのは決壊した後だったと分かり、市の対応に疑問の声も上がったようです。

普段より避難場所を確認しておくなど、大きな被害で改めて知らされた日頃からの備の大切さでした。被災地域の皆さまには茲に謹んでお見舞い申し上げます、一日も早い復興をこころから願っております。

編集後記

■過日、文部・厚労両省は平成28年度概算要求・要望を財務省に提出しました。文科省は経常費助成のうち一般補助(幼稚園分)は0.96%減の205億5千万円。園児一人当たりとしては前年度より256円アップの2万3491円となっています。総額の減少は、園児減少に伴うものように思われます。就園奨励費については今年も項目だけを盛り込む「事項要求」となっています。厚労省は、戦略的な重点要求・要望のポイントとして『すべての子どもが健やかに育つための総合的な対策』を打ち出しており、子どもを産みやすい環境づくりとして3247億円。待機児童に向けては934億円。児童虐待防止に1245億円を要求・要望をしています。年末から年初にかけて予算獲得で気が抜けなくなることでしょう■9月は大型台風が目白押しで日本列島を襲つてきました。土砂災害、河川の氾濫、家屋浸水など、枚挙にいとまがないほどでした。過去の教訓も活かされず亡くなられた方も多く、荒れ狂った風雨におののいた9月でした■「平和にあふれた一日は水と始まる」と言います。その幸せを感謝することを忘れないようにしたいと思います。(0・1)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つの門(13場面)○おさとり(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2x26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子でも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版



仏教保育

11
Nov.

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけの心

新制度移行調査で見えた

「増える事務負担と収入面への懸念」

10月21日、子ども・子育て本部は「第26回子ども・子育て会議」第29回基準検討部会を開催し、移行調査を基に新制度の進捗状況について議論しました。平成28年4月には私立幼稚園のおよそ3割が新制度移行見込みであることが明らかにされ、委員から保護者・事業者への周知とともに公定価格における1号単価の改善を求める意見が出されました。

第3次安倍改造内閣で少子化対策担当に任命された加藤勝信特命担当大臣は、会に先立ち「少子化の現状は社会経済の根幹を揺るがすものである。安倍政権では少子化進展に歯止めをかけて、誰もが活躍できる『億総活躍社会』を目指している」と訴え、首相が掲げている3本の矢「強い経済」「夢を紡ぐ子育て支援」「安心に繋がる社会保障」ではGDP600兆円、希望出生率1・8、介護離職ゼロという大きな目標を掲げていることを告げ、「新制度は『夢を紡ぐ子育て支援』の中核を占める大きな要素であり、この制度が更に充実するよう全力をつくしたい」と呼びかけました。移行調査における報告事項の概要は以下の通りです。

私立幼稚園の移行調査（報告事項）について

私立幼稚園が来年度以降に移行するのか、また移行することへの懸念事項等について、7月に文部科学省は市町村・都道府県を通じて調査しました。調査

対象は新制度に移行していない私立幼稚園6218園。回収率96・2%（5983園）。すでに新制度に移行している園も含めると、平成28年度まで

に移行する園は2486園（検討中を含む）で、全私立幼稚園8110園の30・7%となっています。将来においても移行する予定はないという園を除き、移行を検討中の園は4465園で55・1%。（平成29年度以降に新制度へ移行（検討中を含む）する園が881園、状況によって判断したいが3584園となっています。新制度に移行していない6218園のうち28年度に移行する（検討中を含む）という園が594園。認定子ども園となって移行が315園、幼稚園のまま移行が232園、検討中が47園という結果でした。

- （1）地方自治体・自治体への周知（情報交換・意見交換の継続実施）。
 - （2）事務負担の軽減（請求事務の簡素化の検討、施設所在市町村による事務の一括対応の促進、移行準備にかかる事務経費の補助等）。
 - （3）収入面での不安への対応
- での不安」で、2314園が不安（64・6%）としています。「応諾義務の取り扱いに不安がある」が2226園（62・1%）、「所得に応じた保育料になるなどの利用者負担の仕組みに不安がある」と応えた園が1749園（48・8%）。「新制度への仕組みが十分に理解できない」が1719園（48・0%）などとなっています。
- *調査結果や自治体、関係事業者からの聞き取りなども踏まえれば、以下の対応を検討していくことを提起されました。



(来年度予算における所用額の確保、自治単独補助の充実等)。

(4)有資格者不足への対応(一時預かり事業や施設型給付における加算等での資格要件の緩和など)。

＊委員から指摘された問題点

◎私立幼稚園は保護者が入園させる園を選択する仕組みであることは周知のとおりです。その仕組みが市町村の所管となれば、自治体の裁量が許されることとなります。とすれば、私立幼稚園は各市町村の価値判断に対応しなければならぬという不合理が生じかねません。これは私立幼稚園にとって大きな

不安材料。

◎各自自治体がこれまで行ってきた私立幼稚園への単独補助についても新制度の移行状況に関係なく支援する自治体、明確に差をつける自治体も出てくることは必定と思われれます。つまり、広域利用ができないという不安。

◎事務負担増大については負担増に対応できるよう正規事務職員一人雇用をできるだけの加算を要望。

◎私幼が懸案としている事務負担については、必要とされる事務の可視化やフォーマツト化、先駆的に取り組む市町村の紹介なども必要ではないか。

◎「収入面での不安」について

は、都市部で1号の子どもが多い園では新制度で収入がマイナスになる点が懸念されているとして、大規模園の1号に関する

◎私幼が新制度への移行を望まないのは公定価格の問題とともに、将来的な財源の見通しが明確でない点にも起因している。来年度予算を含めて、財源確保を求めたい。

◎1号の施設型給付における地方単独部分については、本則に基づき財政構造となる措置が必要。

◎消費税財源以外の1兆円超を早急に確保することを要望する。質向上に繋がる人材確保のためにも1兆円超の確保はすべ

きである。

◎消費税を8%に引き上げた際には、新制度への期待もあつて子ども分野に優先的に財源配分された。新制度が社会的にも評価されるためには、支援が必要な層にサービスが行きわたっているなど情報発信することも必要ではないか。

◎待機児童の定義にしても曖昧である。自治体によっては過小発表している疑いも拭えない。保育所申請数と待機児童数の違いも出ており、小規模保育の設置の判断が難しいケースもあるようだ。

◎保育士確保プランで事業化されている修学資金貸付事業や就職促進支援事業などは、幼稚

園教諭については検討されていないのは問題である。養成校と現場が連携して人材確保に取り組む必要がある。

◎無償化の財源については、新制度にかかる財源とは別の財源で確保し実施すべきである。また、所帯収入に関係なく幼児教育の無償化を要望する都市が多い。無償化の早期実現が望まれている。



＊この他、新制度は事業者だけでなく、利用者への周知も重要。新制度は国民的合意が得られるよう国を挙げて取り組むべきである。等々、財源から周知徹底、人材確保、無償化に至る議論が交わされました。

幼稚園・保育所が上手に対処するための「マイナンバー制度」の取り扱い方

平成27年10月から日本の全住民一人ひとりに異なる12桁の番号が通知されているのがマイナンバーです。個人が特定されないように、生年月日や居住地番などに無関係な番号が割り当てられています。法人の場合には、1法人に一つの法人番号(13桁)が指定されます。また、マイナンバーは各機関が管理する個人情報で、同一人物であることを正確かつスムーズに確認するための基盤となり、更に国や地方公共団体などで分散して

管理する情報の連携を速やかにするなどのメリットをもたらします。そうしたメリットを有効に活かしていくためには、マイナンバーをよく理解していなければなりません。幼稚園や保育所での安全管理上の措置を誤ったり注意を怠ったりすると罰則規定に触れ、罰金等が科せられるケースも生じてきます。便利に暮らしやすくするために、マイナンバーをしっかり検証しておくことが大切です。

■マイナンバー

実施の流れ

マイナンバー制度が実施される流れは次の通りです。

- ①住民票の住所に通知(平成27年10月以降)
- ②マイナンバーの利用開始(ICチップ付き身分証明書を兼ねる。平成28年1月より)
- ③個人ごとのポータルサイトの利用開始(保険料や税の納付記録や自分の情報の閲覧記録のチェック。平成29年1月)

■三つの場面で必要になるマイナンバー

- (1) 社会保障関係の手続き【年金の資格取得や確認・給付】
- (2) 税務関係の手続き【確定申告書、届出書、法定調書などに記載】

【確定申告書、届出書、法定調書などに記載】



(3) 災害対策【防災・災害対

策に関する事務、被災者生活再建支援金の給付、被災者台帳の作成事務】など。マイナンバーは国の行政機関や地方公共団体などで行った三つの分野で利用されます。幼稚園・保育所の責任者は、職員

■きちんと受け取り、しっかりと活用するために

マイナンバーが送付されてくれば、次の四つのポイントを確認して確実に受け取り、有効に利用・活用しましょう。

- (1) 住所の確認
(2) 書留の自身を確認する

・マイナンバーの通知確認
・『個人番号カード』の申請書と返信用封筒・説明書

(3) 個人番号カードの申請。

申請方法は二通り

- ① 郵送で申請
② オンラインで申請（*個人番号カードの取得は自由です）

(4) 個人番号カードを受け取る。

その時に提示に必要なもの

- ・「通知カード」
・「交付通知書」
・「運転免許証」 など。

*マイナンバーはICチップが搭載されたプラスチックのカードです。将来的にも様々な使い道が検討されています。写真を添付して1年以内に申請してください。

■私立の幼稚園・保育所の教諭・保育士・職員はマイナンバーの記載が必要

個人情報保護の正確な取り扱いのために、幼稚園・保育所が守るべきことやより万全な対応が望ましいことを示したガイドラインを特定個人情報保護委員会が作成しています。ガイドラインのダウンロードは【特定個人情報保護委員会】で検索してください。

法人には法人番号が通知されます。法人番号は株式会社などの設立登記のほか、「国の機関」「地方公共団体」などに指定されます。法人番号について詳しくは【法人番号国税庁】で検索。

■利用にあたっての注意事項

幼稚園・保育所では給与所得者の税金や社会保険関連の手続きは勤務先が行っています。

マイナンバーが導入されてもこれらは変わりませんから、幼稚園や保育所の実務担当者が実質的な代理人になることとなります。このことを職員全員に周知・理解してもらうことが前提となります。

◆利用目的をきちんとして明示

法令の範囲内で利用目的を特定して明示する必要があります。

(例) 源泉徴収票に記載して提出します。

◆マイナンバー取得時の本人確認は厳格に

取得の際、他人になりすますこと等を防ぐために厳格な本人確認を行います。

(例) 職員が扶養家族のマイ

ナンバーを記載した書類を提出する場合、職員が扶養家族の本人確認をすることになります。

本人確認には『身元確認』と番号確認が必要です。

- ・個人カードを持っている場合 II 身元確認と番号確認はカード1枚で可能です。
・個人カードを持っていない場合 II パスポート、運転免許証、住民票などの提示

が必要です。

◆マイナンバーが記載された書類の保管は必要がある場合のみ

・必要がある場合に限り、保管し続けることができます。
II 翌年度以降も継続的に雇用の場合。所管法令によって一定期間保存が義務付けられている場合など。

・不必要になれば、できるだけ速やかに廃棄・削除しなければなりません。
II マイナンバーを事務上利用する必要がなくなった場合、または保存期間を経過した場合など。

■安全管理の徹底

◆担当者の明確化

制度の導入に向けて準備を整える必要があります。「組織的・人的安全管理措置」と「物理的・技術的安全管理措置」が重要になります。組織的には「担当者

を明確」にすることが肝要です。

◆適切な教育

物理的には「シュレッダー、鍵付きのキャビネット、パーテーションの設置、ウイルス対策、アクセスパスワードの設定」等々。業務マニュアル等の作成が望ましいと思います。

(*平成 28 年 12 月の源泉徴収等の関連書類にマイナンバー記載力所等が追加され、様式が変わります。)

*情報漏えいにはこれまでも十分な対策をされていると思いますが、マイナンバーの取扱いは「個人情報保護法」よりも厳格な安全措置が設けられています。今一度、対策の見直しや慎重な準備をしてください。

■罰則について

マイナンバーが漏えいすることのないよう多くの対策が求められています。罰則も個人情報保護法よりも強化されています。正当な理由なく特定個人のファイルなど他者に提供した場合、4 年以下の懲役または 200 万円以下の罰金（悪質な場合は併科もありうる）から、不正な手段で個人カードを取得した場合は、6 カ月以下の懲役または 50 万円以下の罰金まで、細かい罰則規定があります。

マイナンバーは生涯にわたって使うものです。正しく理解して、有効かつ便利に使いましょ。



平成 28 年度 幼児教育関係概算要求の概要

文部科学省は過日、平成 28 年度予算の概算要求の概要を財務省に提出しました。幼児教育関連では 7.1% (32 億 8900 万円) 増の 493 億 2100 万円。このうち新制度移行見込み分を除くと 418 億 1800 万円 (前年度比 33 億円増) となっています。幼児教育無償化に向けた取り組みは予算編成過程において検討する「事項要求」としており、前年度予算額 323 億円 (新制度移行見込み分を除いた概算

要求額 248 億円) の拡充で要望しています。

また「幼児教育の質向上プラン」では前年度比 7 倍の 2 億 4400 億円と、大幅な拡充での要求となっています。更に「幼児教育の推進体制構築事業」を創設し、地域の幼児教育センターの設置、幼児教育アドバイザーなど、地域に根差した展開を図っています。その他、主な要求内容は下表のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	27 年 度 当初予算額	28 年 度 要求・要望額	比 較 増△減	備 考
1. 幼児教育に係る保護負担の軽減 (無償化に向けた段階的取組) (幼稚園就園奨励費補助)	32,341 ※	32,341	—	※事項要求 (子ども・子育て支援新制度移行見込み分と合わせて前年同額で置き)
<p>○幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、すべての子どもに質の高い幼児教育を保障するため、幼児教育に係る保護者負担を軽減し、無償化に段階的に取り組む。</p> <p>○「幼児教育無償化に関する関係閣僚・与党実務者連絡会議」(平成 27 年 7 月 22 日開催) で取りまとめられた方針等を踏まえ、「環境整備」と「財源確保」を図りつつ、段階的に無償化に向けた取組を進めることとし、その対象範囲や内容等については予算編成過程において検討することとされているため、事項要求とする。</p>				
2. 幼稚園教育内容・方法の改善充実	21	25	4	<ul style="list-style-type: none"> 新しい幼稚園教育要領解説書等の作成 (新規) 15 百万円 幼稚園教育理解推進事業 10 百万円
3. 幼児教育の質向上推進プラン	34	244	210	<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育の推進体制構築事業 (新規) 223 百万円 幼児教育の内容等深化・充実調査研究 (新規) 21 百万円
4. 認定子ども園への財政支援	13,484	14,509	1,025	<ul style="list-style-type: none"> 認定子ども園施設整備交付金 12,177 百万円 教育支援体制整備事業費交付金 2,333 百万円
5. 私立幼稚園施設整備費補助	173	2,173	1,999	
6. ECEC Network 事業への参加 (新規)	0	12	12	

【参考】				
●私立高等学校等経常費助成費補助 (幼稚園分)	30,308	30,742	434	
(1) 一般補助	20,749	20,550	△ 199	
(2) 特別補助	9,559	10,192	633	<ul style="list-style-type: none"> ①子育て支援推進経費 4,601 百万円→4,511 百万円 ・預かり保育推進事業 3,451 百万円→3,451 百万円 ・幼稚園の子育て支援活動の推進 1,150 百万円→1,060 百万円 ②幼稚園等特別支援教育経費 4,958 百万円→5,681 百万円
●公立幼稚園施設整備費	156,051 の内数	158,667 の内数		

※端数処理の関係で計算が合わない項目がある。

平成 28 年度 保育対策関係概算要求の概要

厚生労働省は過日、平成 28 年度予算の保育対策関係概算要求の概要を財務省へ提出しました。一般会計全体としては前年度当初予算より 2.5% (7529 億円) 増の 30 兆 6675 億円を要求しています。高齢化等に伴う増額を盛り込み、消費税引き上げ分を実施する「社会保障の充実」については年末の予算編成過程で検討する「事項要求」の扱いとしていま

す。保育対策関係では、内閣府予算分も含めると前年度予算より 0.2% (14 億円) 増の 8035 億円を要求。待機児童解消加速化プランを推進するため、小規模保育の整備支援の実施、保育所等の整備、保育士の確保策を強力に進める予算構築となっています。主な内容は以下のとおりです。

■待機児童解消加速化プラン

・保育所等整備について

平成 27 年度～ 29 年度の取り組み加速期間では、21 万人分の受け入れ枠の整備を目標としています。27 年度は 8 万 2000 人分（認可保育所 5 万 5000 人、それ以外 2 万 7000 人）の整備を進めてきましたが、28 年度では 7 万 2000 人（認可保育所 4 万 5000 人、それ以外 2 万 7000 人）の受け入れ枠増加を図っています。

・保育士確保について

保育の量的拡充に向けた保育士の確保としては、前年度より 20% 増の 92 億 7000 万円を要求しています。平成 27 年 1 月に策定した「保育士確保プラン」では平成 29 年度までに 40 万人分の受け入れ枠を確保するという待機児童解消加速化プランに対応し、29 年度までに必要とする保育士 46 万 3000 人と見込んで、新たに 6 万 9000 人の保育士の確保を要すると推計しています。

・認可化支援策について

認可外保育施設が認可されたり、長時間の預かり保育を実施している幼稚園が認定こども園となるための運営費の支援は、内閣府の「子どものための教育・保育給付費補助金」として要求しています。それとは別に、認可外保育施設が認可保育所、あるいは認定子ども園となる時に障害となっている事由を診断し、移行計画書策定のための費用などとして、10 億 3400 万円を要求し、保育対策総合支援事業費補助金に盛り込んでいます。

・地域子ども・子育て支援事業の推進について

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、これまで厚生労働省が所管してきた保育所運営費等（27 年度予算としては 1 兆 8126 億円）は、内閣府の子どもための教育・保育給付、地域の子ども・子育て支援事業費として計上。平成 28 年度予算においては、消費税増税分を充てる「社会保障の充実」の経費が不確定のために、拡充分については平成 27 年度予算額をベースに要求しています。

■その他の保育の推進

・OECD の ECEC Network への参加事業として 2700 万円を要求。OECD が計画している保育者などに対する調査に参加し、保育・幼児教育の質向上のための政策立案に資するデータを収集する。

・保育所等における重大事故の再発防止のため、事故情報の集約や事後検証を実施するための費用として 500 万円（前年度と同額）を要求しています。

・子育て分野の新たな担い手である「子育て支援員」の研修費用としては、前年度とほぼ同額の 6 億 5400 万円を要求しています。無資格者でも意欲のある人が活躍できるよう、必要な研修を受講した人を「子育て支援員」として認定するものです。

平成27年度「菩提樹学園運営委員会」開催

平成27年11月9日／日仏保事務局

公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は11月9日、当協会本部事務局において「インド菩提樹学園運営委員会」を開催しました。公益財団法人国際仏教興隆協会の巖谷正勝教育部長、同多田証子教育副部長のお二人から、現地の子どもたちや教諭の状況はじめ、運営費、人事問題などの詳細が報告されたあと、資料に添って今後の運営課題等について協議しました（日仏保からの参加者は下記の通り）。

■会計総経費について

総経費の55・51%を給与で占めている。職員は総勢12人。日本円で3,766,878円（1,993,057Rs）となっている。インドでは物価が年々上昇を続けていて、5年ほど前にベースアップを行ってから据え置いてきたが、現状の物価上昇を考慮してこの4月からアップした。

次いで食糧費の占める割合が14・10%は至当と思われるが、水道光熱費が8・89%と3位を占めている。これは燃料となる「まき」の調達が容易では無くなり、高値をよんでいることに起因している。ガスの設置も考慮はしてみたが、設置に伴う費用が高く、「まき」利用を継続することにした。

年に一度バスで映画鑑賞するのが子どもたちの楽しみの一

つ。旅費交通費7・03%にはその費用やブツダガヤへの送迎バス等も含まれている。あとの項目は物価高に応じてアップしてはいるが内容は従来どおりの継続である。

■事務報告について

①歌の先生 ビジャイ・クマール氏がB型肝炎のため、療養しながら授業を進めている。授業のある日でも幼稚園に来られない場合もあるようだが、日本の音階やリズムなどを短期間で体得する努力家であり、人柄は温厚。また、彼に代わる人材も見つからないこともあって、暫く解雇しないで様子を見ることにしている。

②浄土真宗本願寺派・安芸教区の戦後70周年企画である「非戦・平和を願って70年」の取り組みの一つ「PEACE折り紙で『折り鶴をつくらうー』」に参加させていただいた。
「平和」という位置付けが、日本とは少し違うようなので、どう伝えれば良いかを、マネージャーやソバ先生らとディス

カッションをした。そして、「お友だちと毎日遊ぶことができること。勉強ができること」が平和だと子どもたちに話をし、そんな平和を願って「千羽鶴」を折るのだと話をし、皆で折り鶴を折った。1個折るのに30分かかかる子もいたが、何とか一人が2個折ることができた。また、折り鶴作りを通して先生たちの「子どもたちに指導できるレベル」を確認する良い機会にもなった。

■勉強について

計算の授業の場合、実施日数は11日。数字の1から100、100から1を正しく読んで書く。101から200、200から101を正しく読んで書く。また、インド数字1から20までの読み書きや、数字1から100までの数の前後と間の認識と数の大小の比較。足し算、引き算の復習などの勉強をする。ヒンディー語で1から50まで正しく読んで書くことも覚える。

2015年
3月のまとめ

・暑くも寒くもなく、過ごしやすい気候である。当地では結婚式のシーズンでもある。しかし、子どもたちの何人かが病気になる。傷(皮膚病)、咳(風邪)、

をはじめ、熱、頭痛、下痢などの症状である。

・卒園式を終えた3月25日、年長の子ども10人(両親も同行)がS・T・M・G・English Medium School(有名校)の入學試験を受けに行き、全員がクラス1に入學できた。このS・T・M・G(小学校)は授業料が高いことでも知られていて、貧しい家庭の多い菩提樹学園から入學する子どもは少ない。しかし、学校側から菩提樹学園の子どもは入學金の免除と毎月の授業料は半額という有り難い話をいただき、10人が受験し全員が無事入學できたのである。

この他、園児数(現・212人)はじめ、体重測定、虫下し、お誕生会、出席優良児へのご褒美等々多岐にわたり報告があり、それらを基に見直しの留意点や課題、教材等の支援などについて協議が行われました。

■日仏保からの出席者

- 緑谷一雄 理事長
- 高山久照 副理事長
- 古屋吉雄 常任理事
- 高輪真澄 常任理事
- 麻布恒子 常任理事





曹洞宗総合研究センター

「第17回学術大会」より

平成 27 年 10 月 28 日～29 日／曹洞宗檀信徒会館

10月28～29の両日、曹洞宗檀信徒会館に於いて曹洞宗恒例の標記大会が開催されました。会は第1部会と第2部会に分かれ、30名余の先生方が日頃の研究の成果を発表されました。本欄では当協会講師としてもご指導いただいている佐藤達全先生の研究発表（要旨）をお伝えします。

研究発表

「短大生の宗教意識と仏教教育」

～生命尊重の心を育むために～

佐藤達全（育英短期大学教授／日仏講師）

発表の目的

近年、いとも簡単に他人の生命を傷つけ、奪う事件が多発している。しかも「人を殺してみたかった」と、さらりと動機を語るケースもある。一方、小学生の間で「人が死んでも生き返る」という意識が20年ほど前から広がっていることが指摘されるようになった。これは、「現代社会では『いのち』の本来の姿が分からなくなったことを意味しているのではないか。「生命を大切に」は何よりも優先すべき命題のハズ。生命尊重の心を育てるには乳

幼児期や児童期の保育・教育の影響が大きいと考えられる。そこで「天上天下唯我独尊」や「諸行無常」「諸法無我」の視点から人間の存在を説いている仏教の生命観を学ぶのが効果的と考える。その第一歩として、定型化された教義を説明するだけではなく、日本人の日常生活や価値観の根底に仏教の教えがどれほど広く根を下ろしているかを理解してもらおうと試みたのが本発表である。

(1) 日本人は

「自分は無宗教だ」

と思っている人が多い

(2) 講義を受ける前の

宗教に対する意識

(鶴見大学の場合)

・「仏教保育」に対する受講前の意識（保育科の学生）

- ① 仏教に興味がなかったのやりたくなかった。
- ② なぜ仏教保育を勉強しなくてはならないのか疑問に思った。
- ③ 仏教が保育に必要なのか疑問だ。
- ④ 保育者（幼稚園・保育所）

- ① 宗教学という授業があることを知って驚いた。
- ② 歯科衛生科の学生になぜ宗教学が必修なのか疑問に思った。
- ③ 難しそうで、面倒で、最悪だと思った。重苦しくて嫌だった。
- ④ 宗教は怖いものだと思っっている（以下略）。

(3) 講義を行なうにあたって配慮していること

- 1、〈仏教保育〉の授業では、「保育の目指すもの」と「仏教の目指すもの」を対比させながら、両者を結び付けるキーワードとして『いのち』を設定している。保育という営みには『いのち』の「保護」と「教育」の二つの内容が含まれていることを説明する。保護する理由としてポルトマン（スイスの生物学者）の「人間は生理的な早産である」という指摘を紹介して、極めて未熟な状態で誕生する乳幼児にとっては、かなり長期間にわたる保護が不可欠なことを理解してもらおう（以下略）。

- 2、歯科衛生科においても「宗教学」は必修である。保育科以上に授業展開の難しさが予想される。理由は、歯科衛生学科の学生にとっては「宗教学」を学ぶ必然性が明確でないで状況が異なってくる。そのため日常生活に対して宗教がどのような意味を持っているかをより丁寧に説明し、理解を深めるようにしなくてはならない。そこで、次の4点に配慮した。
- ① 信仰を強要するものではない。
- ② 宗教に関する基礎的な知識が日常生活には必要であること。
- ③ 講義では、宗教の善し悪しを価値判断しない姿勢を貫くこと。
- ④ 似非宗教に惑わされないためには宗教に関する客観的な知識が必要であること。

先生は、「この授業を受けて良かった」と多くの感想が寄せられたことを述べ、初めは否定的に考えていた宗教や仏教に対して、15回の講義が終わる頃には殆どの学生が肯定的に受けとめるようになった。信仰を押し付けられないこと、日常生活との関連性を示しながら講義を進めていったことへの配慮が影響したと思っっていると、発表を締め括られました。

事務局日誌

10 / 8

「仏カリ」「仏教保育」編集会議
事務局会議

『お寺』は、ご先祖や地域の信仰・文化を繋ぐ!!

過日、新聞の1面に「うちのお寺、住職いない」と、住職不在のお寺が大見出しで記されていた。件のお寺は、琵琶湖の北東にある天台真盛宗の知善院。豊臣秀吉が長浜城を築いた際に鬼門よけとして移築したもので、山門は城の門を移したとされており、祀られている十一面観音像は国の重要文化財に指定されている。そんな歴史を誇るお寺だが、20年ほど前にご住職が亡くなられて以来、無住寺のままだという。今も数十世帯の檀家があり、葬儀や法要があれば兼務する近くのお寺の住職が駆けつけて執り行っているのだそうだ。現在、兼務あるいは無住寺の数は1万2千余寺もあるという。

過疎・高齢化は、かつて地域の信仰や文化を支えてきたお寺の屋台骨も揺るがしている。檀家の減少、住職の後継者不足がそれに拍車をかけている。寺の消滅は檀家にとって先祖代々の墓の維持・葬儀・法要など託す先や、お盆とか彼岸など伝統行事の喪失に繋がり、地域の人たちの繋がりも消える。仏教界にとっても大きな問題である。

そこで「寺を守ろう」とあの手この手で、その消滅を食い止めようとする試みが各地で相次いでいる。檀家や信徒が遠隔地であれば、出張法要も辞さない。団塊の世代を中心とした定年退職者を無住寺の住職になつてもらおうという試みもある。これまでに60〜70代の20人以上が出家したという。

住職を世襲する制度の見直しを提訴する宗教社会学者もおられるそうだ。地域の信仰・文化を繋ぐため、智慧と労力を惜しんではいられまい。

編集後記

■11月8日は「立冬」です。「立」には、新しい季節になるという意味が込められており、暦の上ではこの日を境に冬が始まります。実際、朝夕の風に初冬の冷え込みが感じられるものもこの頃からです。また、11月は紅葉の美しい季節でもあり、紅葉自慢の地域では、「紅葉狩り」への趣向を凝らして誘います。紅葉の名所を訪れて喧騒と無縁の空間で心静かに鑑賞する、そんなゆとりを持ちたくなるのも晩秋のなせる心のささやかな耀きかも知れませんが、タブレット端末を使った教育が幼稚園や保育所で少しずつ広がっています。Padを使って「創造力」や「チームワーク」の育成に取り組んでいる園もちらほらと見かけます。しかし、依存・睡眠など心配する親ごさんもいます。幼稚園教育要領の解説では「幼児期に新しい世界を開き、生活を豊かにするが、一方で心身の健やかな育ちに少なからず好ましくない影響を与えることもある」と指摘しています。きれいな動画でお絵かきなどの意欲アップを図るのも分かりますが、こうしたメディアが子どもたちに慢性疲労を引き起こし、不幸な事件にエスカレートするケースも増えていると警鐘を鳴らすドクターもいます。■『過ぎたるは及ばざるが如し』と先人の教えもあります。楽しみも、ほどほどに。そんな心境になるのも初冬の冷え込みのせいでしょうか。(O・I)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版



仏教保育

12
Dec.

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけ の心

第34回全国仏教保育福島大会

大会テーマ 「合掌の姿に花は咲く」

～被災地“ふくしま”で学ぶ生命尊重の保育～

大会基調

平成23(2011)年3月11日に発生した東日本大震災から5年、被災地では未だに被害の影響が大きく残っています。特に福島県では東京電力福島第一原発事故により、故郷を追われた10万人以上の人たちが避難生活を余儀なくされています。更には放射能に汚染された環境の回復、風評被害の阻止など、解決しなければならぬ課題が山積し、復興への道のりは長く続きます。



会場：ホテルハマツ

その後も全国各地で自然災害が多発し、いのちの尊さや防災への関心が高まっている今、第34回仏教保育大会をここ福島県で開催致します。

東日本大震災の経験から、世界中で起きている自然災害、大気汚染、地球温暖化等、切実な環境問題に改めて気付かされました。快適さや便利さを追求する社会から脱却し、未来を育む子どもたちが笑顔で生きていける社会、いのちを大切にできる社会を築いていくことの重要さと、生命尊重の保育の必要性を改めて痛感致しました。

現代に欠如しているとされる人間本来の生き方である「向き合う・寄り添う・支え合う」という教えも既に仏教保育の中に凝縮されていて、長い間各園で実践されてまいりました。

第34回全国仏教保育福島大会では被災地を訪ねて問題点を探りながら、改めて仏教保育の在り方を学び、実践に生かそうではありませんか。

そして、私たちの合わせた掌の中に、ほとけの花を咲かせましょう。



公益社団法人日本仏教保育協会
 本大会は毎回全国から大勢の
 会（緑谷一雄理事長）が隔年ご
 仏教保育者が集い保育の質向上
 とに開催する「第34回全国仏教
 を目指す研鑽の貴重な場となっ
 ています。また、志を同じくす
 保育福島大会」（大会実行委員
 長・吉岡棟憲）福島ルンビーニ
 る人との交流を深める機会とし
 ても有意義な大会です。大会
 幼稚園）は、半年後に迫りまし
 テーマ、日程等は記載のとおり
 た。

日時 平成28年7月30日(土)・31日(日)
会場 ホテルハマツ (福島県郡山市)
主催 公益社団法人日本仏教保育協会
実施 第34回全国仏教保育福島大会
実行委員会

講演

《講師》

大井千加子氏 (特別養護老人ホーム

「なごみの郷」元職員)

《演題》

「被災地の復興状況と課題」

福島原子力発電所から30km圏内の真実

〜私は何を守れたのか〜

シンポジウム

テーマ 「現代に生きる仏教」

《シンポジスト》

星野英紀氏 (宗教学者・大正大学名誉教授)

千葉公慈氏 (駒沢女子大学教授)

戸田了達氏 (妙福寺保育園園長)

《コーディネーター》

高木正尊氏 (成田保育園園長)

です。開催地福島では今、大会
 実行委員長を中心にスタッフの
 先生方が一丸となって準備を進
 んでいます。
 講演をはじめ、シンポジウム
 にご登壇頂く先生方も決定しま
 した。
 ここで、講師の活動・お人柄
 などご紹介しましょう。

■講演

講師を務められる大井千加
 子氏は、東日本大震災発生当
 時は南相馬市にある介護老人保
 健施設の入所棟介護長を務めて
 いました。
 大津波警報発令を聞いた大井
 先生は施設に利用者40〜50人が
 残っていることを確認すると職
 員に救助指令を出し陣頭指揮に
 当たると共に、目前に迫る激流
 のような大津波にも自らの危険
 を顧みず、うめく利用者を助け
 出すなどの活動を続けました。
 雪が舞い、風が冷たさを増す中
 での救助だったと言います。そ
 の後、災害の怖さ、命の尊さを
 説いて全国を講演しておられま
 す。体験した人にしか語れない
 リアルで迫力あるお話は、涙な
 くして聞けないと思います。

■シンポジスト

●星野英紀氏は、日本の宗教

学者として遍く知られていま
 す。宗教学・宗教人類学者
 としての功績は大きく、「四国
 遍路の宗教学的研究、その構造
 と近現代の展開」の論文は高く
 評価されています。元大正大学
 学長、日本宗教学会会長、国際
 宗教研究所所長等を歴任し、原
 発事故被災地寺院の調査研究を
 されている星野氏のお話は聴き
 応えのある内容でしょう。

●千葉公慈氏は、駒沢女子
 大学でも明朗闊達な講義で人
 気があるようですが、千葉氏
 にはもう一つの顔があります。
 2015年3月からテレビ放送
 され、4月から「ゴールデンア
 ワータイムになった「ぶつちや
 け寺」(テレビ朝日系)にレギュ
 ラー出演され、当意即妙な会話
 で人気を博しています。ご専門
 は日本文化学で、フジテレビな
 どゲスト出演も多く、先生の屈
 託のない笑顔で語る話は聴き逃
 せないようです。

●戸田了達氏は、日蓮宗西中
 山妙福寺のご住職で、保育園(妙
 福寺保育園)の園長先生でもあ
 ります。「ありがとうは有るこ
 とが難しい」という意味で、人と
 して生きている感謝が込められ
 ています。生まれ生きているこ
 と自体が特別なことです」が持
 論で、ご住職としても説いてお

られます。また、「人に迷惑を
 かけない」ということについて
 は、「人に迷惑をかけながらし
 か生きられない。生かされてい
 る自分に気付こう」と常に語り
 かけます。ご自分の保育園でも、
 子どもたちのお父さん・お兄さ
 んのように慕われています。

●コーディネーター役を務めら
 れる高木正尊氏は、成田市で
 成田保育園の園長をされていま
 す。平成16年1月から、県内曹
 洞宗の若手僧侶を中心に「若手
 僧侶ら電話相談」を開設し、こ
 れまで多くの相談に応じ、悩み
 を説いてこられました。開設当
 初のキャッチフレーズは「青少
 年よ生命を大切に、若手僧侶ら
 電話相談。その名も「てるてる
 ぼうず」。少年の自殺、犯罪の
 凶悪化に歯止めをかけようとい
 うのが開設の動機だそうです。
 布教は一切せず、聞き役に徹す
 るのが基本とか。「悩みを声に
 して人に話せば、安心できるこ
 ともある」が、合言葉だそうです。

高木氏の絶妙なバトンタッチ
 から、どのような話が引き出さ
 れるのか。楽しみなシンポジウ
 ムになりそうです。
皆さん!
来夏は福島で
お会いしましょう!!



分科会

大枠が決定しました。内容については、担当部署の諸先生はじめ講師の先生方と協議を重ねながら、より充実を図るため精査に当たっています。

第1分科会 (仏教保育)

テーマ **生命尊重の保育を学ぶ**
内容 何気なく使っている「生命尊重」という言葉、日々の保育における「いのち」について考える。
講師 安藤和彦 (京都文教短期大学教授)

第2分科会 (仏教行事)

テーマ **日常の保育の中の仏教の教えとは**
内容 仏教保育の中の教えを知って、普段の保育に仏教的感性を生かそう。
講師 戸田了達 (妙福寺保育園園長・東京) 富岡量秀 (大谷大学短期大学部准教授)

第3分科会 (新システム)

テーマ **新制度で仏教保育を生かすには**
内容 いよいよスタートした子ども子育ての新制度。今後の仏教保育にこのシステムをいかに生かすかを考える。
講師 若盛正城 (認定こども園こども園長)

第4分科会 (人間関係カウンセリング)

テーマ **「生きる力」「物語る力」を育てる**
内容 生きづらさが増し、対立点の表面化を避ける・無関心を装う傾向が強まっている。今こそ、物語る力・自己肯定感・レジリエンス(逆境から立ち上がる力)・主体的に生きる力を育みたい。
講師 吉田博子 (京都華頂大学教授)

第5分科会 (食育)

テーマ **子どもの食から学ぶ「いのち」を生かす保育**
内容 食事から学ぶ「いのち」は仏教保育の原点。幼児にわかりやすく指導するための保育のあり方を学ぶ。
講師 佐藤達全 (育英短期大学教授)

第6分科会 (特別支援)

テーマ **障がい児に対する指導と支援**
内容 保育現場における、知的障がい児、及び発達障がい児への指導と支援について学ぶ。
講師 阿部芳久 (東北福祉大学教授)

第7分科会 (音楽)

テーマ **保育に生かそう仏教賛歌**
内容 仏教賛歌に込められた思いや願いを知り、日常の保育に生かすことを学ぶ。
講師 伊藤 繁 (武蔵野大学教授)

第8分科会 (造形)

テーマ **造形の楽しさと知っておくべきこと**
内容 子どもは遊びの天才。同時にもの作りの発明王。造形の楽しさを教えるための方法とは。
講師 鮫島良一 (鶴見大学短期大学部講師)

第9分科会 (2歳児保育)

テーマ **2歳児保育の意味と実際**
内容 満3歳児入園では遅すぎる。今や2歳児確保に奔走。2歳児保育のあり方を考える。
講師 守 巧 (東京家政大学講師)

第10分科会 (防災と危機管理)

テーマ **東日本大震災で学んだ危機管理と復興**
内容 大震災で起きた園児死亡事故の賠償命令の実例から防災の重要性と危機管理を学ぶ。
講師 小田隆史 (宮城教育大学特任准教授)

第11分科会 (フィールドワーク)

テーマ **原発事故被災地フィールドワークバスツアー**
内容 原発事故から間もなく5年。未だに帰還できない地域を視察し、生命の尊厳について学ぶ。
講師 松本静男 (双葉郡葛尾村議会議員) 長谷川健一 (飯館村酪農家) 菅野清一 (川俣町議会議員)

平成 27 年度 「菩提樹学園・現地からの報告」

去る 11 月 9 日、公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は当協会本部事務局において、公益財団法人国際仏教興隆協会の巖谷正勝教育部長、同多田証子教育副部長のお二人から現地の運営費・人事問題などの詳細報告を基に「インド菩提樹学園運営委員会」を開催したことは既報（11/1 号・No 619）のとおりです。

本号では、菩提樹学園で学ぶ子どもたちの状況、クラスごとの活動等についてご報告（一部）します。

■ 2015 年 8 月現在の園児数・体重測定等について

●園児数は昨年 9 月に比べ、ベラ組とジューヒー組が 1 名減少し、210 名となっております。

●平均体重は 1 年前（2014 年 9 月）に比べて横ばい、やや減少のクラスもありますが、子どもたちはとても元気で遊びや勉強を楽しんでいるそうです。

【*「園児数」と「体重測定」の表は下記参照】

■ 「インド独立記念日」と「ラグシャバンダン」の集いに参加

●毎年 8 月 15 日はインドの「独立記念日」です。暑い日でしたが、子どもたちは式典に参加できるのが嬉しくて元気に登園し



てきました。式典が終わると子どもたちにお菓子が配られ、ロータリークラブから、ノートや鉛筆、消しゴムに鉛筆削りがプレゼントされました。子どもたちは、贈り物を抱えて笑顔で帰りました。卒園児たちも参加し、彼らにも「ジレビ」というお菓子が配られました。（写真は右下）

●「ラクシャバンダン」の集いは 8 月 28 日に行われ、男女合わせて 210 名が参加しました。ラクシャバンダンとは、男の子の兄弟に対して女の子の姉妹が健康や長生きを願う、男の子の兄弟は姉妹に対して安心して過ごせるように守っていくことを



約束する、という大切な行事だそうです。子どもたちは、そんなお話など聞いたあと、「ティカ」をして、女の子が男の子の腕に紐を結ぶと、男の子は女の子に真珠のネックレスをかけてあげました。みんなの笑顔がとても幸せそうでした。

この他、健康診断、お誕生会、保護者会など、いろいろな行事が行われています。毎月の「出席優良児へのご褒美」をもちょうの子どもたちの目標の一

園児数（2015 年 8 月）

クラス	数	担任	
カマル組	36 名	スマン先生	トタ組、計算の授業 A：ニーリマ先生
パンカジ組	36 名	ジャンティ先生	
クラブ組	35 名	カンチャン先生	養護、備品管理、フリー教諭： プリティー先生・グリヤ先生
チャンパー組	35 名	バビタ先生	
ベラ組	34 名	シュウエタ先生	英語、計算の授業 B：シュブ・クマール
ジューヒー組	34 名	ルパ先生	
合計	210 名		歌の教室：ビジャイ・クマール

つ。出席率はとても良好です。2015 年 8 月 31 日は下表の通りです。【*「出席優良児へのご褒美」の表は下記参照】

体重測定

実施	クラス	実施数	平均
2015 年 7 月 3 日	カマル組	36 名	13.6kg
2015 年 7 月 3 日	パンカジ組	36 名	13.5kg
2015 年 7 月 6 日	クラブ組	35 名	14.9kg
2015 年 7 月 6 日	チャンパー組	35 名	15.4kg
2015 年 7 月 16 日	ベラ組	34 名	17.1kg
2015 年 7 月 16 日	ジューヒー組	34 名	16.5kg

出席優良児へのご褒美（2015 年 8 月 31 日）

クラス	欠席の少なかった子ども	1 日も休まなかった子ども
カマル組	3 名	28 名
パンカジ組	2 名	30 名
クラブ組	3 名	33 名
チャンパー組	3 名	31 名
ベラ組	3 名	30 名
ジューヒー組	3 名	32 名
合計	17 名	184 名



「日本仏教教育学会・第24回学術大会」

平成27年11月13日〜14日／松江アーバンホテル・中村元記念館

11月13〜14の両日、松江アーバンホテル（理事会・編集委員会並びに中村元記念館（常任理事会・シンポジウム・研究発表）を会場に、標記大会が開催されました。

この催しは1992年に大正大学でスタートし、北海道から九州まで持ち回りで開催され、今回は島根県松江市で実施されました。本大会は、教育に携わる先生が日頃の研究・実践の成果を持ち寄り、仏教教育の今日的課題や役割などについて議論を交わしながら学びを深めることを目的としています。

今回は高山潤照先生（東京・寿福寺幼稚園園長）が参加され、会の概要を報告してくださいました。

因みに、次回「第25回学術大会」は愛知学院大学（名城公園キャンパス）を会場に平成28年12月3日（土）に開催の予定です。

研究発表・概要

開会式のあと、9時30分から研究発表が行われ、今回は5人の先生が発表されました。

1、「天台智顛の

四悉檀解釈について」

山口弘江先生（駒沢大学）

「天台教学の主たる教義は、実践論では「三観」、教判説である「四教」が知られているが、本発表では「四悉檀」を取り上げたい。「四悉檀」は三観や四

教を生み出す元として重視された概念であり、先学がその意義を論じてきた教義である」

冒頭、先生はこう述べられて中国の「大智度論」天台宗の「智顛」、同時代に名を馳せた地論宗の慧遠や三論宗の吉蔵らの「四悉檀」の解釈について触れられた。この「四悉檀」解釈に関連して考察する宗典ともいえる『妙法蓮華経玄義』と対比してゆくことで、智顛の化導者としての姿を見出し、話されたい。

2、「北原白秋と法華信仰」

長倉信祐先生

（日蓮正宗教学研鑽所）

北原家は福岡県柳川の浄土宗専念寺を菩提寺としたが、家長の長太郎は度重なる妻子との愛別離苦により黒住教を経て金光教に入信した。長倉先生は北原家の宗教遍歴から話を進められ、白秋は日蓮宗に結縁したが、妻子の入信は確認できていない。ただ、白秋の逝去後に北

原家を目黒妙心寺に信仰継承を任じたことが近年の資料精査で判明したと語り、北原家の縁者による名古屋での論法や『法華』

や『国柱新聞』等の誌上対論の背景などをとくに再考を要したと話されました。

その他に、

3、「武道と日常生活としての修行」

（高平健司先生・筑波大学大学院）

4、「道徳教育における生命や自然、崇高なものとの関わり」

（小池孝範先生・秋田大学）

5、「農繁託児所と仏教保育」

（森本利夫・関西保育福祉専門学校）

の先生方から順次発表があり、総括質疑がありました。昼食後、「中村元博士と教育」のテーマでシンポジウムが行われ、基調講演では丸井浩先生（財・中村元東方研究所常務理事・東京大学大学院）による「世界平和への希求」。

報告①「中村元博士と児童教育」矢島道彦先生（日本仏教教育学会／駒沢大学）

報告②「慈しみの思想家・中村元博士と記念館教育事業」

そして「会員総会」「記念写真撮影」を終えて、「由志園」に会場を移し懇親会。和やかな懇親風景が見られました。





第11回理事会・第8回運営審議委員会

平成28年1月20日(木)

- ・受付 14時～14時30分
- ・議事 14時30分～16時
- ・議題
 - 平成27年度補正予算(案)
 - 平成28年度事業計画(案)
 - 平成28年度収支予算(案)
- ・会場 増上寺光摂殿

平成27年度第2回仏教保育研修会

- 受付 15時30分～16時 研修会 16時～17時30分
- 講師 柏女霊峰先生(淑徳大学総合福祉学部教授)
- テーマ 「子ども・子育て支援制度と保育」
- 参加費 無料

《新年懇親会》

- 受付 17時30分～18時
- 懇親会 18時～20時
- 会場 ザ・プリンスパークタワー東京
地下2階「ボールルームAB」

養成機関連絡協議会

- 平成28年2月22日(月)
- 会場 芝パークホテル別館2階「アイリス・アゼリア」
- 協議会 16時～17時30分
- テーマ 「仏教保育をいかに現代に生かすか」
- 懇親会 18時～20時
- ―養成・就職・現場 それぞれの立場で―

募 集 要 項

第8回 仏教保育精励賞	第14回 古屋賞	第19回 持田賞
<p>「仏教保育精励賞」は、保育の現場において仏教保育に功労のあった保育者を顕彰するもので、隔年ごとに開催する全国仏教保育大会・全体会(式典)で授与します。この賞は平成14年に設定し、これまで58名が受賞されています。来夏開催の「第34回全国仏教保育福島大会」においても「仏教保育精励賞」の対象となる保育者を募集しています。</p> <p>1. 対象 保育現場において仏教保育に功労のあった保育者</p> <p>2. 応募要領 ① 申請の際は日仏保事務局にご連絡下さい。申請用紙を送付いたします。申請用紙に必要事項を記入の上、申請料を添え、現金書留にて送付下さい。</p> <p>② 申請料 2万円</p> <p>③ 締切り 平成28年6月末日</p>	<p>1. 趣旨 元理事長・古屋道雄先生の、戦後ににおける日仏保再発足とその整備拡充に尽くされた業績を偲び、各地域支部並びに団体、個人の幼児保育に関する実践的な研究活動及び運営について功績が認められる者を顕彰し、もってわが国における仏教保育の振興、支部活動の活性化を図る。</p> <p>2. 対象 当協会加盟の支部または会員及び仏教保育を研究推進する団体。</p> <p>3. 応募要領 ① 推進活動を記録集文した原稿、実績資料を提出。資料に団体名(代表名または個人名)所在地、電話番号を添付する。</p> <p>② 締切り 平成28年5月末日</p>	<p>1. 趣旨 当協会の理論的指導者・故持田栄一東大教授の業績を偲び、仏教保育の理論及び実践に関する優れた研究を顕彰し、もって仏教保育の振興充実に資する。</p> <p>2. 対象 当協会加盟の幼稚園・保育所の教職員または仏教保育研究者。共同研究・個人研究。</p> <p>3. 内容 ① 将来を展望した幼児教育に関する研究 ② 生命尊重の保育に関する研究 ③ 保育制度対策に関する提言 ④ その他</p> <p>4. 応募要領 ① 4000字詰め原稿用紙10枚か15枚程度。原稿に団体名(または施設名)所在地、電話番号、代表者(または個人)氏名を記入した応募票を添付する。</p> <p>② 締切り 平成28年5月末日</p>
<p>送り先 公益社団法人 日本仏教保育協会 〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 TEL 03(3431)7475 FAX 03(3431)1519</p>		



事務局日誌

- 11/6 「ほとけの子」座談会
- 11/9 「仏カリ」 「仏教保育」編集会議
事務局会議
- 11/18 「ほとけの子」企画会議
- 11/25 「仏教保育カリキュラム」企画会議

梵鐘の音を聴きながら、一年を省みる夜に

紅白歌合戦の終章で奏でる「蛍の光」の歌声が静かに流れ去っていくと、聖なる鐘の音が北から南から響きわたってきます。NHK「ゆく年くる年」でお馴染みの除夜の音です。

ご存知のとおり、除夜の鐘の突く回数には108回。由来は108の煩惱を消除する、四苦八苦の苦しみを除く(4×9+8×9=108)、一年を表す12カ月と24節季に72候を合わせ一年の安寧を願う、といった諸説があります。数え方にも異説があるようですが、何れにせよ、煩惱の多いことから108で示したものと考えられています。

仏教では迷いの大きな要素として「三毒煩惱」を説きます。

【貪欲】 現状に満足できない欲の深い心。

【瞋恚(しんに)】 自分への考えを相容れない者に腹を立てる。

【愚癡(ぐち)】 頭では理解できても心が受け付けない。

この三つです。

これらの煩惱は、誰もが多少は持っています。改めようと思っても、なかなかコントロール出来るものではありません。鐘の音は「梵天の声」。つまり、仏さまの清らかな声ということです。

「ゆく年を省み、迎える年に幸あれ」と仏さまが説法されているような除夜の鐘の響きを聴きながら、清らかな心で新年を迎えようではありませんか。

編集後記

■平成27年も残りわずかになりました。12月になると、その年の10大ニュースが話題になります。嬉しい出来事、悲しい事件もあります。許せない凶悪な事件、乳幼児の虐待事件なども後を絶ちません。人それぞれに悲喜交々の一年だったと思います。そして、来年こそはと心新たに歩き出します。年が変わると「初詣」に繰り出します。神社・仏閣は善男善女で賑わい、願い事を祈った後「おみくじ」売り場に立ち寄って一喜一憂する、そんな光景が日本の年始の光景のようです。■「おみくじ」の話題が出たところで、その蘊蓄(うんちく)を少々ご披露しましょう。「おみくじ」の起源は、江戸時代天台宗・天台僧正が広めた「元參大師御籤(がんさんだいしきくじ)」が始まりです。武士・町人が人生の岐路に立った時に神仏に答えをもらうものでした。神社のおみくじには和歌、お寺のおみくじには漢詩が書いてあり、不思議とその人の悩みにぴったりの「アドバイス」になっていたと言います。例えば、大凶でも「陰極まれれば陽に転ず」と書かれていて、落ち込まないように励ましが書かれています。■おみくじには九つのパターンがあります。「大吉・吉・中吉・小吉・半吉・末吉・末小吉・凶・大凶」。「おみくじ」の研究者によれば、実は「末吉」が一番良いのだそうです。近い将来運気上々との意が込められているとのこと。■「おみくじ」を120%楽しんでより良い一年にしましょう。(O・I)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホムベ-ジ http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

1

Jan.

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけの 心の心

新春のごあいさつ

公益社団法人日本仏教保育協会 理事長 緑谷一雄



平成28年が皆様にも更なる飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げます。

安心・安寧を祈ります

世界が驚愕した東日本大震災から5年目の年が明けました。「一日も速い復興・復旧を目指す」ことを目的とした復興資金・復興特別税などの施策を打ち出し、国を挙げて漕ぎ出しました。時の経過と共に日常を取り戻した方もおられますが、今なお多くの方々が復興の長い道のりに、覚悟新たに頑張り続けていくのが現状です。未だ倒壊したままのビルや瓦礫から、災害に散らされた人たちの無念が伝わってくる思いがいたしません。被災者の方々の安心と完全な復興による安寧を心から祈って止みません。

福島で被害の現実を体験しましょう

特に福島原発における被害

「子ども・子育て支援」は 何処？

平成27年4月、「子ども・子育て支援新制度」がスタートし

の余殃は長く、5年を経過した今も避難者およそ10万人を数えると言われています。その福島で今夏、すでにご案内のように7月30日(土)・31日(日)の両日、ホテルハマツ(郡山市)を会場に、「第34回全国仏教保育福島大会」が開催されます。大会テーマは「合掌の姿に花は咲く」被災地(ふくしま)で学ぶ生命尊重の保育」です。私たちは被災地における多くの体験から、「向き合う・寄り添う・支え合う」大切さを改めて知りました。福島は、被害の現実を直視し生命尊重の教えを学ぶ正に格好の地となるに違いありません。大勢の先生方の参加を心より願っています。

「体験」から学びましょう

「一字不説」という言葉があります。仏法の真理は奥深く、自ら体験することによってのみ悟ることができるという意味です。お釈迦様でも悟りの境地を言葉で説き尽くすことはできないと言います。

例えば、いま飲んでいるこの「水」の味を説明できますか? 「無味・無臭」では説明になりません。しかし、飲めば分かります。つまり、「体験」することの大切さを仏教は教えています。良い体験、楽しい体験ばかりではありません。辛い体験、苦しい体験・・・、どのような体験でも、人は体験することで大きくなっています。福島でたくさんさんの体験をして欲しいと思います。

私も新しい体験をたくさん重ねたいと思っています。先生方の素晴らしい体験をご祈念すると共に、益々のご繁栄を願って初春のご挨拶いたします。



福島県仏教保育協会設立



第34回全国仏教保育福島大会 (平成28年7月30日・31日)

大会テーマ 「合掌の姿に花は咲く」

被災地(ふくしま)で学ぶ生命尊重の保育

主催：公益社団法人日本仏教保育協会 ■実施：第34回全国仏教保育福島大会実行委員会

第34回全国仏教保育福島大会事務局長 大塚孝明 (梁川保育園・伊達市)

いよいよ本年7月30日(土)・31日(日)に第34回全国仏教保育福島大会が郡山市(ホテルハマツ)にて開催されます。全国から大勢の幼稚園、保育園、認定

こども園等の先生方には是非福島にお越し頂き「福島の大会良かった!素晴らしかった!」と言って頂ける大会にしたいとの思いを胸に準備を進めており

ます。吉岡棟憲大会実行委員長(福島ルンビニー幼稚園)陣頭指揮の下、福島県内の日仏保加盟園の先生方が力を合わせ、福島大会実行委員会を立上げ幾度となく会議を重ねてまいりました。その間、日本仏教保育協会、

で学ぶ生命尊重の保育へととなっております。東日本大震災から間もなく5年を迎えます。岩手県、宮城県、福島県と3県が甚大な被害を受け、特に福島県は巨大地震に伴う津波、そして原発事故による放射能汚染が拡散し、目に見えない放射能との戦いが始まり、現在なお10万を超える人々が全国各地に避難生活をされています。その後福島も

除染が進み、徐々にではありますが元の落ち着いた生活が始まりました。震災当初は暗く笑顔が消えた子どもたちにも今では笑顔が戻り、福島を明るく照らしてくれています。今大会初日の講演は、全国の皆さんに福島の実状をお伝えしたいの思いから、「被災地の復興状況と課題 福島第一原

子力発電所から30km圏内の真実―私は何を守れたのか―」と題して、特別養護老人ホーム『なごみの郷』元職員である大井千加子さんの講演を予定しています。大井さんの勤務していた南相馬市にある老人福祉施設が津波に遭い、施設は全壊、入所者も多数津波で流され、帰らぬ人となりました。大井さん自身も津波で流されながらも奇跡的に助かり、入所者を懸命に救出しました。津波と同時に原発事故が重なる絶望の中、大井さんは入所者と共に各地を転々とし、特養『なごみの郷』に迎え入れられ、生きる希望へとつながりました。家族、職場の仲間、友人に支えられながら、現在は訪問介護の仕事をしています。大井さんは津波で流された入所者のお一人お一人のご冥福を祈りながら、各地で震災当時の悲しみ、苦しみを講演され、聴衆者の涙を誘っています。

東日本大震災以降も全国各地で自然災害が多発しています。災害に遭遇した時にどのように自分自身を守り、人の命を守つたらいいのかを、福島で学んで頂ければ幸いです。大井さんの講演の他にも機関紙「仏教保育12月号」に掲載されているとお

福島県仏教保育協会は発足して間もなく、会員数も十分ではないため、今大会は隣県の栃木県、宮城県の各仏教保育協会の加盟園の先生方の全面的な協力を頂き分科会などの運営を行うこととなりました。心から感謝と御礼を申し上げます。

今回のテーマは「合掌の姿に花は咲く」被災地(ふくしま)



り、シンポジウム・分科会で素晴らしい先生方の講演が予定されています。また特別企画として実施します『原発事故被災地（全村避難の飯館村）、フィールドワークバスツアー』もありますので奮ってご参加ください。

最後に、福島県は観光県でもあり福島の魅力についてお話しします。福島県は温泉王国、秘湯日本一に輝いた温泉もあります。金賞受賞のおいしい地酒に、おいしい郷土料理、ワランク上の高級フルーツ。映画「フラガー

ル」で話題になりましたスパリゾートハワイアンズも皆さんをお待ちしています。会津藩ゆかりの白虎隊、会津若松の名城「鶴ヶ城」、福島が生んだ偉大な野口英世の記念館、喜多方ラーメン等、見どころ食べどころ飲みどころ満載です。大勢の先生方のご来県をお待ちしています。

「向き合う、寄り添う、支えあう」を合言葉に、福島でお会いしましょう！

第34回全国仏教保育福島大会の

意見発表研究園募集!!

応募要領

期日 平成28年7月31日（日）
対象

第5分科会【食育】

テーマ 子どもの食から学ぶ「いのち」をいかす保育

講師 佐藤達全 先生（育英短期大学教授）

第6分科会【特別支援】

テーマ 障がい児に対する指導と支援

講師 阿部芳久 先生（東北福祉大学教授）

募集園数各分科会 2園

※発表方法はお任せ致します。（パワーポイント等使用可）

※発表原稿はAサイズ1枚。時間は15分程度。

※その他、詳細は応募園に対し本部事務局よりご連絡致します。

※お問い合わせは本部事務局へ

TEL 03 (3431) 7475

応募先

公益社団法人 日本仏教保育協会事務局

（園名・代表者名・所在地・電話番号・希望分科会を記入した用紙をFAXしてください）

FAX 03 (3431) 1519

NEW 涅槃会のおみやげに

ねはんえラムネ

商品番号 824621

7大アレルギー原料不使用 つかっていません!

1袋 税込 205円

※1セット 50袋入り

1袋内容量

- ・ラムネ 15g (サイダー味/小粒で口溶けの良いタイプ)
- ・OPP袋入り (たて16×よこ11cm)

ねはんえカード 立てて飾れる「ねはんえカード」入り! 分かりやすい「ねはん」の解説がついています

カードサイズ: たて11.5×よこ7.5cm (公社)日本仏教保育協会 監修

※こどもたちの食物アレルギーに配慮して7大アレルギー原料を使っています。

すずき出版



お知らせ

◆ 関西地区連絡協議会 ◆

日時 平成 28 年 2 月 4 日 (木)
 会場 ホテルグランヴィア京都 3 階「今昔の間」
 報告会 15:30 ～ 16:30
 平成 27 年度補正予算 平成 28 年度事業計画
 平成 28 年度収支予算
 懇親会 17:00 ～ 19:00

第 19 回 持田賞

1. 趣旨

当協会の理論的指導者・故持田栄一東大教授の業績を偲び、仏教保育の理論及び実践に関する優れた研究を顕彰し、もって仏教保育の振興充実に資する。

2. 対象

当協会加盟の幼稚園・保育所の教職員または仏教保育研究者。共同研究・個人研究。

3. 内容

- ① 将来を展望した幼児教育に関する研究
- ② 生命尊重の保育に関する研究
- ③ 保育制度対策に関する提言
- ④ その他

4. 応募要領

- ① 400 字詰め原稿用紙 10 枚か 15 枚程度。原稿に団体名（または施設名）所在地、電話番号、代表者（または個人）氏名を記入した応募票を添付する。
- ② 締切り 平成 28 年 5 月末日

募集

◆ 養成機関連絡協議会 ◆

日時 平成 28 年 2 月 22 日 (月)
 会場 芝パークホテル 別館 2 階「アイリス・アゼリア」
 協議会 16:00 ～ 17:30
 テーマ 「仏教保育をいかに現代に生かすか」
 ↳ 養成・就職・現場それぞれの立場で
 懇親会 18:00 ～ 20:00

第 14 回 古屋賞

1. 趣旨

元理事長・古屋道雄先生の、戦後における日仏保再発足とその整備拡充に尽くされた業績を偲び、各地域支部並びに団体、個人の幼児保育に関する実践的な研究活動及び運営について功績が認められる者を顕彰し、もってわが国における仏教保育の振興、支部活動の活性化を図る。

2. 対象

当協会加盟の支部または会員及び仏教保育を研究推進する団体。

3. 応募要領

- ① 推進活動を記録集文した原稿、実績資料を提出。資料に団体名（代表名または個人名）所在地、電話番号を添付する。
- ② 締切り 平成 28 年 5 月末日

送り先

公益社団法人日本仏教保育協会

〒 105 - 0011 東京都港区芝公園 4 - 7 - 4 明照会館

TEL 03-3431-7475

FAX 03-3431-1519

平成27年度

「菩提樹学園・現地からの報告」

Part 2

先号(12月号/No.620)に続いて、インド菩提樹学園で学び・遊ぶ子どもたちの様子を報告します。(2015年 事務報告より抜粋)



2015年1月20日、世界遺産コンサートに参加



2015年3月24日、卒園式が行われました



卒園記念撮影

■世界遺産コンサートに参加(1月20日)

クラブ組から22名とジュニア組から22名、合わせて44名が世界遺産コンサートに参加しました。子どもたちは11時に会場に集合。子どもたちもコンサートの出演し、「ふるさと」を歌いました。とても好評で、コンサートは16時15分に終わりましたが、子どもたちは、「縄跳び、けん玉、チョコレート」などがプレゼントされました。子どもにちにとって、楽しい思い出がまた一つ増えました。

■ある朝のお勉強から

〈年少クラス〉

数字の表を見ながら、ヒンディー語と英語で1から50までを数えました。数字のカード0から10を正しい順番に並べ、逆順からも正しく並べて声に出し

て読みます。チップを1から10を数えながら並べて、アルファベットの一覧表(A to Z)を読みました。アルファベットAからZを正しく順番に並べ、逆順からも正しく並べて読むなどしました。

〈年中クラス〉

アルファベットの大文字のAからZ、小文字のaからzを正しく読んで書くお勉強です。英語でクラス名、学校名、自分の名前やご両親の名前を正しく書いて読みます。英語で曜日や12カ月の月数を正しく読み書きをしました。英語の「India」を読み、その後、テストをしました。

〈年長クラス〉

デーヴァナーガリー文字の読み書き。ヒンディー語で自分の名前やご両親の名前、村の名前、ブダガヤ、バーランド(インド)など、正しく書く練習。果物、花、野菜、動物、鳥など、それぞれの名前五つを、正しく読み書きをする。12カ月の月数(英語読み)をデーヴァナーガリー文字で書く。ヒンディー語で曜日を正しく読み書きする練習。体の部位「鼻、唇、歯、目、耳、頭、手、口、顔、足」と、色の名前「赤、青、緑、白、黒」を正しく読み書きする。絵本『金色のシカ』を

む練習。その後、テストをしました。

*『金色のシカ』のテストでは、ベラ組・34名中25名が(A+)、ジュニア組・32名中22名が(A+)の成績でした。どの子も、指で文字をなぞりながら慎重に読んでいました。所要時間はベラ組11時間38分、ジュニア組11時間31分でした。

■ガニート(計算の授業)年長クラス)について

●数字の1から100、100から1を正しく読んで書く。数字の101から200、200から101を正しく読んで書く。インド数字1から20までの読み書き。

●数字1から100までの数の前後と間の認識と数の大小の比較。4桁までの足し算と引き算の復習。1桁の掛け算と割り算。
●英語でOne から Fifty の読み書きの練習。Fifty から One Hundred を読んで書いて覚える。
●ヒンディー語で1から50まで、読んで書く。51から100まで正しく読んで書いて覚える。ローマ数字1から30までの読み書き。ローマ数字の31から50まで読んで書いて覚える、などの練習をしました。
*カリキュラムはかなりグレー



ドアップしましたが、子どもたちは頑張ってくれました。

■第37回卒園式(3月24日)

ベラ組35名とジューヒー組34名の合計69名が卒園しました。トウルク先生、広瀬先生と、年長クラスの保護者が参加しました。卒園児には、卒業証書と記念品として「スクールバッグ、消しゴム」などの文房具や、一年間描いた絵画の作品集を渡しました。式後、園舎の前で記念写真を撮りました。子どもとお母さんは悲しいと泣いていました。

◆「3月のまとめ」から

●暑くもなく寒くもない、とても過ごしやすい気候でした。3月は、結婚シーズンです。気候は良かったのですが、子どもたちの何人かが病気になりました。傷(皮膚病)、咳(風邪)、熱、頭痛、腹痛、嘔吐、下痢、中耳炎、等々です。

●卒園式の翌日(3月25日)に年長の子ども10名が両親と一緒に、S. T. M. G. English Medium Schoolの入学試験を受けに行きました。全員が「クラス1」に入学できました。

●S. T. M. Gはカリキュラムのしっかりした学校ですが、入学金や授業料が高くて菩提樹

学園から入学できる家庭は殆どいません。しかし、卒園式の少し前にS. T. M. Gの役員と接する機会があり、菩提樹学園の貧しい家庭環境などの状況を話ししたところ、入学金の免除と授業料半額という有り難い話を頂き、10名の子ども全員が無事に入学できたというわけです。●25日から31日までの年度末の休暇中、先生たちはそれぞれのクラスのまとめや新年度の準備をしました。また、今年度のカリキュラムを見直しして、新年度の教材の準備リストの作成などしました。新年度に向けたカリキュラムについては、今年度よりもレベルを上げて作成しました。

■1学期終業式(5月22日)

子どもたちは身支度を整え

て、時間通りに登園してきました。保護者、トウルク先生が参加しました。子どもたちには夏休みの宿題を渡し、この宿題を「いつ、どのように」するかを説明しました。年少クラスは朝にする。年中クラスは1日2回、年長クラスは1日3回と時間を決めてするように指示しました。また、兄弟姉妹や両親に手伝ってもらってはいけない。「自分の力でやる」こと。保護者にも「子どもたちに必ず宿題をさせること」「始業式には遅刻しないで登園させること」を告げました。担任の先生からも休み中の注意事項や約束事など話しました。子どもも保護者もよく話を聞いてくれて、とても良い雰囲気です。

■夏休み開始時期の延期について

菩提樹学園の夏休みの期間を1週間遅らせました。当初は5月16日から6月16日までを考えていましたが、子どもたちが勉強に慣れていないことと、宿題の準備が不十分だったための延期です。その1週間の間に、子どもたちはしっかりと勉強ができるようになり、宿題の準備も整いました。安心して夏休みを迎えることができました。

◆「5月のまとめ」から
●過ごしやすい天候に変わりは無いですが、少しずつ暑くなっていることを感じます。結婚シーズンが続いているので、休む子どももいました。
●また何人かが病気になりました。傷(皮膚病)、風邪、頭痛、下痢、結膜炎、等々です。

■「折り鶴」の時間(8月11日)

日本から多田先生がきました。多田先生は講堂で年長クラスの子どもたちに「折り鶴」を教えてくださいました。シュウエタ先生、ルパ先生、ニーリマ先生、グリア先生、プリティー先生らも参加しました。一折りごとに形が変わっていくので、子どもたちは覚えようと興味津々です。とても楽しい授業でした。

◆「8月のまとめ」から

●ひどい暑さでした。雨もスコールのように降っては止み、そのあとの蒸し暑さは過ごしくいいます。肌を刺すような暑さに、体調不良を訴える子どもたちもいました。下痢、吹き出物、耳の病気などもありました。歌の先生ビジャイ・クマール先生も体調を崩し、長く休みました。●今年から年少クラスに、アルファベットカードを並べて声に

出して読むカリキュラムを入れました。子どもたちは興味を持ってやっています。その子どもたちに合ったカリキュラムを作り、レベルを上げるのは、子どもたちの可能性を引き出す大切なことだと思っています。

●多田先生は、日本から運動会の商品としてボールペンと紙芝居用の紙や虫刺されなどの薬を持ってきてくれました。8月10日から15日までの間でしたが、子どもたちと一緒に遊んだり、折り紙を教えてくださいました。ありがとうございました。

*多田先生は、日本で「千羽鶴を折る意味」や「平和」お友だちと毎日楽しく遊ぶことができること、勉強ができることなどを子どもたちに話をしてから「折り鶴」折って見せたそうです。1つ折るのに30分近くかかった子どももいたようですが、「先生、できたよ!見て、見て!」とワイワイ、ガヤガヤの楽しい時間だったそうです。多田先生、ご苦労さまでした。





園長 〒601・8464 京都市南区唐橋高田町59 電話075・691・65053	園長 〒554・0051 大阪市此花区西島3-26-11 電話06・6461・7848	日仏保理事 園長 〒522・0083 滋賀県彦根市河原1-1-4 電話0749・261・2300	園理事 高野山真景保育理事長 〒807・1103 北九州市八幡西区香月西2-4-35 電話093・617・0209	園長 〒607・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話075・761・2211	園長 〒607・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話075・761・2211
だん王夜間保育園 信ヶ原雅文	光徳幼稚園 神谷 周道	るんびにー保育園 小川 良紘	聖愛保育園 山本 文雄	だん王保育園 信ヶ原千恵子	だん王保育園 信ヶ原雅文

園長 〒153・0061 東京都目黒区中目黒5-24-47 電話03・3712・8870	園長 〒811・0202 福岡市東区和白3-20-12 電話092・608・2771	園長 〒491・0859 愛知県一宮市本町1-4-24 電話0586・711・3364	園長 〒983・0841 仙台市宮城野区原町2-1-66 電話022・293・4930	日仏保監事 園長 〒157・0077 東京都世田谷区鎌田3-23-19 電話03・3709・0400	園理事 〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話075・581・0879	学・誓光学園 園理事 〒737・0853 広島県呉市吉浦中町2-8-18 電話0823・311・2550	学・誓光学園 園理事 〒737・0853 広島県呉市吉浦中町2-8-18 電話0823・311・2550
安藤 輝美	光和保育園 古賀 典麿	学・徳光学園 園長 祖父江 霊亮	東岡幼稚園 清野 英俊	永安寺学園幼稚園 金子 聡秀	西念寺保育園・山科幼稚園 白旗 文雄	大蔵寺文化苑 慈光保育園・大蔵寺幼稚園 苑主 長谷川 匡俊	学・誓光学園 園理事 細馬 道雄

園長 〒132・0031 東京都江戸川区松島4-34-2 電話03・3651・0963	園理事 園長 〒461・0003 名古屋市中区筒井1-7-52 電話052・933・2172	園長 〒983・0005 仙台市宮城野区福室5-11-30 電話022・258・0026	学 園長 〒271・8555 千葉県松戸市岩瀬550 電話047・365・1111	園長 〒616・8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町36-1 電話075・872・5327	園理事 園長 〒617・0814 京都府長岡京市今里5-12-9 電話075・953・0505	園長 〒388・8005 長野市篠ノ井横田772 電話026・292・1094	日仏保審議委員 園長 〒132・0035 東京都江戸川区平井6-53-7 電話03・3618・0511
新小岩幼稚園 千葉 優子	建中寺幼稚園・葵保育園 村上 真瑞	学・西光寺学園 園長 三浦 宗格	学校法人東京聖徳学園理事長 聖徳大学大学院学長 聖徳大学短期大学部学長 川並 弘純	佛教大学附属幼稚園 藤堂 俊英	むらさき幼稚園 家田 光信	円福幼稚園 藤本悠起子	光徳保育園 秋山 秀阿



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetu.co.jp

ご存知でしたか？
嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく
ウイルス・細菌を含む場合があります。処理する際は…

迅速かつ安全に行う必要があります。

△ 感染症胃腸炎では、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか？ 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全に 清潔に 嘔吐物・汚物がたんすスピード処理剤
素早く 快適に **オブツポイポイ** 解決!

汚れた → 使う → 固める

高品質二酸化塩素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!

高純度二酸化塩素
粉末により、
臭気も軽減させ、
殺菌力が
長持ちします。

二酸化塩素
殺菌剤により、
ウイルス・細菌も
同時に殺菌し、
清潔を同時に!

セット価格：¥1,050
1箱(100g)×10パック
送料 ¥100(送料別)

東京都千代田区豊洲2-1-10 株式会社 共生
〒135-8501 東京都豊洲4丁目1-10-18 Tel: 03-3865-0781
e-mail: info@syon.jp

事務局日誌

- 12 / 9 「仏カリ」企画会議
- 12 / 11 「仏教保育」「仏カリ」編集会議
- 12 / 17 「ほとけの子」編集会議

“福茶”で 幸せを招きましょう

新しい年が明けました。
 ご年配の方々の中には故事に習慣い、元日に「福茶」を喫して、一年の邪気を払われた方もおられたことでしょうか。かつては、元日に汲んだ若水で淹れるお茶は縁起が良い「福茶」として飲む風習は全国各地でも見られたお正月の光景でした。お茶の中に昆布を入れて「よろこぶ」、梅を入れて「長寿」を願って『めでたい、めでたい』と「福茶」喫する地域もあるようです。

古来より「お茶」は薬として重用されてきました。山口や島根辺りでは昆布と梅を入れた福茶をいただきながら大根と吊るし柿を食べて健康を願う風習があるようですし、お煎茶に砂糖を入れて祝う地域もあるようです。愛知では茶碗ではなく桶を使った「桶茶」や、茶釜で泡立てる「振り茶」で飲むなど、地域によって祝い方も様々です。古くから親しまれてきた「福茶」は、歴史の流れと共に人々の幸せを願う伝統文化として地域に根付いてきたのでしょうか。

「福茶」を節分に飲む地域もあります。旧暦の新春は2月初旬（今年は2月8日が旧暦の元旦）です。お正月に飲まれなかつた方、節分の豆まきと共に「福茶」をいただいで一年の邪気を払い、幸せを招いてみては如何でしょうか？

編集後記

■新年早々、国会でも審議が始まった。与党には、幼児教育振興法の制定に向けて作業部会が設置されている。「幼児教育振興法（仮）」は幼児教育無償化をひとつの柱としているが、並行して現代の幼稚園、保育園、こども園に即した課題を認識し、改善して幼児教育全体の質向上に向けて様々な取り組みが示されていくことが目的であってほしい。■そもそも「法」は「真実」であり「真理」である。幼児教育とは人間の人格形成の礎である。幼児教育を通じて、子どもたちを通じて、大人もまた本来の人間性（あるべき真実）に気付かされていくのではないだろうか。法案作成の合同チームによる概要には色々な新しい言葉がちりばめられている。「アプローチ・カリキュラム」「評価システム」「ナショナルセンター（研究拠点）」「幼児教育アドバイザー」などの振興方策が示される予定のようである。■いづれにしてもメニューの列記に終わることなく、ただ今の現場が抱える課題を入口とした改善策、振興策を幼児教育の質の向上につなげていけるものとなることを期待している。（五島）

公益社団法人 日本仏教保育協会
 〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
 ホームページ <http://www.buppo.com/>
 電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
 発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
 毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つの門(13場面)○おさとり(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版



仏教保育

2

Feb.

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけの 心の心



緑谷一雄 理事長



八木季生 名誉会長



研修会の講師
柏女霊峰先生



研修会風景

理事会・運営審議委員会

第11回理事会／第8回運営審議委員会／平成27年度第2回仏教保育研修会

仏教の教え “生命尊重” の振興を見据えて!!

平成28年1月20日／大本山増上寺・光摂殿

公益社団法人日本仏教保育協会(緑谷一雄理事長)は1月20日、大本山増上寺・光摂殿において標記の会を開催。生命尊重の振興を軸とした「平成27年度収支補正予算(案)」「平成28年度事業計画(案)」「平成28年度収支予算(案)」等の上程議案は何れも全員の挙手によって採択されました。

また、平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。ご高承のように、この制度の創設は平成15年の「社会連帯による次世代育成に向けて」と題する報告書を厚生労働省が公表して以来、実に12年間にわたって議論し、紆余曲折を経て法制定されるに至りました。制度はスタートしたものの、財源をはじめ各自治体での混乱は未だ引きずっているようです。そこで今回の「仏教保育研修会」では、柏女霊峰先生(淑徳大学教授)による「子ども・子育て支援制度と保育」というテーマでお話頂きました。先生は新制度の特徴をはじめ、支援の仕組み、給付の全体像など、分かり易く説明してくださいました。参加者は100名近く、終了後の質疑応答では、司会者が時間制限を告げて打ち切るほど熱のこもった研修会となりました(要旨は次号予定)。

理事会・運営審議委員会

はじめに、緑谷一雄理事長の主導で三帰依文を斉唱。続いて同理事長から「残雪の中、ご遠路からお越し頂き感謝申し上げます。議案のご審議、よろしくお願ひします。さて、軽井沢でのスキーツアーバス転落事故で亡くなられた一人は、私の(市川市)近くに住む学生でしたので他人事とは思えず、ご両親の胸の内を思つてニュース見るのも辛くなりました。同様の事故が起きる都度『生命の大切さ』が問題にされていますが、大切

議案上程の先生方



高木常任理事



麻布常任理事



荻野常任理事



樋口総務部長



堀江事務局次長



加藤保育制度対策部長



「福島大会」を激励する日野先生



「福島大会」の準備状況を説明する大塚事務局長



「福島大会」の参加呼びかけをする吉岡実行委員長

懇親会風景



中曽根弘文参議院議員



林久美子参議院議員



藪浦健太郎衆議院議員



新年懇親会

光摂殿に隣接するザ・プリンスパークタワー東京を会場に、中曽根弘文参議院議員(群馬)、林久美子参議院議員(滋賀)、藪浦健太郎衆議院議員(千葉5区)の先生方はじめ、たくさん

この後、司会の堀江秀典事務局長次長から理事会・運営審議委員会の両会とも成立する旨、報告し、審議に入りました。上程議案は次の通りです。1、第1議案

緑谷理事長、日仏保名誉会長・八木季生台(大木山増上寺法主)の挨拶のあと、中曽根参議院議員、林参議院議員から「仏教の教えに基づいた保育は日本人として恥じない人間性を育てる最初の教育の場です。私たちはこれからの思いやり、優しさ育む子どもたちの育成のために、仏教保育の振興に力を注

第2議案 平成28年度事業計画(案) 第3議案 平成28年度収支予算(案) 第4議案 その他 第1号議案から第3号議案については所管する担当常任理事・部長から上程され、何れも全員の挙手によって承認されました。第4号議案については、吉岡棟憲副理事長(第34回全国仏教保育福島大会実行委員長)から大会基調に込める思いをはじめ、準備状況の報告並びに福島の見どころなども交えて参加を呼び掛けられました。次いで、第33回全国仏教保育京都大会で実行委員長を務められた日野昭文副理事長から、京

ぎます」と、交々嬉しいお言葉を頂きました。続いて、藪浦健太郎衆議院議員からも仏教保育振興に力を注ぐことを約束され、先生の威勢の良きご発声で乾杯し、歓談となりました。歓談の折々に司会者の指名で先生方や関係者の方々の挨拶が続くなか、そこで和やかな懇談の光景が続いていました。

小憩の後「仏教保育研修会」を開催。100名近い先生が参加し、柏女先生の講話を熱心に傾聴していました(要旨掲載は次号を予定しています)。

さの意味が本当に分かっているのだろうか疑問に思われてなりません。と共に人の『生と死』は、全てを超越したところにあるのではないかと、そんなことを考えさせられました。京都大会の余韻が残っている中、早くも『第34回全国仏教保育福島大会』がこの夏開催されます。原発被災の現実を直視し、生命尊重の教えを学ぶ貴重な大会になると思っています。多くの皆様の参加を期待しています」と挨拶されました。 第1号議案から第3号議案については、吉岡棟憲副理事長(第34回全国仏教保育福島大会実行委員長)から大会基調に込める思いをはじめ、準備状況の報告並びに福島の見どころなども交えて参加を呼び掛けられました。次いで、第33回全国仏教保育京都大会で実行委員長を務められた日野昭文副理事長から、京都大会開催までの準備の裏話やそのポイントなどにも触れ、最後に福島大会への協力を約束し、激励されました。 続いて福島大会の要を司る大塚孝明事務局長から、「福島大会は福島支部が発足して日も浅く会員数も少ないため、隣県の栃木県と宮城県の各仏教保育協会加盟園の先生方の全面的なご協力を頂きながら分科会などの運営を行うことになりました」と述べてから大会テーマはじめ講演の講師、シンポジウムのメンバーなど詳細が述べられました。



平成 28 年度 事業計画 (案)

基本方針

生命尊重の保育確立と心の教育の推進

1 生命尊重の保育推進

心の教育「いかにせいのち」の保育の充実・普及を図る

2 活力ある日仏保

財政の確立を図り会員による会員のための安定した運営基盤の確立

3 魅力ある日仏保

日仏保研究所を中心として魅力ある研修会等とおして会員及び後継者の期待に添う日仏保の確立

4 国際交流・社会貢献のできる日仏保

生命尊重保育の普及・インド菩提樹学園・ユニセフ支援等国際交流・社会貢献を実践する

1. 生命尊重の保育推進を図る 国民運動の展開

(1) 生命尊重の保育推進のための実践、普及活動(募金運動)

(2) 財政確立のための振興活動

(3) 生命尊重の集い及び講習会・研修会等の推進

(4) 生命尊重の保育に関する参考資料の編集刊行

2. 調査・研究

(1) 仏教保育にかかわる調査・研究(仏教保育史等)

(2) 仏教保育研究所(講師団・所員の充実)

(3) 仏教教育研究会の開催

3. 現職教育

(1) 第34回全国仏教保育福島大会 7月30日(土) 31日(日) 於 ホテルハマツ(郡山市)

(2) 中央講習会 第84回夏期仏教保育講習会 7月21日(木)・22日(金) 増上寺・光摂殿

イ. 第61回仏教保育関西地区研修会 講習会・ゼミナール等の開催 促進

4. 指導者養成

(1) 平成28年度第1回仏教保育研修会 6月総会時

(2) 平成28年度第2回仏教保育研修会 1月中旬

(3) 養成機関連絡協議会 2月下旬

5. 編集・刊行

機関紙「仏教保育」 月刊 園長・教職員対象

(2) 「仏教保育カリキュラム」 月刊 教職員対象

(3) 「ほとけの子」

月刊 父母対象(宣協社) 仏教保育教材の編集・監修

(4) 「こどものくに」ひまわり版 月刊 年長児対象

「わたしの記録」ひまわり版 一斉購読の園に贈呈

2. 「こどものくに」チュリーツ プ版 月刊 年中児対象

3. 「こどものくに」たんぽぽ版 月刊 年少児対象

4. 出席カード 園児対象

5. なつのえほん 園児対象

6. ともたちいっぱいというれいな 新人園児対象(すぎき出版)

7. 仏教保育紙芝居

8. その他必要な教材

(5) 「写真ニュース」・「日仏保のポスター」の発行 父母・教職員対象

6. 関係団体との連絡提携

(1) 仏教各団体・他宗教団体との連絡

(2) 各私立・各宗保育団体との連絡

(3) 地方組織との連携強化及び育成指導

(4) 保育関係企業との連絡 (鈴木出版・宣協社・フレール館・チャイルド本社・ひかりのくに・世界文化社・学

研教育みらい・ジャクエツ・エフコーポレーション等)

7. 保育制度対策の活動強化

(1) 幼保加盟施設の運営・経営の調査・研究

(2) 保育制度研究会(全国制度対策委員会)

(3) 仏教保育振興国会議員懇話会との連絡強化

8. 国際交流、社会貢献の実践

(1) 国際文化交流等と社会貢献(災害救援を含む)を積極的に推進

(2) インド菩提樹学園の育成協力委員会

ア 菩提樹学園訪問指導・運営

イ 運営基金の管理運用

ウ 運営及び育成指導への協力

(3) オメツプ(OMEPP)に協力

9. 奨励事業

(1) 日本仏教保育協会賞

(2) 本年度養成機関卒業生 仏教保育功労賞

(3) 仏教保育実践に功労のあった個人で、適任者がいる年度のみ授与

(4) 持田賞

(5) 全国仏教保育大会の折、優れた保育実践とそこから導かれた理論の研究を対象として授与

(6) 古屋賞

(7) 全国仏教保育大会の折、各支部又は団体・個人の仏教保育

に関する実践的な研究活動及び運営について成果を上げていと認められる者を顕彰

10. その他必要な事業

(1) 全国仏教保育大会の折、保育現場において仏教保育に功労のあった保育者に授与

(2) 会員加入促進運動

(3) 奉祝花まつり・暑中見舞広告・成道会等の協賛広告

(4) 各種出版物、教材の開発・販売推進(重点教材・出版物「こどものくに」「ほとけの子」)

(5) ホームページの充実

(6) 「仏教保育なるほど12か月」改訂わかりやすい仏教保育総論」ポップアップ絵本おしゃかさま」新選シャータカ絵本全5巻」の普及促進

11. 会議

(1) 平成27年度業務経理監査会 5月 於・日仏保事務所

(2) 第12回理事会・第9回運営審議委員会 5月 於・増上寺光摂殿

(3) 第5回社員総会 於・増上寺光摂殿

(4) 第13回理事会・第10回運営審議委員会 於 増上寺光摂殿

(5) 関西地区連絡協議会 2月 於 ホテル・グランヴィア京都

(6) 常任理事会・事務局会議・年11回開催 於・日仏保事務所

(7) 将来検討委員会の開催

以上



平成 27 年度 収支補正予算

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

I. 収入の部

単位 円

大科目	中科目	小科目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	増減 (A - B)	備 考
基本財産運用 収入	基本財産運用 収入		385,000	154,700	230,000	
		社団基金利息収入	200,000	80,000	120,000	元金 45,355,000 円
		菩提樹学園利息収入	180,000	70,000	110,000	元金 32,100,000 円
		持田基金利息収入	1,000	700	300	元金 800,000 円
		古屋基金利息収入	4,000	4,000	0	元金 5,400,000 円
入会金収入	入会金収入	入会金収入	10,000	10,000	0	2 園
会費収入	会費収入	会費収入	25,300,000	25,300,000	0	23,000 × 1.100 施設
事業収入	出版収入		14,010,000	13,310,000	700,000	
		こどものくに収入	1,530,000	1,530,000	0	51,000 × 2.50 × 12
		ほとけの子収入	5,280,000	5,280,000	0	40,000 × 11 × 12
		仏教保育カリキュラム	7,200,000	6,500,000	700,000	購読料 1,083 部
	刊行物監修		2,230,000	2,221,438	8,562	
		こどものくに編集	280,000	280,000	0	
		出席カード印税	350,000	341,438	8,562	フレーベル仏保版出席カード
		保育教材ロイヤリティー	1,600,000	1,600,000	0	夏の絵本、合掌人形、上製本等
		その他監修料	0	0	0	
	受講料収入	中央講習会受講料	1,600,000	1,576,800	23,200	146 名 × 10,800 円
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		4,500,000	4,500,000	0	
		生命尊重募金	4,500,000	4,500,000	0	
	義援金	義援金	1,000,000	1,000,000	0	
補助金収入	助成金収入	年度・制度対策助成金	4,000,000	4,000,000	0	宗派・本山よりの助成金
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入	550,000	550,000	0	鈴木出版 25 保育教材 6 社 30
雑収入	雑収入		7,605,000	7,605,000	0	
		運用利息収入	5,000	5,000	0	
		協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0	協賛金
		広告収入	5,000,000	5,000,000	0	仏カリ他広告収入
		その他の雑収入	1,600,000	1,600,000	0	6月・1月懇親会費 関西地区連絡協議会 懇親会費・養成機関連絡協議会懇親会費
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	0	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	104,200,000	113,110,196	△ 8,910,196	
		合 計	165,390,000	173,338,134	△ 7,948,134	

II. 支出の部

大科目	中科目	小科目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	増減 (A - B)	備 考
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇
		調査研究費	研究運営費	200,000	200,000	0
	教育研究奨励費		200,000	200,000	0	
		教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助
		古屋・持田賞	0	0	0	全国大会非開催年
		仏教保育功労賞	50,000	50,000	0	賞状、記念品
		研究発表指定園	0	0	0	全国大会非開催年
		仏教保育精励賞	0	0	0	全国大会非開催年
	菩提樹学園充実		800,000	200,000	600,000	
		学園視察派遣旅費	600,000	0	600,000	旅費補助
		同上資料代	200,000	200,000	0	学園へ現金



事業費	大会講習会開催費	7,300,000	7,300,000	0	
	全国大会開催費	3,800,000	3,800,000	0	本部 30 万、支部へ350 万
	講習会開催費	2,050,000	2,050,000	0	関西地区研修会・夏期講習会・夏期講習会案内印刷
	仏教保育研修会費	450,000	450,000	0	
	支部講習会補助	1,000,000	1,000,000	0	支部、ブロックで行う講習会補助
	刊行・出版費	27,500,000	27,500,000	0	
	仏教保育出版費	9,000,000	9,000,000	0	約 75 万× 12
	ほとけの子出版費	1,500,000	1,500,000	0	原稿、制作費
	月刊仏カリ費	17,000,000	17,000,000	0	製作、発送費
	各種委員会委託	1,180,000	1,180,000	0	
	仏カリ編集委員会	200,000	200,000	0	
	こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ
	ほとけの子編集委員会	400,000	400,000	0	委員会へ
	教材開発委員会	300,000	300,000	0	委員会へ
	助成金支出	4,300,000	4,300,000	0	
	支部助成金	2,500,000	2,500,000	0	支部へ会費 10% 還元
	菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ
	各種団体提携費	800,000	800,000	0	宗派保連、保育団体・関西地区連絡協議会
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)	4,400,000	4,300,000	100,000	
	菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ
	義援金	1,000,000	1,000,000	0	
	印刷作成費	1,600,000	1,500,000	100,000	ポスター、イノチシール、チラシ、写真ニュース含む
	募金経費	800,000	800,000	0	郵便振替の手数料
各種対策費	2,300,000	2,300,000	0		
組織強化費	1,000,000	1,000,000	0	支部強化経費、支部事業助成	
制度対策費	1,000,000	1,000,000	0	懇話会、顧問弁護士	
養成機関連絡費	300,000	300,000	0	養成機関連絡協議会	
事業雑費	1,100,000	1,100,000	0		
ホームページ運営費	600,000	600,000	0		
事業雑費	500,000	500,000	0		
管理費	会議運営費	5,050,000	5,050,000	0	
理事運営審議委員会開催費	2,800,000	2,800,000	0	2 回開催交通費、1 月新年懇親会	
総会運営費	1,500,000	1,500,000	0	総会及び 6 月懇親会・総会案内印刷	
支部長会・参務会開催費	500,000	500,000	0	将来検討委員会	
事務局運営費	250,000	250,000	0		
給料手当	5,080,000	4,890,000	190,000		
給料・諸手当	3,800,000	3,700,000	100,000	給与+通勤交通費 非常勤分を省く	
賞与	960,000	940,000	20,000	4 ヶ月	
所定福利費	320,000	250,000	70,000	健保、年金掛金補助、労働保険	
役務費	3,620,000	3,620,000	0		
旅費交通費	420,000	420,000	0	交通費	
通信運搬費	1,500,000	1,500,000	0	郵券、電話等通信費	
印刷製本費	300,000	300,000	0	封筒等印刷全般	
什器備品費	100,000	100,000	0	事務所備品	
消耗品費	200,000	200,000	0	文具等	
借料損料	600,000	600,000	0	事務機器リース、コピーランニングコスト	
租税公課	500,000	500,000	0	法人税等	
事務所費	2,810,000	2,810,000	0		
貸借料	2,160,000	2,160,000	0	事務所賃借料 18 万/月	
光熱水費	650,000	650,000	0	光熱水費負担金	
諸謝金	慶弔費	400,000	400,000	0	
事務雑費	管理雑費	500,000	500,000	0	
特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金	600,000	600,000	0
予備費	予備費	予備費	5,000,000	5,000,000	0
当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	93,050,000	101,888,134	△ 8,838,134
	合計		165,390,000	173,338,134	△ 7,948,134

第31回埼玉県佛教幼児画展

平成28年1月30日～31日
さいたま市文化センター

『子どもの力と表現』

石田 隆博

(わせた幼稚園園長／埼玉県三郷市)

雲が重く空気の引き締まる寒さの中、毎年1月に開催されているこの「埼玉県佛教幼児画展」も31回を迎えることとなりました。今年度は仏保育園12園より約300作品が出品されました。

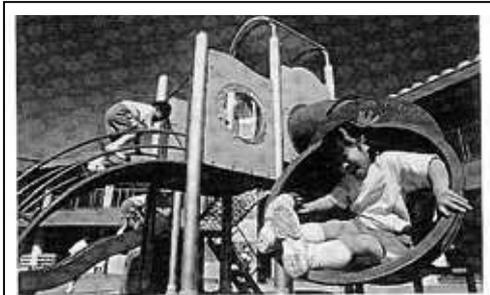
各園の特徴がよく表れた作品に私自身いろいろと勉強させられました。さいたま市文化センターの展示室のパネル一面に飾られた子どもたちの絵を見ると何よりも元気づけられる気がします。作品一つ一つが描かれた情景や思いなどがひしひしと感じられ、今にも飛び出してきそうな、子どもらしく力強い絵がたくさん飾られていました。その作品を見に来た子どもたちの笑顔、そして家族の温かさ、に毎年感心させられます。父母だけでなく家族総出のイベントとして展示室内に活気を与えて

くれます。受付を済ませ会場に入るとじつくりと絵を見る親子、一目散に自分の絵を捜し始める子どもたち。友達の商品にも興味津々。さまざまなおもしろい作品がみられます。そして、表彰を受ける時の少し照れくさいような顔も、誇らしげな顔が印象的でした。

この幼児画展に参加するたびに『子どもの力と表現』に魅了され、家族の笑顔に心を豊かにさせられています。

最後になりますが、幼児画展を開催するにあたり、たくさんのお素敵な絵を出品して下さい。幼稚園の先生方、準備から運営、片付けまでお手伝いいただいた先生方、事務局の皆様、心より感謝いたします。

合 掌



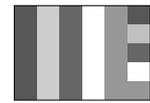
すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ

www.jakuetsu.co.jp



ZENBU TSU
全仏保だより

宗旨を変えた方の埋葬について

典礼執行の権利（明文化のススメ）

Q 他の宗教（宗派）へ宗旨を変えた墓地使用権利者から、寺院墓地に埋葬を依頼されました。どのように対応すればいいのでしょうか。

A 宗旨を変えたとの理由で、埋葬を拒否することはできません。しかし、寺院側には自分の宗派の典礼施行の権利があるため、寺院の宗派の典礼によって葬儀を執り行い、埋葬しなければならないと主張することは可能です。

宗派・宗教を問わない霊園では、宗教法人法第六条の公益事業に該当しますから、埋葬を拒むことはできません。

一方、寺院墓地は、その寺院の檀信徒のみを墓地使用者としていますが、その使用者の宗旨が変わった場合、一般の寺院墓地は墓地管理規程等においては墓地使用権を失うと定められていることが多いと思います。

しかし、この規程は、墓地、埋葬等に関する法律第一条の立法趣旨である「公衆衛生その他公共の福祉」の見地や墓地使用権の法的性質から無効と解されています。つまり宗旨が変わったというだけでは墓地使用権は消滅しません。

また、墓地、埋葬等に関する法律第十三条には「墓地、納骨堂又は火葬場の管理者は、埋葬、埋蔵、収蔵又は火葬の求めを受けたときは、正当の理由がなければこれを拒んではならない。」とあります。この条文にある正当な理由について、内閣法制局は昭和35年2月に行政解釈を行っています。

「第十三条はあくまでも、埋葬について依頼者の求めを一般に拒んではならない旨を規定したにとどまり、埋葬の施行に関する典礼の方式についても、依頼者の一方的な要求に応ずべき旨を定めたものと解すべきではない。」としております。

これによれば、寺院側は依頼者が宗旨を変えたことのみをもって埋葬を拒否することはできませんが、その寺院の典礼によって埋葬をすることを要求することができ、依頼者はそれに従わない限り、埋葬することができないということになります。

典礼権についての明文化を

裁判になった場合、寺院が埋葬拒否ということで争うと敗訴しますが、埋葬はよいが儀式典礼は当該寺院の主宰と方式によるべきであるということで争えば、勝訴するということとなります。また、寺院の典礼儀式を執り行うということは、宗教行為の強制に繋がる恐れがありますので、墓地管理規程に寺院の典礼権を明記しておくことが必要です。典礼権の明記が無かったために、寺院側が敗訴した事例もあります。尚、布施は布施を行う者の宗教行為ですから、寺院側から布施を要求することはできません。

本会顧問弁護士 長谷川正浩 監修



公益財団法人
全日本仏教会
WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター

〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2F
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260
<http://www.jbf.ne.jp/>



事務局日誌

- 1 / 12 「仏カリ」「仏教保育」編集会議
- 事務局会議
- 1 / 20 第11回理事会、第8回運営審議委員会、第2回
仏教保育研修会、懇親会
- 1 / 26 「ほとけの子」編集委員会

18歳・19歳(240万人)の「主権者誕生」

今年の夏は、3年に一度の参院選があります。12年の衆院選に圧勝して政権に復帰した自民は、13年の参院選、14年の衆院選と連勝し、アベノミクスは高い評価を維持してきました。しかし、このところの支持率は下がってきており、安倍政権3度目の審判にどう影響するかが、気になるところです。

更に、衆院制度改革案の定数削減についても、世論の批判を招きかねないと党内でも懸念されているようですが、安倍首相は今国会中に改革案を示し衆院解散にいつでも踏み切れるよう「フリーハンド」の確保も行い、参院選に合わせて衆院を解散して「同日選」も視野に入りたいという思惑が見受けられます。

加えて、18歳への選挙権年齢の引き下げです。25歳以上から20歳以上に引き下げたのは1945年ですから、70年ぶりの引き下げということになります。およそ240万人が新たな有権者となり、選挙運動も認められることとなります。どの政党も18、19歳の高校生など若者にどうアピールするかが今夏の参院選に向けた課題のようです。高校の授業では「政治的中立性」ということも問題になりそうです。各地の各陣営は活動を加速化させており、自民党は主権者教育の勉強会を始めました。水面下では政治的な駆け引きも見受けられるようですが、若い主権者が正しい目で選挙に臨まれるよう見守りたいと思います。

編集後記

■年明けすぐに起きたスキーツアーのバス事故は衝撃でした。乗客のほとんどが大学生。将来のある学生の人生を一瞬で奪ってしまう大変残念な事故でした。近年スキーやスノーボード人気は低迷しています。更に、運転免許を持たない若者が増えている為、スキー場への来場者数は必然と減少しています。■デジタルの世界はとても便利で、世界の映像を見ながら旅の気分を味わえます。動画サイトにはスキーの映像もあり、あたかも自分が滑っているかのような感覚も味わえます。つまり、外に出かけなくてもデジタルの世界で楽しめることが多くなっているのです。だからといって大人はデジタルを好む子どもたちを批判することはできません。なぜならこの世界を作ったのは大人であり、子どもたちは一方的に与えられたのです。だからこそ、私たちは実体験の楽しさを幼児期からたくさん伝えていくべきです。■雪の結晶の綺麗なこと、触ると冷たいこと、固めると色々な形ができること、真っ白な銀世界の素晴らしいこと。この体験を求めて学生達はツアーバスに乗ったのです。事故の反省を今後に生かし、私たち大人が可能性に満ちた子どもの「将来」という道を閉ざしてはいけないと改めて心に誓い、ご冥福をお祈りいたします。

(関岡)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つの門(13場面)○おさとり(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版



仏教保育

3

Mar.

伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ^{ほとけ} の心



平成 27 年度 第 2 回 仏教保育研修会

平成 28 年 1 月 20 日 / 大本山増上寺・光摂殿

テーマ 「子ども・子育て支援制度と保育」

講師

柏女 靈峰 先生 (淑徳大学総合福祉学部教授)

「平成 27 年度から『子ども・子育て支援制度』がスタートしました。この制度の創設については厚生労働省に設置された研究会から、平成 15 年に『社会連帯による次世代育成支援に向けて』と題する報告書を公表して以来の懸案事項であり、平成 19 年 12 月、今から 7 年以上も前から本格的な議論が開始されて法制定に至ったもので、実に 12 年越しの構想の実現と言えます。この新制度の特徴は 4 点であり、いわば育児への介護保険モデルの適用であり、従来からの懸案であった幼保一体化の推進でもあると言えます。柏女先生は始めにこう語られてから本題に入りました。先生は、内閣府の「子ども・子育て会議委員」であり、東京都の「子ども・子育て会議」の副議長なども務めておられ、新制度創設に多大の貢献をされました。支援新制度は幼保界だけでなく社会全体が注視している制度とあって、当日は 100 名を超える参加者が熱心に聴講し、司会者が時間切れを告げるまで質疑が続きました。以下要旨をお届けします。

■新制度の特徴

新制度の淵源は、平成 12 年の介護保険法施行並びに社会福祉法の制定・施行に遡る。高齢者福祉制度において介護保険制度が創設された年でもある。

そういう背景のもとで議論の末に法制定に至った。新制度の特徴は以下の 4 点にある。

- ① 保育需要の掘り起こし (保育の必要性の認定)
- ② 保育需要に見合うサービス確保

保の仕組み (認可制度改革、確認制度)

- ③ 必要な財源の確保 (消費税財源)
 - ④ 幼保一体化できる仕組みの実現
- 子ども家庭福祉・保育においては、障害者施設等給付制度ができた後、紆余曲折を経て 12 年後の平成 27 年度から子ども家庭福祉・保育制度の一環として「子ども・子育て新制度」が誕生したのである。この支援制度は、福祉改革と人づくり政策としての教育改革の結節による所産である。背景は、①待機児童対策、②地域の子どもの親の事情で分断しない、③幼児期の教育の振興、3 歳以上の子どもに学校教育を保障、④全世代型社会保障の実現、の 4 点にある。その根底を支える理念はソーシャル・インクルージョン (社会的包摂) である。すべての子どもと子育て家庭が、切れ目のない支援を受けられる社会、乳幼児から質の高い教育を受けることができ、社会を目指すことを主眼としている。

■給付の全体像

給付の全体像としては、子ども・子育て支援給付として「子どものための現金給付 (児童手当)」と、「子どものための教育・保育給付」がある。教育・保育給付は施設型給付と地域型保育給付とに分かれる。施設型給付の対象となる教育・施設には、幼保連携型認定こども園保育所、幼稚園、幼保連携型以外の認定こども園があり、地域型保育給付の対象となる事業には、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業がある。

このほか、柏女先生は、「新制度の仕組み」「幼保連携型認定こども園の主な基準」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「地域型・小規模・居宅型」等の保育事業から「病児保育」「認可外保育サービス」等について述べ、利用者の支援事業、放課後児童育成などに至るまで詳細、且つ、分かりやすくお話ししてくださいました。



「関西地区連絡協議会」報告

平成 28 年 2 月 4 日 / ホテルグランヴィア京都

浄土宗保育協会理事
白旗文雄様



(公社) 大谷保育協会事務局長
橘秀憲様



天台保育連盟理事長
井藤圭滯様



浄土真宗本願寺派保育連盟
事務局長 白川了信様



日仏保参務・大阪支部
神谷周道先生



2月4日(木)午後3時より、京都市「ホテルグランヴィア京都」において関西地区連絡協議会が開催された。三婦依文唱和の後、緑谷一雄理事長より挨拶がありました。

当日は協議会開催にあたり、天台宗社会部長・角本尚雄様、浄土真宗本願寺派保育連盟事務局長・白川了信様、真宗大谷派(公社)大谷保育協会事務局長・橘秀憲様、各宗ご宗門より来賓の皆さまにご臨席頂き、また天台保育連盟理事長・井藤圭滯様、浄土宗保育協会理事長・白旗文雄様も宗派保連代表でご臨席頂きました。

協議会は五島事務局長より27年度補正予算の報告が行われた後、高山副理事長より福島県での全国大会を踏まえ、28年度事業計画全般についての説明があ

りました。その後、事業に伴う28年度予算についての報告があり、公益法人会計基準の仕分けについても説明がありました。

その後参加者より、インド菩提樹学園の運営、全国大会開催、オメツプ(OMEP)との関係等、事業についての活発な質疑応答が行われました。

引き続き行なわれた懇親会の席では、全国仏教保育京都大会の思い出や、福島大会への抱負



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ

www.jakuetsu.co.jp

出席者名簿

(敬称略) 【雄憲】 尚文 秀主 了幼 卓雅 昭学 昌敬 玲保 聖浩 弘陽 東暁 永夫 村大 谷林 本谷 山子 屋島 原
【来本】 角白 橘井 白川 京本 原野 羽川 廣中 京津 澤本 坂好 島村
【都】 西上 日山 橋末 田戸 吉嶋 黒三 審川上
【京】 神平 【緑高】 金古 五藤

事務局長・五島 満

第48回愛知県仏教保育絵画展

名古屋会場（名古屋市民ギャラリー1栄）

平成28年1月19日～24日

三河会場（豊川市催事場プリオ5階）

平成28年2月12日～14日

『素直な心、優しい感性…』

黒野 昌康

（美園保育園園長／愛知県豊川市）

今年度で48回目を迎えた当会の「仏教保育絵画展」も、会員園の協力により大盛況のうちを終えることが出来ました。会場探しに奔走したことがつい先日ことのように思い出されますが、そんな三河会場も、今年で6回目の開催となりました。

以前にもお話したことですが、愛知県は尾張（愛知県西部）と三河（愛知県東部）の二つの地区に分けることができます。そして現在、当会は100の会員園があります。そのうち尾張地区に89園、三河地区に11園となっています。近年の絵画展参加園は、およそ半数の約55園程度（内三河地区7園）となっています。

す。三河地区で開催したことにより、三河地区の会員園も参加しやすくなりました。展示会場が増えたことにより、より多くの方に「仏教保育絵画」を見ていただく機会が増え、仏教保育に触れていただく機会が増えたことはとても良いことだと思います。

これからも仏教保育によって育まれた子どもたちの「素直な心」「優しい感性」「表現の豊かさ」を絵画等で表現しより多くの方に見ていただくと共に、生命尊重の保育を社会生活に実践してゆきましよう。すべては子どもたちの笑顔のために…。

合 掌



平成 28 年度 収支予算書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引控除	合 計
	公 1	小 計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	0	0	0
基本財産利息収入	0	0			0
特定資産運用益	84,000	84,000	0	0	84,000
特定資産利息収入	84,000	84,000			84,000
受取入会金	10,000	10,000	0	0	10,000
入会金収入	10,000	10,000			10,000
受取会費	12,650,000	12,650,000	12,650,000	0	25,300,000
会費収入	12,650,000	12,650,000	12,650,000		25,300,000
事業収益	22,810,000	22,810,000	0	0	22,810,000
出版収入	13,480,000	13,480,000			13,480,000
刊行物監修収入	2,230,000	2,230,000			2,230,000
受講料収入	1,600,000	1,600,000			1,600,000
生命尊重募金収入	4,500,000	4,500,000			4,500,000
義援金収入	1,000,000	1,000,000			1,000,000
受取補助金等	4,000,000	4,000,000	0	0	4,000,000
助成金収入	4,000,000	4,000,000			4,000,000
受取負担金	0	0	0	0	0
中科目別記載		0			0
受取寄付金	550,000	550,000	0	0	550,000
寄付金収入	550,000	550,000			550,000
雑収益	6,005,000	6,005,000	1,600,000	0	7,605,000
運用利息収入	5,000	5,000			5,000
協賛金収入	1,000,000	1,000,000			1,000,000
広告収入	5,000,000	5,000,000			5,000,000
その他の雑収入	0	0	1,600,000		1,600,000
経常収益計	46,109,000	46,109,000	14,250,000	0	60,359,000
(2) 経常費用					
事業費	55,722,000	55,722,000		0	55,722,000
給料手当	4,064,000	4,064,000			4,064,000
臨時雇賃金	0	0			0
退職給付費用	0	0			0
福利厚生費	0	0			0
旅費交通費	650,000	650,000			650,000
通信運搬費	100,000	100,000			100,000
減価償却費	0	0			0
消耗什器備品費	0	0			0
消耗品費	1,200,000	1,200,000			1,200,000
修繕費	0	0			0
印刷製本費	28,450,000	28,450,000			28,450,000
燃料費		0			0
光熱水料費	520,000	520,000			520,000



科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引控除	合 計
	公 1	小 計			
賃借料	2,208,000	2,208,000			2,208,000
保険料	0	0			0
諸会費	600,000	600,000			600,000
会議費	600,000	600,000			600,000
諸謝金	1,350,000	1,350,000			1,350,000
租税公課		0			0
支払負担金		0			0
支払助成金	12,400,000	12,400,000			12,400,000
支払寄付金	1,000,000	1,000,000			1,000,000
委託費	2,580,000	2,580,000			2,580,000
有価証券運用損	0	0			0
雑費	0	0			0
管理費			9,968,000	0	9,968,000
役員報酬			0		0
給料手当			1,016,000		1,016,000
退職給付費用			0		0
福利厚生費			0		0
会議費			3,050,000		3,050,000
旅費交通費			1,920,000		1,920,000
通信運搬費			1,500,000		1,500,000
減価償却費			0		0
消耗什器備品費			100,000		100,000
消耗品費			200,000		200,000
修繕費			0		0
印刷製本費			600,000		600,000
委託費			500,000		500,000
光熱水料費			130,000		130,000
賃借料			552,000		552,000
保険料			0		0
諸謝金			400,000		400,000
租税公課			0		0
支払負担金			0		0
支払寄付金			0		0
支払利息			0		0
有価証券運用損			0		0
雑費			0		0
経常費用計	55,722,000	55,722,000	9,968,000	0	65,690,000
当期経常増減額	△ 9,613,000	△ 9,613,000	4,282,000	0	△ 5,331,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
中科目別記載		0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
中科目別記載		0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額		0			0
当期一般正味財産増減額	△ 9,613,000	△ 9,613,000	4,282,000	0	△ 5,331,000



平成 28 年度 収支予算書説明資料

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
単位：円

I、収入の部

大科目	中科目	小科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A-B)	備考
基本財産運用収入	基本財産利息収入		84,000	385,000	△ 301,000	
		社団基金利息収入	70,000	200,000	△ 130,000	元金 45,355,000 円
		菩提樹学園利息収入	9,000	180,000	△ 171,000	元金 32,100,000 円
		持田基金利息収入	1,000	1,000	0	元金 800,000 円
		古屋基金利息収入	4,000	4,000	0	元金 5,400,000 円
入会金収入	入会金収入	入会金収入	10,000	10,000	0	2 園
会費収入	会費収入	会費収入	25,300,000	25,300,000	0	23,000 × 1,100 施設
事業収入	出版収入		13,480,000	14,010,000	△ 530,000	
		こどものくに収入	1,000,000	1,530,000	△ 530,000	
		ほとけの子収入	5,280,000	5,280,000	0	40,000 × 11 × 12
		仏教保育カリキュラム	7,200,000	7,200,000	0	購読料 1200 部
	刊行物監修		2,230,000	2,230,000	0	
		こどものくに編集	280,000	280,000	0	
		出席カード印税	350,000	350,000	0	フレーベル仏教版出席カード
		保育教材ロイヤリティ	1,600,000	1,600,000	0	夏の絵本、合掌人形、上製本等
		その他編監修料	0	0	0	
	受講料収入	中央講習会受講料	1,600,000	1,600,000	0	例年の参加者約 160 名ほど
	社会貢献・国際交流		4,500,000	4,500,000	0	
	(生命尊重)	生命尊重募金	4,500,000	4,500,000	0	
	義援金	義援金	1,000,000	1,000,000	0	
補助金収入	助成金収入	年度・制度対策助成金	4,000,000	4,000,000	0	宗派・本山よりの助成金
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入	550,000	550,000	0	鈴木出版 25 保育教材 6 社 30
雑収入	雑収入		7,605,000	7,605,000	0	
		運用利息収入	5,000	5,000	0	
		協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0	協賛金
		広告収入	5,000,000	5,000,000	0	仏カリ他広告収入
		その他の雑収入	1,600,000	1,600,000	0	6 月・1 月懇親会費 関西地区連絡協議会懇親会費 養成機関連絡協議会懇親会費
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	0	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	101,000,000	104,200,000	△ 3,200,000	
		合計	161,359,000	165,390,000	△ 4,031,000	

II、支出の部

大科目	中科目	小科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A-B)	備考	組替後対応科目
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇	
	調査研究費	研究運営費	200,000	200,000	0		印刷製本費
	教育研究奨励費		650,000	200,000	450,000		
		教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助	支払助成金
		古屋・持田賞	200,000	0	200,000	全国大会開催年	支払助成金
		仏教保育功労賞	50,000	50,000	0	賞状、記念品	消耗品費
		研究発表指定園	200,000	0	200,000	全国大会開催年	支払助成金
		仏教保育精励賞	50,000	0	50,000	全国大会開催年	消耗品費
	菩提樹学園充実		600,000	800,000	△ 200,000		
		学園視察派遣旅費	400,000	600,000	△ 200,000	旅費補助	旅費交通費
		同上資料代	200,000	200,000	0	学園おみやげ	消耗品費
	大会講習会開催費		7,300,000	7,300,000	0		
		全国大会開催費	3,800,000	3,800,000	0	全国大会開催年(全国大会開催地へ 350 万・2 年で 700 万)	支払助成金
		講習会開催費	2,050,000	2,050,000	0	関西地区研修会 夏期講習会 夏期講習会案内印刷	支払助成金 130 諸謝金 70 印刷製本費 5
		仏教保育研修会費	450,000	450,000	0	理事評議員会同時開催 講師料・案内状印刷	諸謝金 10 印刷製本費 20
		支部講習会補助	1,000,000	1,000,000	0	支部、ブロックで行う講習会補助	



大科目	中科目	小科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A-B)	備考	組替後対応科目
事業費	刊行・出版費		26,500,000	27,500,000	△ 1,000,000		
		仏教保育出版費	9,000,000	9,000,000	0	約 75 万× 12	印刷製本費
		ほとけの子出版費	1,500,000	1,500,000	0	原稿、制作費	印刷製本費
		月刊仏カリ費	16,000,000	17,000,000	△ 1,000,000	製作、発送費	印刷製本費
	各種委員会委託		1,180,000	1,180,000	0		
		仏カリ編集委員会	200,000	200,000	0		委託費
		こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ	委託費
		ほとけの子編集委員会	400,000	400,000	0	委員会へ	委託費
		教材開発委員会	300,000	300,000	0	委員会へ	委託費
	助成金支出		4,300,000	4,300,000	0		
		支部助成金	2,500,000	2,500,000	0	支部へ会費 10%還元	支払助成金
		菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	支払助成金
		各種団体提携費	800,000	800,000	0	宗派保連、保育団体・ 関西地区連絡協議会	会議費 45 旅費交通費 25 支払助成金 10
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		4,300,000	4,400,000	△ 100,000		
		菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	支払助成金
		義援金	1,000,000	1,000,000	0		支払寄附金
		印刷作成費	1,500,000	1,600,000	△ 100,000		印刷製本費
		募金経費	800,000	800,000	0		消耗品費
	各種対策費		2,300,000	2,300,000	0		
		組織強化費	1,000,000	1,000,000	0	支部強化経費 支部事業助成	支払助成金
		制度対策費	1,000,000	1,000,000	0	懇話会、顧問弁護士	諸謝金 40 諸会費 60
		養成機関連絡費	300,000	300,000	0	養成機関連絡協議会	支払助成金 15 会議費 15
	事業雑費		1,100,000	1,100,000	0		
ホームページ運営費		600,000	600,000	0		委託費 50 通信費 10	
事業雑費		500,000	500,000	0		委託費 40 消耗品費 10	
管理費	会議運営費		4,850,000	5,050,000	△ 200,000		
		理事運営審議委員会開催費	2,800,000	2,800,000	0	2 回開催交通費 1 月新年懇親会	旅費交通費 150 会議費 130
		総会運営費	1,500,000	1,500,000	0	総会及び 6 月懇親会 総会案内印刷	会議費 120 印刷製本費 30
		支部長会・参務会開催費	300,000	500,000	△ 200,000	将来検討委員会	会議費
		事務局運営費	250,000	250,000	0		会議費
	給料手当		5,080,000	5,080,000	0		
		給料・諸手当	3,800,000	3,800,000	0	給与 + 通勤交通費 非常勤分を省く	給料手当
		賞与	960,000	960,000	0	4 ヶ月	給料手当
		所定福利費	320,000	320,000	0	健保、年金掛金補助 労働保険	給料手当
	役務費		3,620,000	3,620,000	0		
		旅費交通費	420,000	420,000	0	交通費	旅費交通費
		通信運搬費	1,500,000	1,500,000	0	郵券、電話等通信費	通信運搬費
		印刷製本費	300,000	300,000	0	封筒等印刷全般	印刷製本費
		什器備品費	100,000	100,000	0	事務所備品	消耗什器備品費
		消耗品費	200,000	200,000	0	文具等	消耗品費
		借料損料	600,000	600,000	0	事務機器リース コピーランニングコスト	賃借料
		租税公課	500,000	500,000	0	法人税等	租税公課
		事務所費		2,810,000	2,810,000	0	
	賃借料		2,160,000	2,160,000	0	事務所賃借料 18 万/月	賃借料
	光熱水費		650,000	650,000	0	光熱水費負担金	光熱水料費
	諸謝金	慶弔費	400,000	400,000	0		諸謝金
		事務雑費	500,000	500,000	0		委託費
	特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金	600,000	600,000	0	
予備費	予備費	予備費	5,000,000	5,000,000	0		
当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	90,069,000	93,050,000	△ 2,981,000		
	合計		161,359,000	165,390,000	△ 4,031,000		

事務局日誌

- 2 / 4 関西地区連絡協議会(ホテルグランヴィア京都)
- 2 / 12 「仏カリ」「仏教保育」編集会議
- 事務局会議
- 2 / 18 こどものくに「チューリップ版」編集会議
- 2 / 22 養成機関連絡協議会(芝パークホテル)
- 2 / 24 「ほとけの子」編集会議

「ちよつと気になる電力の完全自由化」

「この4月から一般家庭で使う電気の小売りが自由化されます」こんなニュースがここ数日、テレビ・新聞などで報道されています。

「地域独占が廃止され、どこからでも安い料金で電気が買えますよ」と言われても、どこからどのような買い方をすればいいのか戸惑ってしまいます。

これまで、電力会社は『売れないリスクを考えずに設備投資をすることができたので、質の高い送電線を作ることができました。そのため、年間の停電時間の短さは世界でもトップクラスの水準を誇ってきたそうです。この質の高さを維持するため設備投資はすべて電気料金として消費者に跳ね返っていただけに、自由化以降は消費者が電力会社を選べるので料金の安い会社と契約できるということです。

電力会社を選ぶポイントなどもしきりにアピールしています。セットサービスだとか、ポイント付きや割安プランをはじめ、これまで会社が決めていたサービスを、消費者のニーズに沿ったサービスを提供するなど、消費者獲得に各社とも躍起になっている感じがします。そんなサービス競争の中でかすんで、肝心のところが分かりにくいというのが実感です。

安いからと契約はしたものの、頻繁に停電が起こるのではないか、契約した電力会社によってこれまでの生活が変わるのではないか、そんな心配までしてしまいそうです。

編集後記

■以前にも、書いたことがあります。我々日本人は、こんなに食べものを粗末にする国民になつてしまったのでしょうか ■テレビでは、大食い大会が行われ、抗議がないように「残さずスタンプが食べました」のテロップ、ホテルやレストランでは食べ放題。先日、出席した披露宴でも、綺麗なお召し物が汚れては困るのか、平気で料理を残します。1年間に日本で食べられることなく処分される食物は800万トン、1人当たり60食分を無駄にしているのです。

■年末の大掃除の際、祖母の割煮着が見つかりました。そういえば、祖母は和服でしたから、「割煮着を着れば着物が汚れなく済むからね」と。これからは、披露宴では割煮着の着用を義務付ける、食べ放題で残したら条例で罰金を科す等、バカみたいなことを申し上げておりますが、それくらいの意識改革をしなければいけないところまできている気がいたします。我々は命をいただいているのですから。

(根本)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つの門(13場面)○おさとり(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版